

【幼稚園の保護者から寄せられたご意見・ご要望等】

意見 1

多方面に様々な形で意見を聞いていただきありがとうございます。個人的には中学校が1校になることは仕方のないことかと思っておりますが、小学校は現状維持をお願いします。中学校への通学ですが、できるだけ日々運動ができるよう自転車を使ってバス停まで行けるようバス停を少なくし、又、駐輪場の整備をお願いします。また、バス停を少なくして時間短縮をする分、朝～夜まで、土曜日にも運行本数を増やしてもらえれば、なおいいと思います。

<教育委員会の意見>

小学校の再編については、各学校における施設の状況や保護者をはじめ住民の方々の考えもさまざまであり、また地域コミュニティとのつながりも大きいので、地域住民の方々の意見をお聴きしながら慎重に進めていかなければならないと考えております。教育委員会といたしましては、現時点で具体的な計画はありませんが、よりよい教育環境の整備に向けて、できるだけ早い時期に再編の方向性をお示しいたしたいと考えております。

スクールバスのバス停の設置個所を少なくし、自宅からバス停までの一定の距離を自転車でいける環境をつくってほしいというご意見と思っておりますが、子どもたちの体力向上を考える上で非常に良いことだと思います。今後スクールバスのコースやバス停の設置場所を検討していく中で参考にさせていただきます。その場合、駐輪場の整備は必ず必要と考えています。また、「朝から夜まで、土曜日にも運行本数を増やしてもらいたい」との要望につきましては、利用実態に合わせてできるだけ対応していくよう努めてまいります。

意見 2

私の子供のうち1人は、今中学生なので学校再編には関係ないのかもしれませんが、現状を見るととてもかわいそうです。部活には部員も少なく、まともに試合する事も出来ません。又、体が大きくなってきているのにクラスもせまいように感じます。

統合によるデメリットに生徒が多くなる為、指導が行きとどかなくなるとありますが、それは教員の数を増やす事で改善出来ると思えますし、いじめ等の問題についても、人間一人一人違いますから、いじめはなくなると思えます。ただ、その問題を学校側が見て見ぬふりをするなど、世間に公開しない事が問題なのであり、子供達にとっては多くの子供達の中で学んでいく事の方が色々な面で勉強になると思えます。

最後に、学習面の方では土曜日の復活も視野に入れてほしいです。

<教育委員会の意見>

ご意見のとおり現在でも一部の部活動においては部員数が不足していることから試合ができないなどの支障が生じています。そうした問題を解決するためには学校の再編しかないのではないかと考えます。

クラス（教室）が狭く感じる点につきましては、1クラスの人数を30人未満にするなど対策を講じていく考えです。

「生徒が多くなる為、指導が行きとどかなくなる」ことについては教職員の数を増やすことで対応していく考えであり、いじめ等の問題についても、隠ぺいすることなくその対策を

徹底していきます。

土曜日の復活については、学校運営に大きく関わってまいりますので、慎重に検討しなければならないと考えております。

意見 3

人数が少なくてもいじめがあるので、多人数だともっといじめがあるのではないかと心配です。統合は小牛田だけにして南郷はそのままにしてほしい。3校統合は反対です。

<教育委員会の意見>

(いじめ問題について)

中学校を1校に再編するに当たっては全てのクラスで30人未満学級を実施して教職員の目が生徒一人ひとりに行き届きやすくすること、また、専従のスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを常駐配置して、生徒が抱える交友関係などの様々な悩みをいつでも気軽に安心して相談できる体制を整備し、生徒一人ひとりの心のケアに対応していく考えです。

(3校統合について)

これからの日本の社会は人口減少という大きな潮流の中で児童生徒数も減少していきます。学校の再編は、こうした社会の現実を受け止めて将来のある子どもたちのために教育環境を整備するために行うものです。子どもたちのために望ましい教育環境を整備することが今を生きる私たち大人の役割であり、それが将来の町づくりや地域づくりに繋がっていくものと考えております。

また、本年3月1日現在の町内の中学生の数は615人ですが10年後には480人程度まで減少するものと見込まれています。わが国の社会全体の人口推計から見てもその後も児童生徒数は減少していくことと推測されます。また、社会性をはじめ人格形成に必要なものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって、部活動をはじめ運動会や文化祭などの集団活動は非常に重要な教育課程の一つです。その集団活動に支障を生じることのないような生徒数の規模を確保していく必要があります。こうしたことから将来の町の中学校教育を考えると、小牛田地域だけ統合して南郷中を残す2校体制ではなく、現時点において3校を統合する1校体制で整備を進めることが望ましいのではないかと教育委員会では考えております。

(南郷中を残すことについて)

「小牛田中と不動堂中を一校に統合して南郷中を残してほしい」というご意見ですが、南郷中においては生徒数の減少が著しく、10年後には生徒数が90人程度まで減るものと見込まれています。部活動については、部活動の種類を相当に限定しなければ各部ともに部員を確保できずに運営できなくなります。また、運動会や文化祭などの学校行事においても生徒数が少ないと何かと問題が生じてくるものと思われれます。

また、現在の南郷地域においては、幼稚園から中学校までの12年間にわたって限られた交友関係の中での学校生活が続いております。小学校を卒業して中学校に入学する時点においては、これまでよりも広い範囲でより多くの新しい友達と出会う機会があり、交友関係がひろがることの方が、社会性をはじめ人格形成に必要なものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって必要ではないかと考えています。そのためには、幼稚園、小学校、中学

校と三つの各段階において同じ地域（エリア）の学区ではなく、中学校においてはこれまでよりも広いエリアの学区にするのが望ましいと教育委員会では考えております。こうしたことから、南郷地域では、将来的においても現在の「なんごう幼稚園」と「南郷小学校」を存続することとして、中学校においては広いエリアに再編することの方が将来の南郷地域の子どもたちにとって望ましいのではないかと教育委員会では考えております。

意見 4

特にありません。お任せします。

<教育委員会の意見>

将来の子どもたちの教育環境を考えれば中学校の再編を避けては通れません。できるだけ早く1校に再編しなければならないと考えています。

意見 5

子供にとって、途中の統合ではかわいそう、スクールバスの本数を充実

<教育委員会の意見>

遠距離通学となる生徒の負担を軽減することは再編に当たっての大きな課題の一つです。スクールバスの台数を十分に確保し、また、コースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時における生徒がバスに乗車している時間を、学校から最も遠い生徒であっても30分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行から通学にかかる時間の短縮などに努めていきます。スクールバスの本数についても可能な限り増やせるよう努めてまいります。

意見 6

南郷中学校は当面の間存続させてほしい。

<教育委員会の意見>

これからの日本の社会は人口減少という大きな潮流の中で児童生徒数も減少していきます。学校の再編は、こうした社会の現実を受け止めて将来のある子どもたちのために教育環境を整備するために行うものです。子どもたちのために望ましい教育環境を整備することが今を生きる私たち大人の役割であり、それが将来の町づくりや地域づくりに繋がっていくものと考えております。

本年3月1日現在の町内の中学生の数は615人ですが10年後には480人程度まで減少するものと見込まれています。わが国の社会全体の人口推計から見てもその後も児童生徒数は減少していくことと推測されます。また、社会性をはじめ人格形成に必要なものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって、部活動をはじめ運動会や文化祭などの集団活動は非常に重要な教育課程の一つです。その集団活動に支障を生じることのないような生徒数の規模を確保していく必要があります。こうしたことから将来の町の中学校教育を考えると、現時点において1校体制で整備を進めることが望ましいのではないかと教育委員会では考えております。

特に南郷中においては生徒数の減少が著しく、10年後には生徒数が90人程度まで減るものと見込まれています。部活動については、部活動の種類を相当に限定しなければ各部

ともに部員を確保できずに運営できなくなります。また、運動会や文化祭などの学校行事においても生徒数が少ないと何かと問題が生じてくるものと思われます。

また、現在の南郷地域においては、幼稚園から中学校までの12年間にわたって限られた交友関係の中での学校生活が続いております。小学校を卒業して中学校に入学する時点においては、これまでよりも広い範囲でより多くの新しい友達と出会う機会があり、交友関係がひろがることの方が、社会性をはじめ人格形成に必要なものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって必要ではないかと考えています。そのためには、幼稚園、小学校、中学校と三つの各段階において同じ地域（エリア）の学区ではなく、中学校においてはこれまでよりも広いエリアの学区にするのが望ましいと教育委員会では考えております。こうしたことから、南郷地域では、将来的においても現在の「なんごう幼稚園」と「南郷小学校」を維持することとして、中学校においては広いエリアに再編することの方が将来の南郷地域の子どもたちにとって望ましいのではないかと教育委員会では考えております。

意見7

町内の中学校を1つにすることは必要ないと思います。

<教育委員会の意見>

これからの日本の社会は人口減少という大きな潮流の中で児童生徒数も減少していきます。学校の再編は、こうした社会の現実を受け止めて将来のある子どもたちのために教育環境を整備するために行うものです。子どもたちのために望ましい教育環境を整備することが今を生きる私たち大人の役割であり、それが将来の町づくりや地域づくりに繋がっていくものと考えております。

また、本年3月1日現在の町内の中学生の数は615人ですが、10年後には480人程度まで減少するものと見込まれています。わが国の社会全体の人口推計から見てもその後も児童生徒数は減少していくことと推測されます。また、社会性をはじめ人格形成に必要なものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって、部活動をはじめ運動会や文化祭などの集団活動は非常に重要な教育課程の一つです。その集団活動に支障を生じることのないような生徒数の規模を確保していく必要があります。こうしたことから将来の町の中学校教育を考えると、現時点において1校体制で整備を進めることが望ましいのではないかと教育委員会では考えております。

意見8

特に反対ということではありません。

南郷だけの児童数で維持できないのもわかっています。子ども達にとって、一番良い形をとって頂きたいと思います。

<教育委員会の意見>

教育委員会でも、ご意見にありますように、「子ども達にとって一番良い形」を私たち大人は作っていかねばならないと考えております。

意見9

少子化にともない統合はやむを得ないと思います。部活動など充実した中学校生活を送

って欲しいと考えていますが、それぞれの校風があるため交友関係が乱されないか心配です。また、通学距離、送迎に関しても部活動などによりスクールバス等の時間が合わなければ親の送迎が必要になってくると思います。

新しく建て替える土地、それぞれの校風が守られるよう検討をお願いします。

＜教育委員会の意見＞

3中学校にはそれぞれの校風があります。その異なる校風の下に新しい学校をつくっていかねばなりません。生徒はお互いに相手の校風を認め合いながら交友関係をつくり、新しい学校をつくっていくこととなります。そうした経験も生徒が大人になっていくための大切な過程の一つだと考えます。統合した後の生徒たちの新しい交友関係、新しい学校づくりに対して、教育委員会としては万全を期していく考えです。

スクールバスの運行については、便数を多くするなどによって、生徒や保護者の負担が軽減されるよう運行内容を検討していく考えです。

意見 10

3校の統合には賛成です。統合し美里町中心部（駅付近）に建設されればある程度通う事は可能だと思います。（中学生ともなれば多少遠くても可能だと）人数が増える事により部活動の種類も増え選択肢も増えるのも良いと思います。

＜教育委員会の意見＞

再編後の新しい中学校の場所については今後の検討となります。現在、3中学校の施設の現況調査を行っております。その結果が出ましたら教育委員会として検討し、その後に住民の皆さんに候補地をお示ししてご意見をお聴きしながら決定していく考えです。

意見 11

できるだけ早く1校に再編して欲しいです。

＜教育委員会の意見＞

教育委員会でも、できるだけ早く1校に再編しなければならないと考えています。

意見 12

現在中総体新人戦を遠田郡4校で行っていますが、合併により2校になると更に小規模となってしまいます。

学校合併は賛成ですが、中総体新人戦は大崎と合同で行うなど規模を大きくするようアクションしてほしい。

＜教育委員会の意見＞

3中学校を再編した後の中総体新人戦の開催方法の見直しについて、中総体を運営している宮城県中学校総合体育連盟に対し、町の教育委員会からも要望をしております。

意見 13

中学校については町内1校に統合する必要があると思います。可能であれば早期に1校にすると良いかと思います。但し、通学等に関する整備は1校にする前に検討してください。

＜教育委員会の意見＞

教育委員会でも、できるだけ早く1校に再編しなければならないと考えています。
通学手段については、できるだけ早い時期から取り組んでいく考えです。

意見14

小・中へ進級するのは保育所の親も一緒なので、そこにも意見要望等のアンケート？記入の機会を設けるべきだと不満に思った。

また、前回の資料より、住民（老人）の意見と、幼・小・中の保護者の意見は違い、未来のことを考えているのは、私たち保護者（若者）なので、早く小・中と統合して建設するべきである！と思っている。

→こごた幼稚園、ふどうどう幼稚園は、こども園にしてしまって、3～5歳児の保育所の子も受け入れてしまう。0～2歳児を小牛田保育所の3～5歳児だった部屋を改築し受け入れ、分園は新しく建てなく済むようにする。教育委員会と子ども家庭課で話し合うべき！！
（経費削減につながる）

→給食センターを作り、幼・小・中に配送できるようにする。（経費削減につながる）
給食センターがあれば、建物もある程度の大きさで、生徒の増減に柔軟に対応できると思うので、これも考えて欲しい！こども園にもしやすい！

→小学校を、こごた・きたうら・なかぞね、あおう・ふどうどうを一緒にして改築で対応が可では？

→空き地になった（あおう？・ふどうどう小）のあたりに、南郷、不中、小中の3つ合同の中学を大きく新しく建てる。スクールバスで細かく対応する。中学の部活時間も色々あるが、他も補講というか、自主勉強の時間にでもあてて、スクールバスの間（待ち時間）も有効に活用すれば、どうとでもなると思う。親は、バスで送ってもらえて、天候での送迎の心配もしなくてすむし、治安も心配なくていいし、メリットばかりです。

できれば、今の小牛田中学校を統合して更地にし、そこに新しく“こども園”としての未満児（0～2歳児用）のを建てれば3～5歳の兄弟も通わせやすくもいいし、さらに子どもの減少した際、幼稚園の縮小にも対応しやすいとも・・・（小牛田・不動堂統合）

以上、広い視野でトータルコーディネートして頂きたいです！学校だけの、建物だけの問題だけ解決しても、結果、問題は山積みでイミナシ！いつもの小牛田って感じでムダですよ。変化！革命！おこして下さい！！

<教育委員会の意見>

・学校の再編についてはこれから親になる世代の方々の意見を重視していくことも大切ですが、できるだけ多くの町民の意見を聴くことも大切です。

・幼稚園と保育所の役割のすみわけ・機能の分化の考え方については、今後の町の保育行政の上で選択肢の一つとなる方法だと思えます。その件につきましては、現在教育委員会と子ども家庭課で協議しているところです。

・給食センターについては、中学校の再編整備に合わせて検討していく考えです。

・再編後の新しい中学校の場所については今後の検討となります。現在、3中学校の施設の現況調査を行っております。その結果が出ましたら教育委員会として検討し、その後に住民の皆さんに候補地をお示ししてご意見をお聴きしながら決定していく考えです。

・小牛田中学校の跡地に子ども園を建設する案については今後の検討課題とさせていただきます。

きます。

以上の案件など様々な分野の問題を総合的に考えた上で、学校問題、保育問題を検討していく考えです。

意見 15

現在中学の子供がいます。統合は反対です。一番は通学手段です。核家族、共働きが増える中での遠距離通学は大変です。

子供がへって行くのをまっているのではなく、美里に引っ越してきたい、通わせたいと思われる様な町づくりをしてほしい。まずは保育園の充実からだと思います。学校の区分を見なおして2校にしてほしい。中学は部活の遠征が多いです。大変です。

<教育委員会の意見>

(通学の問題について)

遠距離通学となる生徒の負担を軽減することは再編に当たっての大きな課題の一つです。スクールバスの台数を十分に確保し、また、コースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時における生徒がバスに乗車している時間を、学校から最も遠い生徒であっても30分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行から通学にかかる時間の短縮などに努めていきます。

また、バス通学の生徒が病気等の何らかの事情で学校から途中帰宅しなければならないとき、また、途中から学校に登校することとなったときには、保護者等家族の方々の送迎となるかと思えます。再編前に比べて学校までの距離が遠くなられる方々には御負担が大きくなり御不便をおかけすることとなります。しかし、学校でのけが等の緊急の場合においては、学校側としても対応いたします。

(保育園の充実について)

保育園を充実させることで若い世代にとって魅力ある町になるものと思われれます。町では、学校再編と同様に保育園整備も町の重点課題として位置付けており、整備に向けて取り組んでいるところであります。

(2校体制について)

これからの日本の社会は人口減少という大きな潮流の中で児童生徒数も減少していきます。学校の再編は、こうした社会の現実を受け止めて将来のある子どもたちのために教育環境を整備するために行うものです。子どもたちのために望ましい教育環境を整備することが今を生きる私たち大人の役割であり、それが将来の町づくりや地域づくりに繋がっていくものと考えております。

また、本年3月1日現在の町内の中学生の数は615人ですが、10年後には480人程度まで減少するものと見込まれています。わが国の社会全体の人口推計から見てもその後も児童生徒数は減少していくことと推測されます。また、社会性をはじめ人格形成に必要なものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって、部活動をはじめ運動会や文化祭などの集団活動は非常に重要な教育課程の一つです。その集団活動に支障を生じることのないような生徒数の規模を確保していく必要があります。こうしたことから将来の町の中学校教育を考えると、学校の区分を見直して2校にするのではなく、現時点において1校体制で整備を進めることが望ましいのではないかと教育委員会では考えております。

意見 16

早い時期に1校に再編、賛成です。いつかやらねばならぬこと、今やってしまうのが良いかと。

1クラス30人以下、ぜひ実現してください。余裕があれば、先生（相談員、保健の先生など）を増やす。スキルアップの講習を行う。一方で先生の負担を減らせる何かの工夫も同時にできたら良いのでは・・・？先生、大変ですものね。

<教育委員会の意見>

30人未満学級については、必ず実行したいと思います。

また、学校教育は教職員と児童生徒のふれあいを通して行われるものでありますことから、ご意見にありますように多忙となっている教職員の負担を軽減するための何らかの対策を考えていかなければなりません。

意見 17

3校統合については基本的には賛成ですが、新しい中学校の建設予定の場所など具体的な説明が必要かと思います。

<教育委員会の意見>

再編後の新しい中学校の場所については今後の検討となります。現在、3中学校の施設の現況調査を行っております。その結果が出ましたら教育委員会として検討し、その後に住民の皆さんに候補地をお示ししてご意見をお聴きしながら決定していく考えです。

意見 18

小牛田、不動堂、2校はとても古いとの事で建替えが必要だと思います。統合については南郷までとなるとやはり地域が広すぎて一緒にというのは難しいと思います。よって、小牛田と不動堂と統合し、南郷はそのままでいいと思います。

<教育委員会の意見>

これからの日本の社会は人口減少という大きな潮流の中で児童生徒数も減少していきます。学校の再編は、こうした社会の現実を受け止めて将来のある子どもたちのために教育環境を整備するために行うものです。子どもたちのために望ましい教育環境を整備することが今を生きる私たち大人の役割であり、それが将来の町づくりや地域づくりに繋がっていくものと考えております。

本年3月1日現在の町内の中学生の数は615人ですが、10年後には480人程度まで減少するものと見込まれています。わが国の社会全体の人口推計から見てもその後も児童生徒数は減少していくことと推測されます。また、社会性をはじめ人格形成に必要なものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって、部活動をはじめ運動会や文化祭などの集団活動は非常に重要な教育課程の一つです。その集団活動に支障を生じることのないような生徒数の規模を確保していく必要があります。こうしたことから将来の町の中学校教育を考えると、小牛田中と不動堂中を統合して南郷中を残す2校体制ではなく、現時点において3校を統合する1校体制で整備を進めることが望ましいのではないかと教育委員会では考えております。

また、現在の南郷地域においては、幼稚園から中学校までの12年間にわたって限られた交友関係の中での学校生活が続いております。小学校を卒業して中学校に入学する時点においては、これまでよりも広い範囲でより多くの新しい友達と出会う機会があり、交友関係がひろがることの方が、社会性をはじめ人格形成に必要なものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって必要ではないかと考えています。そのためには、幼稚園、小学校、中学校と三つの各段階において同じ地域（エリア）の学区ではなく、中学校においてはこれまでよりも広いエリアの学区にするのが望ましいと教育委員会では考えております。こうしたことから、南郷地域では、将来的においても現在の「なんごう幼稚園」と「南郷小学校」を維持することとして、中学校においては広いエリアに再編することの方が将来の南郷地域の子どもたちにとって望ましいのではないかと教育委員会では考えております。

なお、3校を1校にするには地域が広すぎるとのご意見ですが、スクールバスによって30分程度で移動できる範囲ですので決して広いものとは考えておりません。スクールバスの運行を充実させるなど再編による諸問題を解消しながら南郷中学校を含めて再編を行っていく考えです。

意見 19

学校統合については、町の財政や少子化でしかたがないことと思います。統合についてのデメリットであるいじめなどから、少人数クラスは良いと思います。ただ問題は統合というところではなく、少子化ということです。私は以前に美里町よりも少子化が深刻な市に住んでおりました。そこのある子育て支援施設には、子供が3～4人があたり前でした。町全体では少子化だが、そこだけは子沢山の人が多かったのです。特にお金に余裕がある人ではなく、母親同士がつどい、子供達がつどい、心のよりどころになっていました。そこに通うママ達は、ここがあるから3人育てられると言っていましたし、私自身、精神的に助けられました。美里町の子育て政策はまだまだです。小牛田町の子供家庭課の対応を見れば一目瞭然です。そこの市では子育て課にはいつもママ達がいつも集まり、市とこれからの子育てのあり方についていつも話し合いがされてきました。本当の意味での人と人とのつながり、町と町民とのつながり、ママとママのつながりが大切になってくると思います。

<教育委員会の意見>

「美里町の子育て政策はまだまだ」との厳しい評価を真摯に受け止め、教育委員会としても幼児教育（幼稚園教育）の更なる充実を図らなければならないと考えています。

意見 20

校舎の古さや財源的な事を考えると1つの学校に再編するのも良いと思っています。たくさん生徒とふれあう事で得られる物もたくさんあるだろうし、スクールバスが出る事で通学路の危険も少なくなる。ただ、それだけでなく多感な時期だし人数が増える事でいじめ問題が深刻になるのではないかと。テレビを見ていて不安な事がたくさんあるのでそこが心配です。統合してから決めるのではなく、保護者が安心して子供をあずけられる環境だったら再編には賛成です。

<教育委員会の意見>

中学生は「多感な時期だし人数が増える事でいじめ問題が深刻になるのではないかと」との

ご心配の意見ですが、ごもっともかと思えます。

中学校を1校に再編するに当たっては全てのクラスで30人未満学級を実施して教職員の目が生徒一人ひとりに行き届きやすくすること、また、専従のスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを常駐配置して生徒が抱える交友関係などの様々な悩みをいつでも気軽に安心して相談できる体制を整備すること、これらの対策から生徒一人ひとりの心のケアに対応していく考えです。

意見21

できるだけ早く新校舎を建てることについて賛成です。3校合併についても反対ではありません。しかし通学など遠距離のために、部活動の時間が短縮されたりするのでは？と思いますが、それでは特に運動部では不安が残ります。毎日の部活動が短い分、土日の練習が増える分には構いませんが、先生方の負担、親の負担が増え、部活動によっては差がでてしまいます。生徒数が増えて部活内容の幅が広がるのはいいことですが同時に一人一人の活躍の場は減ります。部活の時間は減ってほしくないですね。

1クラス30人未満学級は賛成です。小学校も当分の間合併しないにしてもクラスを30人未満学級にして、先生の目が行き届くようにしてほしいです。どうせクラス余っているのでそうできるならそうしてほしいです。

それからこの合併の議論も最優先だとは思いますが、町として、少子化を止める、もしくは、少しでも子どもを増やす対策をきちんとすればいいのではないのでしょうか。教育委員会としては、また別な分野の事項にはなるのですが、例えば幼稚園保育料金が2人目半額、3人目無料という制度ですが、私も3人子ども産んでいますが、年齢が違うだけで半額にも無料にも一切なりません。おかしくないですか。だったらこんな制度はなしにして、もっと平等に分けるべきだし、同じ3人子どもいるのに不平等です。それから待機児童についても、もっとどうにかできるのではないですか？うちも幼稚園いますが、両親共に働いているのに、預かり保育落とされ、近所の同幼稚園に通う子は祖母もおり祖祖父母も元気に畑仕事しているにもかかわらず預かりOKで、どのような審査でこうなるのでしょうか？もう少しで卒園なのでこれまで我慢してきましたが、他にも待機児童はいると思いますので、このようなことなるべくおこらないように、もっと制度の充実をはかってほしいです。若者や子どもを持つ親が、美里町に住もうと思えるような町づくりをしないから少子化がどんどん進むのではないですか？

合併は仕方ないことだと思いますし、時代の流れもあるのですべてが町のせいではありませんが、もう少しきちんとすべきだと思います。それから合併後ですが、せっかく新しい学校なので、制服やジャージ等も全て新しくしてほしいです。(あたりまえですが)新中学校名ですが、校歌や校風、校章など、この先もたぶんなくなることはないであろう中学校なので、少しお金をかけて、有名デザイナーや有名作詞・作曲家にいろいろ作って頂きたいです。宮城県出身の有名な方に依頼するとか……。子どもたちの自慢になるような母校の土台を作ってほしいです。

<教育委員会の意見>

(スクールバスと部活動について)

部活動が終了する時刻に合わせて帰り(下校)のバス時刻を設定しますので、部活動の活

動時間は従前が変わりなく特に制限されることはありません。そのためには、全ての部活動の終了時刻を統一する必要があります。「与えられた時間の中で効率的、効果的な練習を集中して行うこと」を生徒に教えていかなければなりません。「時間のけじめ」や「時間の大切さ」を生徒に教えていくことも大切な教育の一つです。

また、土、日曜日の部活動についてもバスの運行を考えなければなりません。学校全体において土、日曜日のいずれかを部活動のない日（休養日）に統一して、部活動のある日には相応の運行ダイヤでバスを運行しなければならないと考えております。

しかし、早朝練習に対してはバスを運行する考えはありません。早朝練習が生徒の授業に影響を及ぼさないか、早朝練習のあり方については検討しなければならないと考えているからです。

（小学校の30人未満学級について）

小学校においても30人未満学級をとの要望ですが、教育委員会としても同様の考えであります。小学校についても検討してまいります。

（幼稚園保育料の減免について）

幼稚園の保育料の減免など、保護者の経済的負担を軽減するための対策は必要であると認識しております。助成制度におけるサービスの公平性についても検討してまいります。

（子どもたちの自慢になる母校の土台づくりについて）

制服やジャージ等も全て新しくする考えです。校歌や校章などを著名人に作っていただくことも今後検討してまいります。ご意見にありますように、子どもたちの自慢になるような母校の土台をつくっていかねばならないと考えます。

意見 2 2

町の財政を語るなら、どの様な増収・削減の案を持っているのか？また、かなり前からこのような状況になることは予想できたと思うが、今まで何をしてきたのか？職員の給与はなぜ国家公務員並で地域の会社員並ではないのですか？役所は地域住民のサービスを行う所、この様なことはサービスの低下にはなりませんか？この場になって教育と財政を一緒に語るのですか、常に同様に考えなければいけないのでは？

今までの責任はだれがとるのでしょうか？

<教育委員会の意見>

町の財政運営については、第3次美里町財政健全化計画（町の公式ホームページ等で公開）をご覧ください。その計画には今後の財政運営の見通しと、中学校の整備を含む今後の公共施設の整備計画が示されています。町では、健全な財政運営を維持する中で、中学校を整備していく考えです。

意見 2 3

生徒数の減少に伴う学校再編は必要なことだが、それと並行して給食センターの設置や（幼稚園なども給食ができるように）送迎のバスの問題などを一緒に実施して欲しい。また、使用しなくなる学校の今後の活用、児童館として活用なども一緒に検討して欲しい。住民がそして子供達すくすく育つ町作りを考えて欲しい。正直、現在の町の行政は合併後も何も発展してないのが状況の為、今回の再編で全国に名をうる町になって欲しい。

＜教育委員会の意見＞

給食センターの設置については今後の検討課題とさせていただきます。幼稚園給食の提供は中学校の再編とは別に導入を検討しております。統合後の学校跡地の利活用につきましては、地域住民のご意見をお聴きしながら今後検討していく考えです。

教育委員会としても、今回の学校再編によって、全国に美里町が注目されるような特徴のある何かを打ち出していければと考えています。

意見 2 4

中学校を1校にする案に賛成です。大人数の学校で学習面も部活動の面でも切磋琢磨して成長してほしいと思います。学習補助の教員を多く設置するなどの配慮は十分にしてほしいです。

＜教育委員会の意見＞

教育委員会としても同じ考えです。教職員についても十分な数を配置していくよう努めてまいります。

意見 2 5

反対です。理由は通学手段、対策として、確保とあるが、何をもって確保と言えるか？明確な回答、納得できる回答を願う。又、メリット2点目にも疑問、多様な考え方に接する機会は、保護者は、学校側に求めるものではない。必要と感じれば、いくらでも手段はある。2つめの財源について、新たな教育活動とは何か？具体的に示して欲しい。そして、その先にあるものは何か？

今の美里町の魅力は、少なくとも生活のし易さではないでしょうか？その一つに学校教育環境もあるのでは？それがなくなり、新たな住民も減り、町の活性化も進まないのではないのでしょうか。

＜教育委員会の意見＞

スクールバスの台数を十分に確保し、また、コースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時における生徒がバスに乗車している時間を、学校から最も遠い生徒であっても30分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行から通学にかかる時間の短縮などに努めていきます。

また、「多様な考え方に接する機会は、保護者が学校側に求めるものではない」とのご意見ですが、確かに保護者が学校側に求めるものではないものかもしれません。しかし、生徒たちが一日の大半の時間を過ごす学校の中においては、勉強だけではなく、友達や先生たちとのふれあいも大切な学習活動の一つであると考えます。そうした学校の中で、できるだけ多くの友達や先生たちとふれあうことは、生徒にとって望ましい姿だと考えております。

さらには、「新たな教育活動とは何か？」とのご質問ですが、少人数学級（30人未満学級）の導入、習熟度別学習の導入、英語教育の充実などを現在検討しているところです。今後も皆さんからのご提案をいただきながら検討してまいります。

意見 2 6

より健全な財政運営となるのであれば再編に賛成します。

＜教育委員会の意見＞

町では健全な財政運営を維持しながら中学校を整備していく考えです。国の財政措置等を十分に活用し、また、限られた財源の中で最大限の教育効果を上げるよう取り組んでいく考えです。

意見 27

・小学校高学年～中学生になると、急な人数増による子供達の精神的な部分が不安。統合する、しないに関わらず、これからの町内の子供達の同学年での交流の場を設けるなど、急な変化ではなく、少しずつ変化を受け入れられる様にして欲しい。その様子を保護者・先生方が事前に見る事ができる事で統合する前に、問題点が見えそれに対しての対応を考える余裕ができると思います。

・2020年の英語教科化に向けて、美里町ではウィノナと姉妹都市という部分を生かし、英語特区として英語に強い町になって欲しい。せっかくの統合に、付加価値をつけ皆が新しい物（目標）に取り組めるような絶好のチャンスだと思います。

＜教育委員会の意見＞

・再編の前に子どもたちがお互いに相手を知っていることだけでも、再編後の子どもたちにとっては安心感が生まれ良いことだと思います。再編によって子どもたちが抱える不安を軽減するよう事前に小学校間の交流、小中学校間の交流、中学校間での交流の機会を多く設ける必要があると考えています。

・2020年の小学校での英語教科化に向けて、また、学校の再編を機会に英語教育に特化した付加価値のある学校づくりを行うことについては、教育委員会でも同様の考えであります。

意見 28

3校統合に賛成です。

＜教育委員会の意見＞

教育委員会としても、できるだけ早く3校統合を進めていく考えです。

意見 29

少人数だった小学校の学区の子どもが、急に多人数になる中学校への進学に対して不安になることを軽減できるように、他の小学校同士の交流を増やして顔見知りを少しでも多くするようにした方が良いと思う。

多人数になるので部活動の数が増えたらいいと思う。

教員の採用に、県採用に加えて足りない人員を町で採用すると説明を受けたが、採用方法や基準が同等のレベルのものなのかどうか気になる。

＜教育委員会の意見＞

再編の前に子どもたちがお互いに相手を知っていることだけでも、再編後の子どもたちにとっては安心感が生まれ良いことだと思います。再編によって子どもたちが抱える不安を軽減するよう事前に小学校間の交流、小中学校間の交流、中学校間での交流の機会を多く設ける必要があると考えています。

町における教員の採用方法については、優秀な人材を確保することを最優先に、今後検討してまいります。

意見 30

・この際、3校を1つにした方が良いと思う。メリット・デメリットはあると思うが、その都度対応していけばいいと思う。むしろ南郷のみのこしたら、申し訳ないけど、ムダとしか言いようがない。

・中学校再編も大変だと思うが、せめて小学校のトイレの洋を増やすは同時進行していただきたい。

<教育委員会の意見>

小学校のトイレの洋式化への改修工事についても同時に進めてまいります。

意見 31

・今現在再編を町として考えているならば町内のどのあたりに建設するのか、候補地を公表してほしい。その候補地によって賛成、反対の意見が人によってかわってくると思う。

・このような今後の町にとって重要な案件については、平日の昼間の説明会だけでは仕事をしている人たちが参加しづらいので平日の夕方か土・日・祝日の昼間の開催を希望します。

<教育委員会の意見>

・再編後の新しい中学校の場所については今後の検討となります。現在、3中学校の施設の現況調査を行っております。その結果が出ましたら教育委員会として検討し、その後に住民の皆さんに候補地をお示ししてご意見をお聴きしながら決定していく考えです。

・これまでも、平日の夜間、土・日・祝日の昼間に説明会等を開催してきました。今後も住民の皆さんが参加しやすい時間帯に開催していきます。

意見 32

3校の統合、賛成です。デメリット確かにいろいろと対策は必要だと思います。でも、悪い点ばかり考えるよりも、美里町にできる新しい中学校の特色を一つでも多くつくり、子どもたちが自慢できる学校をつくってあげるのも大切ではないでしょうか。

部活動のコーチに住民を招く、町内に2つある農業高校との体験交流など、魅力ある学校にしてほしいです。

また、将来的には生徒が減少し、空き教室がでてくると思います。住民が利用できる社会教育施設としての有効活用も視野に入れ、20年、30年先も見すえた造りにすると思います。

<教育委員会の意見>

新しい中学校の一つでも多くの特色をつくり、子どもたちが自慢できる魅力のある学校をつくっていくことは非常に大切なことと考えます。少人数学級(30人未満学級)の導入、習熟度別学習の導入、英語教育の充実などを現在検討しているところですが、町内に2つある農業高校との体験交流なども含めて、皆さんからのご提案をいただきながら検討してまいります。

また、住民が利用できる社会教育施設としての有効活用も視野に入れ、20年、30年先

を見すえた学校施設をつくらなければならないと考えています。

意見 3 3

小牛田と不動堂は統合して、南郷はそのままだが、距離的にも近くて良いと思います。(南郷は築年数も2校よりは少ないので)

<教育委員会の意見>

これからの日本の社会は人口減少という大きな潮流の中で児童生徒数も減少していきま
す。学校の再編は、こうした社会の現実を受け止めて将来のある子どもたちのために教育環
境を整備するために行うものです。子どもたちのために望ましい教育環境を整備するこ
とが今を生きる私たち大人の役割であり、それが将来の町づくりや地域づくりに繋がって
いくものと考えております。

また、本年3月1日現在の町内の中学生の数は615人ですが、10年後には480人程
度まで減少するものと見込まれています。わが国の社会全体の人口推計から見てもその後
も児童生徒数は減少していくことと推測されます。また、社会性をはじめ人格形成に必要な
ものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって、部活動をはじめ運動会や文化祭など
の集団活動は非常に重要な教育課程の一つです。その集団活動に支障を生じることのない
ような生徒数の規模を確保していく必要があります。こうしたことから将来の町の中学校
教育を考えると、小牛田中と不動堂中を統合して南郷中を残す2校体制ではなく、現時点
において3校を統合する1校体制で整備を進めることが望ましいのではないかと教育委員会
では考えております。

意見 3 4

中学校の統合、正直言えば反対です。校舎の建て直し費用など、資金面など見れば3つあ
るより1つにした方がというのはわかりますが、地域に学校がなくなるという事はますます
過疎化が進むことになりませんか？

私は事情があり仙台から遠田地域に引っ越す事になった時、「学校から徒歩で通える場所」
を考えました。南郷地域は子供の数が少ないため住みたいとは思いませんでした。“子ども
のための町づくり”が見えないといくら1つに学校を再編しても良い方向に向くとは思え
ません。“大崎市に右ならえ”な風潮はいかがなものでしょうか・・・。“特色のある教育”
とありますがどのような特色を出すのか、構想はあるのですか？建て替えがすでに決まっ
ている様な気がするのは私だけではないと思います。

<教育委員会の意見>

将来の子どもたちの教育環境を考えれば中学校の再編を避けては通れないと考えます。
部活動ができる一定規模の生徒数が確保できる中学校をつくって、教育環境を充実させて
いくことです。決してほかの市町に倣って行うものではありません。

また、「“特色のある教育”とありますがどのような特色を出すのか、構想はあるのです
か？」とのご質問ですが、少人数学級(30人未満学級)の導入、習熟度別学習の導入、英
語教育の充実などを現在検討しているところです。今後も皆さんからのご提案をいただき
ながら検討してまいります。

意見 35

中学校が新しくなることは、とても良いことだと思います。ですが、個人的な事ではありますが、ゆとり〜と美里町に住む者として、小中学校が近いことと、駅が近いことが魅力で引っ越してきたのに遠くなってしまったら意味がなくなってしまうことは、非常に残念に思います。中塚小学校を新しくする時に中学校の事も考え、財政運営のことを考えれば良かったのではないだろうか。

また、1クラス30人未満学級の実現の項目の中に、教師が生徒一人ひとりに対してきめ細かな指導とありますが、1クラスに対して3人の先生がつく秋田県のとある学校を参考にしたらどうだろうか。

部活動については、人数の多さで個人個人のやる気が上がるものではないし、変な仲間意識が生まれ、いじめ（集団）につながりやすいと思います。人数が少なければ、かけもちをする、私が中学の時にありました。

<教育委員会の意見>

再編後の新しい中学校の場所については今後の検討となります。現在、3中学校の施設の現況調査を行っております。その結果が出ましたら教育委員会として検討し、その後に住民の皆さんに候補地をお示ししてご意見をお聴きしながら決定していく考えです。

また、1クラス30人未満学級を実現するに当たっては、秋田県などの先進事例も参考にまいります。

意見 36

中学校を統合するのは部活動に活気がでるかもしれないが、通学手段が気になるし、逆に人数が増えることで人間関係、勉強面のトラブルに教師の方が対応できる分、心配。

小学校は、青生と不動堂を統合し、中塚、北浦、小牛田を統合すればいいのではないかと？ スクールバスを何台も手配しなければ行けないのでは・・・？

<教育委員会の意見>

(通学の問題について)

遠距離通学となる生徒の負担を軽減することは再編に当たっての大きな課題の一つです。スクールバスの台数を十分に確保し、また、コースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時における生徒がバスに乗車している時間を、学校から最も遠い生徒であっても30分以内に抑えるなど、通学手段についてはスクールバスの運行を充実させることで対応していく考えです。

(人間関係、勉強面のトラブルについて)

人数が増えることで人間関係、勉強面のトラブルに教師が対応できるかについて心配とのご意見かと思われませんが、中学校を1校に再編するに当たっては全てのクラスで30人未満学級を実施して教職員の目が生徒一人ひとりに行き届きやすくすること、また、専従のスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを常駐配置して生徒が抱える交友関係などの様々な悩みをいつでも気軽に安心して相談できる体制を整備すること、これらの対策から生徒一人ひとりの心のケアに対応していく考えです。

(小学校の再編について)

小学校の再編については、各学校における施設の状況や保護者をはじめ住民の方々の考

えもさまざまであり、また地域コミュニティとのつながりも大きいので、地域住民の方々の意見をお聴きしながら慎重に進めていかなければならないと考えております。教育委員会といたしましては、現時点で具体的な計画はありませんが、よりよい教育環境の整備に向けて、できるだけ早い時期に再編の方向性をお示しいたしたいと考えております。

意見 37

今回のアンケートは中学校ですが、小学校、中学校ともに再編さんせいです。学校を建設するにも、土地を購入するのにも時間がかかるため、早期に決めて再編していただければいいと思います。

<教育委員会の意見>

中学校の再編については早期に進めていく考えですが、小学校の再編については、各学校における施設の状況や保護者をはじめ住民の方々の考えもさまざまであり、また地域コミュニティとのつながりも大きいので、地域住民の方々の意見をお聴きしながら慎重に進めていかなければならないと考えております。教育委員会といたしましては、現時点で具体的な計画はありませんが、よりよい教育環境の整備に向けて、できるだけ早い時期に再編の方向性をお示しいたしたいと考えております。

意見 38

小牛田、不動堂、南郷中を統合する場合は、建設場所について町の都合ではなく、きちんと町民の意見を汲み、慎重に話を進めて下さい。ちなみに、現ふどうどう幼稚園の場所は敷地が狭いし最悪です。また、必ず登校不利者が出きますので、交通手段の充実化を併せて検討して下さい。

旧小牛田エリアと旧南郷エリアは離れていますので、単純に1校への統合は適していないと思います。小牛田中と不動堂中は新設による統合校、南郷中は小学校と統合し小中一貫校として既存施設を回収して活用した方が丸く収まるのでは？なにもかも平等主義にこだわらなくともいいと感じます。

<教育委員会の意見>

(新しい中学校の場所について)

再編後の新しい中学校の場所については今後の検討となります。現在、3中学校の施設の現況調査を行っております。その結果が出ましたら教育委員会として検討し、その後に住民の皆さんに候補地をお示ししてご意見をお聴きしながら決定していく考えです。

(交通手段の充実について)

再編に当たっての大きな課題の一つは、遠距離通学となる生徒の負担増だと思います。スクールバスの台数を十分に確保し、また、コースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時における生徒がバスに乗車している時間を、学校から最も遠い生徒であっても30分以内に抑える予定です。

(再編の内容について)

これからの日本の社会は人口減少という大きな潮流の中で児童生徒数も減少していきます。学校の再編は、こうした社会の現実を受け止めて将来のある子どもたちのために教育環境を整備するために行うものです。子どもたちのために望ましい教育環境を整備すること

が今を生きる私たち大人の役割であり、それが将来の町づくりや地域づくりに繋がっていくものと考えております。

また、本年3月1日現在の町内の中学生の数は615人ですが、10年後には480人程度まで減少するものと見込まれています。わが国の社会全体の人口推計から見てもその後も児童生徒数は減少していくことと推測されます。また、社会性をはじめ人格形成に必要なものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって、部活動をはじめ運動会や文化祭などの集団活動は非常に重要な教育課程の一つです。その集団活動に支障を生じることのないような生徒数の規模を確保していく必要があります。こうしたことから将来の町の中学校教育を考えると、現在の3校体制の維持でもなく、町を二つに分ける2校体制でもなく、現時点において1校体制で整備を進めることが望ましいのではないかと教育委員会では考えております。

(小中一貫校について)

現在の中学校区単位に小中一貫校を整備したとしてもそれによって中学校の生徒数が増えるわけではなく、部活動等に生じている部員数の不足の問題等の解決には繋がりません。小牛田地域と南郷地域にそれぞれ小中一貫校を1校ずつ整備する場合についても、南郷中の生徒数の減少の問題は残ります。やはり、児童生徒数の減少に起因する諸問題を解決するには小学校と中学校を一つにする「縦の再編」ではなく、複数の中学校を一つにする「横の再編」の方が望ましいと考えます。

また、小中一貫校は平成25年の長野県松本市での取組をはじめとして各地の学校でも取り組まれておりますが、制度内容は未だ整備途上にあるものと教育委員会では受け止めております。また、小中一貫校は、小学校の児童数と中学生の生徒数がともに減少していくことへの対策として行うものではなく、小学校における教育環境と中学校における教育環境がそれぞれしっかりと構築された後に、小学校と中学校の連携を更に一層進めることによって双方の相乗効果を図るために検討されるべきものであると考えております。そのためには、小学校教育と中学校教育においてそれぞれの教育環境がしっかりと整備される必要があります。その上で、町内に小中一貫校が望ましいかどうかを検討するべきであり、現在進めている中学校の再編整備の後に小学校の再編を行う必要が生じた時に、併設型小中一貫校と連携型小中一貫校の両方から導入の検討を行うことの方が望ましいのではないかと考えております。その頃には小中一貫校の制度内容も整備され充実されているものと思われれます。

意見39

私は、美里町がより魅力的で活気にあふれた町になることを望んでいます！！

いただいた資料では、“これからも生徒数が減少を続け”“今後の町の財政運営・・・厳しい”など、後ろ向きの見解ばかりで小牛田で育った人間として悲しく思いました。

一方で、説明会に参加した中で耳にした「少人数クラス」の制度については、とても素晴らしいと感じました！

教育委員会と町・町民が意見を出し合い、前向きなビジョンを定め、今後を生きる子どもたちの学校作りをしていただきたいと思います。

具体的な案としては、少人数学級や町の定住促進事業などのアピールを行うなど、子育て

家庭に住みよい町作りをして人口と税収をUPさせる。→地域に子どもの姿があり、活気が出る！！→小牛田、南郷のどちらの学校も残せる！

＜教育委員会の意見＞

具体的な案をいくつか出していただきありがとうございました。教育委員会では人口減少と厳しい財政事情という事実を真摯に受け止めると同時に、ご意見にもありますように将来の子どもたちのために夢のある前向きな将来ビジョンを描き、新しい学校づくりを進めていく考えです。

意見 4 0

中学校再編については理解できました。メリット・デメリットを読みましたが、1校にすることによっておこりうるデメリットに対する対策をあつく考えるべきと思います。1校にしたからといって、必ずしもいじめや不登校が出るとは思いませんが、いじめや不登校にある子供たちへの現在の対策はどのようになっているのでしょうか……。

学校にいけなくなった子供たちに力がそそがれるような環境をととのえる、あるいは考えた時に1校にしてよかったと思える結果が出てくるように思いますが……。再編は賛成ですが、1校にするからにはこうするという明確な対策を望みます。(デメリットへの対策理解はしたが学校以外のとりくみにも力を入れて頂きたいと思います。)

＜教育委員会の意見＞

統合によって発生するデメリットに対して、教育委員会として万全を期していく考えです。

現在のいじめ対策と不登校対策については、毎月、各学校から教育委員会にいじめと不登校の状況を報告させており、教育委員会の青少年教育相談員が学校と連携して対処しています。

中学校を1校に再編するに当たっては全てのクラスで30人未満学級を実施して教職員の目が生徒一人ひとりに行き届きやすくすること、また、専従のスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを常駐配置して生徒が抱える交友関係などの様々な悩みをいつでも気軽に安心して相談できる体制を整備すること、これらの対策から生徒一人ひとりの心のケアに対応していく考えです。

【小学校の保護者から寄せられたご意見・ご要望等】

意見 4 1

中学校の統合は必要だと思いますが、3校を1校に統合では、どこに建設したとしても通学距離がかなり長くなる生徒が多数出てしまう可能性があるため、学区を見直した上で(小牛田、南郷で線を引かずに)2校に統合したほうが良いと思います。

建設費等の問題もあると思いますが、美里町の広さで1校にするのは厳しいと感じます。

＜教育委員会の意見＞

これからの日本の社会は人口減少という大きな潮流の中で児童生徒数も減少していきます。学校の再編は、こうした社会の現実を受け止めて将来のある子どもたちのために教育環

境を整備するために行うものです。子どもたちのために望ましい教育環境を整備することが今を生きる私たち大人の役割であり、それが将来の町づくりや地域づくりに繋がっていくものと考えております。

また、本年3月1日現在の町内の中学生の数は615人ですが、10年後には480人程度まで減少するものと見込まれています。わが国の社会全体の人口推計から見てもその後も児童生徒数は減少していくことと推測されます。また、社会性をはじめ人格形成に必要なものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって、部活動をはじめ運動会や文化祭などの集団活動は非常に重要な教育課程の一つです。その集団活動に支障を生じることのないような生徒数の規模を確保していく必要があります。こうしたことから将来の町の中学校教育を考えると、学区を見直して2校体制とするのではなく、現時点において3校を統合する1校体制で整備を進めることの方が望ましいのではないかと教育委員会では考えております。

意見42

統合には反対です。生徒数が多くなるので、管理がいきとどきにくくなり、いじめなどのいろいろな問題が起きると思います。デメリットへの対策でも書いていましたが、難しいと思います。財政面とかいろいろあるかと思いますが、子供が地域でのびのび勉強や運動ができるということが親としては一番の願いです。

<教育委員会の意見>

中学校を1校に再編するに当たっては全てのクラスで30人未満学級を実施して教職員の目が生徒一人ひとりに行き届きやすくすること、また、専従のスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを常駐配置して生徒が抱える交友関係などの様々な悩みをいつでも気軽に安心して相談できる体制を整備すること、これらの対策から生徒一人ひとりの心のケアに対応していく考えです。

意見43

3中学校を全て統合することについては反対します。現在の小学校単位の生徒数から考えると多すぎて子供も親も戸惑いが大きく、いじめ、などの原因がふえると思います。テレビで見ているいじめでの自殺が身近で絶対おきてほしくはないです。ただし現状のままというわけにはいかないとは思いますが、せめて、不動堂地区を2つにし、2中学校であれば部活動、通学、生徒数についていちばん良いと思います。建設費はかかりますが子供の命はお金にはかえられません。年寄りに、給付金を配るより、日本の将来になる子供にお金をかけるべきです。いじめがあった地域の行政、教育委員会はどこの地域も最低でした。子供の命、将来をうばう要因は作らないで！

<教育委員会の意見>

(3校の統合について)

これからの日本の社会は人口減少という大きな潮流の中で児童生徒数も減少していきます。学校の再編は、こうした社会の現実を受け止めて将来のある子どもたちのために教育環境を整備するために行うものです。子どもたちのために望ましい教育環境を整備することが今を生きる私たち大人の役割であり、それが将来の町づくりや地域づくりに繋がってい

くものと考えております。

また、本年3月1日現在の町内の中学生の数は615人ですが、10年後には480人程度まで減少するものと見込まれています。わが国の社会全体の人口推計から見てもその後も児童生徒数は減少していくことと推測されます。また、社会性をはじめ人格形成に必要なものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって、部活動をはじめ運動会や文化祭などの集団活動は非常に重要な教育課程の一つです。その集団活動に支障を生じることのないような生徒数の規模を確保していく必要があります。こうしたことから将来の町の中学校教育を考えると、学区を見直して2校体制とするのではなく、現時点において3校を統合する1校体制で整備を進めることの方が望ましいのではないかと教育委員会では考えております。

(いじめの問題について)

中学校を1校に再編するに当たっては全てのクラスで30人未満学級を実施して教職員の目が生徒一人ひとりに行き届きやすくすること、また、専従のスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを常駐配置して生徒が抱える交友関係などの様々な悩みをいつでも気軽に安心して相談できる体制を整備すること、これらの対策から生徒一人ひとりの心のケアに対応していく考えです。

意見44

中学校の学校再編については、今後の生徒数の減少や校舎の建て替えを考えると1校にすべきだと考えます。生徒数が上がるとそれだけ競争率が上がり学校もよりよい環境になると考えます。

<教育委員会の意見>

教育委員会も同様の考えです。

意見45

時代の流れと共に、色んな事情を鑑みて、再編が必要となって来ている以上、早くその方向で実現して下さい。校舎の経過にしろ、五年前のあの地震が又来たらと思うと子供達の命に関わる問題です。至急統合して建て替えをお願い致します。

<教育委員会の意見>

教育委員会も同様の考えです。子どもたちの安全と安心を守ることが学校運営の大前提になると考えます。

意見46

校舎の老朽化もすすんでいますので、なるべく早くに、新しい校舎で学習させてあげたいと思います。

<教育委員会の意見>

教育委員会も同様の考えです。子どもたちの安全と安心を守ることが学校運営の大前提になると考えます。

意見 4 7

先のことを考えると、統合した方がよいと思います。中学校は町内 1 校、小学校は 2 校でもよいかもしれませんが、50 年先を考えると、いずれ、小学校が 1 つにしていくことを考えなければいけなくなると思います。町でも、「ゆとり〜と」のように、若い家族の世代が入ってくるような方法を考えて、町の運営をしていただきたいです。

<教育委員会の意見>

教育委員会も同様の考えです。若い家族の世代が入ってくるような政策が今最も重要と考えます。教育委員会でも 30 人未満学級の導入、習熟度別学習の導入及び英語教育の充実など、特色のある教育の実現から、若い世代の家族が移り住んでくるような町づくりを目指していきます。

意見 4 8

未来のことを見据えて、3 校統合に賛成です。

<教育委員会の意見>

未来のことを見据えれば、3 校統合は行わなければならないと考えます。

意見 4 9

- ・ 3 校が統合される事には賛成です。
 - ・ デメリットの中にあるスクールバスによる通学ですが、逆に帰宅時間が分かるし、放課後の活動が制限されると言いますが、時間内に何をすれば良いか等の目標、目的がはっきりするのでむしろメリットだと私は思います。ただ、自転車になる生徒の安全確保は必要な整備費だと思います(外灯、道路など)ので予算をしっかりとってやって頂ければと思います。
 - ・ 給食を出して頂ければ良いです。
 - ・ 特色ある教育との事ですが、ばく然としているので今イチピンときません。早めに、こんな特色ある学校を目指しますという様なプランを出して欲しいと思います。例えば体験(農業)を通して学ぶ教育とか
 - ・ プランを出して頂ければ皆さん意見を出しやすいかと思います。
- 3 つを一つにまとめるのは大変な苦勞ですが宜しくお願いします。

<教育委員会の意見>

(スクールバス通学について)

「与えられた時間の中で効率的、効果的な練習を集中して行うこと」を生徒に教えていかなければなりません。「時間のけじめ」や「時間の大切さ」を生徒に教えていくことも大切な教育の一つです。スクールバス通学によってこうしたことが徹底されることから、ご意見にもありますように、スクールバスによる通学になることがデメリットというよりもメリットになると考えることもできます。

(自転車通学路の安全確保について)

自転車通学を行う生徒の安全確保には十分に配慮しなければなりません。新しい学校の場所が決まれば、生徒の通学路を想定して現地調査をし、危険個所については優先順位をつけて年次的に改善していく考えです。

(学校給食について)

学校給食は今までと同様に提供する考えです。

(特色のある教育について)

特色のある教育については少人数学級(30人未満学級)の導入、習熟度別学習の導入、英語教育の充実などを現在検討しているところですが、農業体験を通して学ぶ教育なども含めて、皆さんからのご提案をいただきながら検討してまいります。

(具体的なプランについて)

現在、3中学校の施設の現況調査を行っております。その結果が出ましたら、整備の具体的な手法について教育委員会として検討し、その後に住民の皆さんに新しい学校の場所(候補地)と併せてお示しする考えです。

意見50

遠距離通学により、スクールバスに乗る生徒だけでなく、長距離を自転車で通学する生徒もいると思います。現在、町内の中学校を見ても思うのですが、ノーヘルはとても危険なように感じます。再編を機に、ヘルメット着用を義務付けしてもらえると、安心です。

<教育委員会の意見>

教育委員会でも自転車通学の中学生にヘルメットを着用させる方向で検討しているところです。再編するまでには、ヘルメット着用を義務付けるようにします。

意見51

小学校再編に反対する方が多いようですが、賛成です。親の勤めなどで古川の小学校に通っている家庭もあり、児童数も減る一方だと思います。

(古川の小学校はいち学年5クラスとかあって、いろいろな行事は盛り上がります)

中学校再編についての意見を書く場ですが、小学校も含めて、考えて頂きたいです。

<教育委員会の意見>

小学校の再編については、各学校における施設の状況や保護者をはじめ住民の方々の考えもさまざまであり、また地域コミュニティとのつながりも大きいので、地域住民の方々の意見をお聴きしながら慎重に進めていかなければならないと考えております。教育委員会といたしましては、現時点で具体的な計画はありませんが、よりよい教育環境の整備に向けて、できるだけ早い時期に再編の方向性をお示しいたしたいと考えております。

意見52

3中学校の再編の後は、小学校の再編も考えられる事をふまえ、小中学校を1つにするこ
とも1つの案

不動堂小、青生小→不動堂小・中学校、

北浦小、中埜小、小牛田小→小牛田小・中学校

南郷小、南郷中は現状

<教育委員会の意見>

(小学校の再編について)

小学校の再編については、各学校における施設の状況や保護者をはじめ住民の方々の考えもさまざまであり、また地域コミュニティとのつながりも大きいので、地域住民の方々の

意見をお聴きしながら慎重に進めていかなければならないと考えております。教育委員会といたしましては、現時点で具体的な計画はありませんが、よりよい教育環境の整備に向けて、できるだけ早い時期に再編の方向性をお示しいたしたいと考えております。

(小中一貫校について)

現在の中学校区単位に小中一貫校を整備したとしてもそれによって中学校の生徒数が増えるわけではなく、部活動等に生じている部員数の不足の問題等の解決には繋がりません。小牛田地域と南郷地域にそれぞれ小中一貫校を1校ずつ整備する場合についても、中学校の生徒数の減少の問題は残ります。やはり、児童生徒数の減少に起因する諸問題を解決するには小学校と中学校を一つにする「縦の再編」ではなく、複数の中学校を一つにする「横の再編」の方が望ましいと考えます。

また、小中一貫校は、平成25年の長野県松本市での取組をはじめとして各地の学校でも取り組まれておりますが、制度内容は未だ整備途上にあるものと教育委員会では受け止めております。また、小中一貫校は、小学校の児童数と中学校の生徒数がともに減少していくことへの対策として行うものではなく、小学校における教育環境と中学校における教育環境がそれぞれしっかりと構築された後に、小学校と中学校の連携を更に一層進めることによって双方の相乗効果を図るために検討されるべきものであると考えております。そのためには、小学校教育と中学校教育においてそれぞれの教育環境がしっかりと整備される必要があります。その上で、町内に小中一貫校が望ましいかどうかを検討すべきであり、現在進めている中学校の再編整備の後に小学校の再編を行う必要が生じた時に、併設型小中一貫校と連携型小中一貫校の両方から導入の検討を行うことの方が望ましいのではないかと考えております。その頃には小中一貫校の制度内容も整備され充実されているものと思われま

意見53

中学校の再編については、賛成です。現に、中学校の老朽化を考えれば、当然のことです。多少、通学が不便になる生徒もいるでしょうが、今後の事を考えれば、通学にはスクールバスの運行を1時間おきに運行するなどの（例えば部活なし4：00～5：00、6：00、7：00と）対策をとれば、解決できる問題だと思います。

明るい未来の為に、そして楽しい中学時代を過ごす事ができる様、部活にも力を入れてもらえたら嬉しいです。

<教育委員会の意見>

通学が不便になるとのご心配ですが、スクールバスの台数を十分に確保し、またコースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。

また、ご意見にありますように、部活動にも力を入れてまいります。

意見54

小牛田中、不動堂中の統合には賛成です。南郷中は、そのまま残す方が良いのでは？

もともと、違う町だった事もありますし……。無理に3つを1つにする事はないと思います。

<教育委員会の意見>

これからの日本の社会は人口減少という大きな潮流の中で児童生徒数も減少していきます。学校の再編は、こうした社会の現実を受け止めて将来のある子どもたちのために教育環境を整備するために行うものです。子どもたちのために望ましい教育環境を整備することが今を生きる私たち大人の役割であり、それが将来の町づくりや地域づくりに繋がっていくものと考えております。

また、本年3月1日現在の町内の中学生の数は615人ですが、10年後には480人程度まで減少するものと見込まれています。わが国の社会全体の人口推計から見てもその後も児童生徒数は減少していくことと推測されます。また、社会性をはじめ人格形成に必要なものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって、部活動をはじめ運動会や文化祭などの集団活動は非常に重要な教育課程の一つです。その集団活動に支障を生じることのないような生徒数の規模を確保していく必要があります。こうしたことから将来の町の中学校教育を考えると、小牛田中と不動堂中を統合して南郷中を残す2校体制ではなく、現時点において3校を統合する1校体制で整備を進めることが望ましいのではないかと教育委員会では考えております。

意見55

3校統合になるとスクールバスでの通学する生徒達の登校下校の時間にかなり制限が出ると思うので、小牛田地区(小牛田中、不動堂中)と南郷地区(南郷中)の2校が望ましいと思えます。

＜教育委員会の意見＞

(通学時間について)

遠距離通学となる生徒の負担を軽減することは再編に当たっての大きな課題の一つです。スクールバスの台数を十分に確保し、また、コースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時における生徒がバスに乗車している時間を、学校から最も遠い生徒であっても30分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行から通学にかかる時間の短縮などに努めていきます。

(再編の内容について)

これからの日本の社会は人口減少という大きな潮流の中で児童生徒数も減少していきます。学校の再編は、こうした社会の現実を受け止めて将来のある子どもたちのために教育環境を整備するために行うものです。子どもたちのために望ましい教育環境を整備することが今を生きる私たち大人の役割であり、それが将来の町づくりや地域づくりに繋がっていくものと考えております。

また、本年3月1日現在の町内の中学生の数は615人ですが、10年後には480人程度まで減少するものと見込まれています。わが国の社会全体の人口推計から見てもその後も児童生徒数は減少していくことと推測されます。また、社会性をはじめ人格形成に必要なものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって、部活動をはじめ運動会や文化祭などの集団活動は非常に重要な教育課程の一つです。その集団活動に支障を生じることのないような生徒数の規模を確保していく必要があります。こうしたことから将来の町の中学校教育を考えると、小牛田中と不動堂中を統合して南郷中を残す2校体制ではなく、現時点において3校を統合する1校体制で整備を進めることが望ましいのではないかと教育委員会

では考えております。

意見 5 6

学校の再編に対しては問題ないです。ただ、遠方から来る事になる生徒が体力の低下、運動量の減少につながるようでしたら、対応策あると良いと思います。いろいろ大変ですが、子ども達が将来不安にならないような学校づくりになってほしいと思います。

<教育委員会の意見>

遠距離通学となる生徒はスクールバスによる通学となります。それによって体力の低下、運動量の減少につながることを心配されます。しかし、ご意見にもありますように対応策はあると思います。バスの乗車場所（バス停）を少なくし、自宅からバス停までの一定距離を徒歩や自転車で通うようにするなどの工夫も必要になってくるかと思えます。また、生徒が希望する場合には、遠距離通学者であっても陽の長い期間や天候の良い日などには自転車で通学することも良いのではないかと思われま。

意見 5 7

デメリットにも挙げられている遠距離通学が最も大きな問題になると考えます。今後の生徒数の推移を熟考し、生徒数の多い箇所を重心とする地域に移転する計画としていただきたいと思っております。

<教育委員会の意見>

（通学の問題について）

遠距離通学となる生徒の負担を軽減することは再編に当たっての大きな課題の一つです。スクールバスの台数を十分に確保し、また、コースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時における生徒がバスに乗り込んでいる時間を、学校から最も遠い生徒であっても30分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行から通学にかかる時間の短縮などに努めていきます。

（新しい学校の場所について）

再編後の新しい中学校の場所については今後の検討となります。現在、3中学校の施設の現況調査を行っております。その結果が出ましたら教育委員会として検討し、その後に住民の皆さんに候補地をお示ししてご意見をお聴きしながら決定していく考えです。

意見 5 8

統合する事で子供達の交友関係が広がるのはとても良いと思うのですが、遠距離通学になってしまうのではないかとというのが不安です。3年前に美里町に引っ越してきましたが、その理由の1つとして学校が近くにあり、徒歩で通学できると思い家を購入しましたので、もし遠くなってしまう事になると、これから先の家族の生活全体が変わってしまうのではないかと、とても不安になります。仮に統合するとなれば、新しい校舎はどの場所になるのでしょうか。

<教育委員会の意見>

（通学の問題について）

遠距離通学となる生徒の負担を軽減することは再編に当たっての大きな課題の一つです。

スクールバスの台数を十分に確保し、また、コースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時における生徒がバスに乗車している時間を、学校から最も遠い生徒であっても30分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行から通学にかかる時間の短縮などに努めていきます。

(新しい学校の場所について)

再編後の新しい中学校の場所については今後の検討となります。現在、3中学校の施設の現況調査を行っております。その結果が出ましたら教育委員会として検討し、その後に住民の皆さんに候補地をお示ししてご意見をお聴きしながら決定していく考えです。

意見59

現状のままでは、デメリットが大きく、子供の教育上大きな問題が生ずるものと思われま。可能であれば町外の他の中学校に入学させたいと思う保護者も少なくないのでは・・・と思います。早急に一つに統合すべきだと思います。急いで下さい。お願いします。

小学校についても、青生、北浦、中塚などは不動堂、小牛田小などと統合すべきです。

教育環境を整え、将来を担う子供達に良質な教育を提供すべきです。それが美里町の将来にもつながるはずで。

<教育委員会の意見>

中学校の再編については、早急に進めていく考えです。しかし、小学校の再編については、各学校における施設の状況や保護者をはじめ住民の方々の考えもさまざまであり、また地域コミュニティとのつながりも大きいので、地域住民の方々の意見をお聴きしながら慎重に進めていかなければならないと考えております。教育委員会といたしましては、現時点で具体的な計画はありませんが、よりよい教育環境の整備に向けて、できるだけ早い時期に再編の方向性をお示しいたしたいと考えております。

意見60

子供の通学にかかる時間や、通学に関しての環境が整うのであればよいと思います。

<教育委員会の意見>

遠距離通学となる生徒の負担を軽減することは再編に当たっての大きな課題の一つです。スクールバスの台数を十分に確保し、また、コースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時における生徒がバスに乗車している時間を、学校から最も遠い生徒であっても30分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行から通学にかかる時間の短縮などに努めていきます。

意見61

デメリットのいじめ、不登校、危険な通学路に対する処遇等が、対処、改善され先生方が生徒によりそってくれる事等があれば、統合もよいと思います。

遠距離になり、通学の手段が、マイカーが多くなり携帯を持つ事が必要になると、又、事件がおこりそうです。生徒の為のバスも、部活での後の路線もあると良いですね。

校舎が老朽化しているなら、生徒たちの行動にもあわせて、りっぱな、内面のある校舎になって下さい。

＜教育委員会の意見＞

(いじめ、不登校の問題について)

中学校を1校に再編するに当たっては、全てのクラスで30人未満学級を実施して教職員の目が生徒一人ひとりに行き届きやすくすること、また、専従のスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを常駐配置して生徒が抱える交友関係などの様々な悩みをいつでも気軽に安心して相談できる体制を整備すること、これらの対策から生徒一人ひとりの心のケアに対応していく考えです。

(通学の問題について)

遠距離通学となる生徒の負担を軽減することは再編に当たっての大きな課題の一つです。スクールバスの台数を十分に確保し、また、コースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時における生徒がバスに乗車している時間を、学校から最も遠い生徒であっても30分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行から通学にかかる時間の短縮などに努めていきます。

また、部活動が終了する時刻に合わせて帰り(下校)のバス時刻を設定し運行する計画です。

意見62

ちょうど自分の子どもが中学にあがる頃に中学が再編予定ということで、思うところは沢山あります。きちんとした教育方針をもとに、中途半端ではなく、中身～外までしっかりとした中学校づくりをして頂きたいです。そして美里の中学として魅力ある学校づくりを徹底してほしいです。気になっていたことがあります。どうして制服やジャージ、指定バックなどがあんなにダサイのでしょうか。田舎という印象が特に強い美里なのに、ますます田舎の学校のように子どもたちがかawaiiそうです。身につけるものや身だしなみからも気持ちはキレイになるので、もう少しオシャレであるものに変えてほしいです。又、部活動なども、人数が増えることを含め、力を入れて行って欲しいです。3つの中学が一つになるということで、県外の公立中学や私立中など魅力ある中学を参考にしていって欲しいです。

お年寄りが多い町なので昔からの考えなどが集中しやすいでしょうが、どんどん新しいことを取り入れ、これからの子どもたちの人格づくり、基盤となる心づくりをしていって欲しいです。中学で学んだことが将来につながる教育、環境を用意してあげられたら嬉しいです。

＜教育委員会の意見＞

しっかりとした教育方針の下に立派な学校づくりを目指していく考えです。制服等についてですが、ご意見にありますように身につけるものや身だしなみからも気持ちはキレイになります。新しい学校の制服等につきましては、中学校の再編が決まりましたなら、保護者や生徒等の意見を聞きながら決めていきたいと思えます。また、県外の公立中学や私立中など魅力ある中学校を視察するなど参考に参ります。

意見63

古川黎明等、少人数、習熟度を大切に考える学校が増える中、統合の仕方が時代に合っていないと思う。

＜教育委員会の意見＞

再編した後の新しい中学校においても、少人数指導や習熟度別学習などの学習方法を取り入れていく考えです。

意見 6 4

学校を新たに建設するために、多額の費用が必要になるのは、わかります。

3校が1つになることで、部活動の部員は増えたとしても放課後の部活動が制限されるのでは意味があるのでしょうか？夏休みに部活動をする場合にはスクールバスは出るのでしょうか？今までできていた事が遠いからという理由でできなくなるのは困ります。具体的な解決策を知りたいです。例えば他の町ではこうしている等。

一番気になるのは、場所です。どこに学校を建てるのか？中学校の生徒数の推移のグラフを見ると今後、不動堂が一番生徒数は多くなるようですし場所的にも町の中心になると思うので、不動堂地区に建設を強く希望します。

それから、親として生徒数が増える事でのイジメの問題は、とても気になります。不登校の問題や支援学級や通級指導などにもきめ細かな指導をお願いしたいです。なによりも子供達が毎日楽しく中学校生活が過ごせるようにしていただきたいです。よろしくお願ひします。

＜教育委員会の考え＞

(スクールバス通学と部活動について)

パンフレットの記述が適切ではありませんでした。部活動の終了時刻に合わせて帰りのスクールバスの発車時刻が設定されますので、部活動の終了時刻は従前と変わりはなく、部活動の活動時間に制限がかかることは少ないと考えます。遠距離通学であることを理由に、スクールバスで通学することを理由に、これまでの部活動が制限されることはありません。また、週末(土・日)や長期休業(夏休み等)の部活動に対しても、ある程度のスクールバスの運行は必要と考えています。

(新しい学校の場所について)

再編後の新しい中学校の場所については今後の検討となります。現在、3中学校の施設の現況調査を行っております。その結果が出ましたら教育委員会として検討し、その後に住民の皆さんに候補地をお示ししてご意見をお聴きしながら決定していく考えです。

(いじめ、不登校の問題について)

中学校を1校に再編するに当たっては全てのクラスで30人未満学級を実施して教職員の目が生徒一人ひとりに行き届きやすくすること、また、専従のスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを常駐配置して生徒が抱える交友関係などの様々な悩みをいつでも気軽に安心して相談できる体制を整備すること、これらの対策から生徒一人ひとりの心のケアに対応していく考えです。

また、ご意見にもありますように、子供達が毎日楽しく中学校生活が過ごせることが第一の条件であり目標です。きめ細かな指導のできる職員体制をつくり対応してまいります。

意見 6 5

校舎の老朽化、子供の人数減少、その他いろいろな事情はとても良く理解できますが、美

里町で中学校 1 校は学区が広すぎ、問題があるかと思われます。運動会や P T A 総会、参観日などのたびに町内中からどれだけの台数の車が集まるのか。

お子さんによっては、小学校、中学校とずっとスクールバスでの登校しか経験がなくなると本来、徒歩や自転車通学でついていたはずの体力がつかずに大人になりはしないか。現在各々の学校で地域の食材を大切に自校給食でやってきたものが統合を重ねて多人数に対応するために、輸入や冷凍食材が増え、質が低下してしまうことはないのか。学校の規模が大きいのも小さいのもメリット・デメリット両方ありますがメリットも最大限いかし、デメリットを極力フォローして子供達が楽しく有意義な学校生活を送れるように力を注いでいただけるようお願いいたします。

<教育委員会の考え>

(駐車場について)

駐車場は十分に広く確保する考えです。

(体力低下について)

バスの乗車場所(バス停)を少なくし、自宅からバス停までの一定距離を徒歩や自転車で通うようにするなどの工夫も必要になってくるかと思えます。また、生徒が希望する場合には、遠距離通学者であっても陽の長い期間や天候の良い日などには自転車で通学することも良いのではないかと思います。

(学校給食について)

中学校が再編されれば学校給食施設の整備も必要になりますが、学校の敷地内に整備することになるものと教育委員会では考えています。学校が再編することで給食の食材が輸出品や冷凍食材が増えたりすることは決してありません。

ご意見にありますように、メリットを最大限に活かし、デメリットを極力フォローして子供達が楽しく有意義な学校生活を送れるように全力を注いでまいります。

意見 6 6

築年数を考えると建て替えすべきだし、少子化もふまえて統合すべきだと思います。不動堂と小牛田中を統合し南郷は通学距離を考えると分けた方が良いと思っていましたが、いずれ 3 校を統合するのであれば生徒数確保の為に、この段階での 3 校を 1 校に統合するという案に賛成です。

でもせっかく不動堂中学校のグラウンドを整備したばかりだし、武道館もまだ新しいのに新たに場所を変えて建替えるのはもったいない気がします。

場所的にも美里町の中心だし駅も近く、駅東地区に子どもが集中していることから現不動堂中学校を建て替えて使用してほしいです。

<教育委員会の考え>

再編後の新しい中学校の場所については今後の検討となります。現在、3 中学校の施設の現況調査を行っております。その結果が出ましたら教育委員会として検討し、その後に住民の皆さんに候補地をお示ししてご意見をお聴きしながら決定していく考えです。

意見 6 7

デメリットの方が多いですが仕方がないのでしょうね。1 クラス 3 0 人未満学級は実現し

て欲しいです。

中学校はどこに建つのですか？先生たちの数もそれなりの用意、出来るのですよね？

＜教育委員会の考え＞

1クラス30人未満学級は必ずや実現したいと考えています。十分な数の先生の確保に努めていきます。

再編後の新しい中学校の場所については今後の検討となります。現在、3中学校の施設の現況調査を行っております。その結果が出ましたら教育委員会として検討し、その後に住民の皆さんに候補地をお示ししてご意見をお聴きしながら決定していく考えです。

意見 68

美里町の小学校、中学校はほとんどが古く老朽化が進んでいて安全面においてもとても不安です。

3校を統合して、新しい校舎にすることを希望します。子供達は与えられた環境で適応できると思います。

＜教育委員会の考え＞

教育委員会も同様の考えです。

意見 69

先日、再編のお話しを聞きに行き、早期に対応すべき事項だと確信しました。

これから成長していく子供たちにとってとても大変な問題だと思います。地域の年配の方々から反対の意見や、遠方の子供たちの登下校の不安などデメリットは確かにあると思いますが、長い目で見ると個々の学校の老朽化や生徒数の減少、部活動にも支障をきたし、このことがもっと大きい問題になると思われるため早く対応してほしいです。

又、建てる場所が決まっていないとの事でしたが、不安なので、早くお知らせしてほしいです。

＜教育委員会の考え＞

学校の老朽化や生徒数の減少という現実の問題に対して、長い目で子どもたちの教育のことを考えれば、早期に対応しなければならないと考えます。

再編後の新しい中学校の場所については今後の検討となります。現在、3中学校の施設の現況調査を行っております。その結果が出ましたら教育委員会として検討し、その後に住民の皆さんに候補地をお示ししてご意見をお聴きしながら決定していく考えです。

意見 70

通学の利便性が理由で引越して来た方も少なからず居ると思います。早急な対応が必要なのも理解できますが上記の方々の事も考えると10年後に統合するなどの事前の告知が必要ではないかと考えます。

＜教育委員会の考え＞

ご意見の通りです。しかし、中学校が抱える生徒数の減少と施設の老朽化の問題に対して早急に取り組みなければならないものと考えています。

意見 7 1

- ・統合の際は1クラス30人未満学級を実現願います。
- ・統合の際は行事等で保護者が学校に集まる時の駐車場の確保も併せて考慮願います。

＜教育委員会の考え＞

- ・1クラス30人未満学級は必ずや実現したいと考えています。
- ・駐車場は十分に広く確保する考えです。

意見 7 2

教育委員会の考えに賛同します。デメリットについては後々具体的に対策をしていただき、子どもたちが良い環境で勉学できる方向に進めばよろしいと思います。

＜教育委員会の考え＞

教育委員会も同様の考えです。

意見 7 3

- ・1学級に2人くらいの教員を配置してほしい。
- ・困った時にいつでも安心して相談する場所を作ってほしい。
- ・スクールバスを利用したい子供がいる時は柔軟に対応してほしい。

＜教育委員会の考え＞

- ・全クラスに2人の教員を配置することはできませんが、1クラスの生徒数を30人未満にする少人数学級を導入する考えです。また、必要に応じて教員補助員等も配置していきます。
- ・専従のスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを常駐配置して生徒が抱える交友関係などの様々な悩みをいつでも気軽に安心して相談できる体制を整備することから生徒一人ひとりの心のケアに対応していく考えです。
- ・スクールバスの乗車定員との関係もありますが、できるだけ柔軟に対応してまいります。

意見 7 4

学校の統合は良い事だと思います。確かにデメリットとして子供を送ったり歩かせたりする時に心配事が増えることでしょうか。でも、子供の体力低下を少しでも少なくするには歩かせる事だと思います。自転車通学―通学路の整備（照明等）

中学生になれば休日は自転車で行動する機会も増えます。普段から自転車に乗りなれていた方が、心配事が減ると思います。

学力の面では、中学校で新しい仲間との出会い、互いの向上心がうまれて切磋琢磨してほしいです。

＜教育委員会の考え＞

バスの乗車場所（バス停）を少なくし、自宅からバス停までの一定距離を徒歩や自転車で通うようにするなどの工夫も必要になってくるかと思います。また、生徒が希望する場合には、遠距離通学者であっても陽の長い期間や天候の良い日などには自転車で通学することも良いのではないかと思います。また、徒歩や自転車で通学する生徒の安全確保も重要であることから、通学路の整備についても計画的に行ってまいります。

また、学力の面も含めて、学校生活全体の中で互いの向上心が生まれ、切磋琢磨していく

ことも必要と考えます。

意見 7 5

学校を再編することにより生徒数が増えることや財政上のメリットがあると思いますが学校が遠くなることでやはり通学の面で少し心配になります。

<教育委員会の考え>

遠距離通学となる生徒の負担を軽減することは再編に当たっての大きな課題の一つです。スクールバスの台数を十分に確保し、また、コースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時における生徒がバスに乗車している時間を、学校から最も遠い生徒であっても30分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行から通学にかかる時間の短縮などに努めていきます。また、徒歩や自転車で通学する生徒の安全確保も重要であることから、通学路の整備についても計画的に行ってまいります。

意見 7 6

小牛田、不動堂、南郷とこれだけ広い地域の中学校を1つにするケースはあまりない。

新設する中学校の場所についても必ず問題が発生すると思われる。中学校同士の統合ではなく、小牛田中と小牛田小、南郷中と南郷小、と小中学校を合併し、地域での教育（近辺での協力関係の維持）を重視した学校運営とすることを強く希望します。なお、不動堂については駅東地区の開発により当面200人程度の生徒が維持できることからこのままとする。

駅東地区に移り住んだ子育て世代は学校の位置が近いことから選んでいるので、個人的には今の中学校の位置は変えて欲しくない。

<教育委員会の考え>

（小中一貫校について）

「小中学校を合併し」とありますので、小中一貫校の事かと思われます。しかし、現在の中学校区単位に小中一貫校を整備したとしてもそれによって中学校の生徒数が増えるわけではなく、部活動等に生じている部員数の不足の問題等の解決には繋がりません。小牛田地域と南郷地域にそれぞれ小中一貫校を1校ずつ整備する場合についても、中学校の生徒数の減少の問題は残ります。やはり、児童生徒数の減少に起因する諸問題を解決するには小学校と中学校を一つにする「縦の再編」ではなく、複数の中学校を一つにする「横の再編」の方が望ましいと考えます。

また、小中一貫校は、平成25年の長野県松本市での取組をはじめとして各地の学校でも取り組まれておりますが、制度内容は未だ整備途上にあるものと教育委員会では受け止めております。また、小中一貫校は、小学校の児童数と中学校の生徒数がともに減少していくことへの対策として行うものではなく、小学校における教育環境と中学校における教育環境がそれぞれしっかりと構築された後に、小学校と中学校の連携を更に一層進めることによって双方の相乗効果を図るために検討されるべきものであると考えております。そのためには、小学校教育と中学校教育においてそれぞれの教育環境がしっかりと整備される必要があります。その上で、町内に小中一貫校が望ましいかどうかを検討するべきであり、現在進めている中学校の再編整備の後に小学校の再編を行う必要が生じた時に、併設型小中

一貫校と連携型小中一貫校の両方から導入の検討を行うことの方が望ましいのではないかと考えております。その頃には小中一貫校の制度内容も整備され充実されているものと思われま

(小学校の再編について)

小学校の再編については、各学校における施設の状況や保護者をはじめ住民の方々の考えもさまざまであり、また地域コミュニティとのつながりも大きいので、地域住民の方々の意見をお聴きしながら慎重に進めていかなければならないと考えております。教育委員会といたしましては、現時点で具体的な計画はありませんが、よりよい教育環境の整備に向けて、できるだけ早い時期に再編の方向性をお示しいたしたいと考えております。いずれにしても、小学校の再編はすぐにできるものではないと思われることから、現在の中学校区単位で小中一貫校をつくることは難しいものと考えております。

意見 77

生徒数の減少や校舎の問題などを考えると中学校の再編は必要だと思えます。ただ、それぞれの学校の伝統があるので、そこをうまく引き継ぐことができるようお願いします。

<教育委員会の考え>

3中学校にはそれぞれの伝統があります。それらを何らかの形で引き継ぎ、残していくことができるよう検討してまいります。

意見 78

学校の場所。自宅から近いから安心して学校に通わせておりますが場所がどこになるかによっては困ります。

<教育委員会の考え>

再編後の新しい中学校の場所については今後の検討となります。現在、3中学校の施設の現況調査を行っております。その結果が出ましたら教育委員会として検討し、その後に住民の皆さんに候補地をお示ししてご意見をお聴きしながら決定していく考えです。

意見 79

少子化により人数が減って学校も再編した方がいいと思えます。通学の方法も考え直した方がいいと思えます。(スクールバスなど)

<教育委員会の考え>

教育委員会も同様の考えです。遠距離通学の生徒はスクールバスによる通学となります。スクールバスの運行については、スクールバスの台数を十分に確保し、また、コースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時における生徒がバスに乗車している時間を、学校から最も遠い生徒であっても30分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行から通学にかかる時間の短縮などに努めていきます。

意見 80

・3校の統合により、1クラス30人学級未満が実現するなら、きめ細かい対応ができるのでいいと思えます。

- ・統合することにより、地域の力は乏しくなると思います。
- ・今、さまざまな勤務先で仕事をしている親が多いなか、土日や祝日の部活でバスは利用できるのか。
- ・子供の抱える問題が多くなってきているので、不登校やいじめ問題は人数が増えれば目が行き届かない可能性が高くなる。スクールカウンセラーの配置など、またモンスターペアレントの親なども増えるのでその対応をあらかじめ決めておくことなど……。

＜教育委員会の考え＞

（30人未満学級について）

30人未満学級の実施によって生徒一人ひとりに目の行き届く教育を行っていく考えです。

（地域の教育力について）

再編しても地域の教育力は大切です。中学校が再編されて新しい学校ができた場合でも、住民（町民）が何らかの形で学校運営に携わることができるように工夫していかなければならないと考えております。

（土・日の部活動について）

土、日曜日の部活動についてもバスの運行を考えなければなりません。学校全体において土、日曜日のいずれかを部活動のない日（休養日）に統一して、部活動のある日には相応の運行ダイヤでバスを運行しなければならないと考えております。

（いじめ、不登校の問題について）

中学校を1校に再編するに当たっては全てのクラスで30人未満学級を実施して教職員の目が生徒一人ひとりに行き届きやすくすること、また、専従のスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを常駐配置して生徒が抱える交友関係などの様々な悩みをいつでも気軽に安心して相談できる体制を整備すること、これらの対策から生徒一人ひとりの心のケアに対応していく考えです。

意見81

早急に1校に再編することを希望します。

現在、実際に子育てをしている保護者は多くの方がこの意見ではないかと思えます。子どもの数が少なくなることで、今まであった部活動の種類が減少しており、中学生にとって授業以外にとっても貴重な経験のできる部活動に制限があるのは残念なことと思えます。遠距離通学の問題や地区に子どもがいなくなると心配する方の多くは、既に子育てを終えた方々の心配ではないでしょうか。それは他の手段でどうにでもカバーできることと思えます。何か新しいことをはじめる際には必ず反対意見もありますが、まずは現役世代の意見を取り入れて早急に進むべきと考えます。学校の数を減らすことによって給食センター化の問題も解決するのではと個人的には思います。（学校の数が減れば自校方式でも問題ないのでは）

＜教育委員会の考え＞

教育委員会も同様の考えです。できるだけ早い時期に中学校を1校に再編していかなければならないと考えています。

意見 8 2

学校再編にあたって、メリットは部活動の向上しか見いださない。人数が増えれば、いじめ問題、勉強の問題に先生方、教育委員会が対応できるか心配。不動堂中学校の校庭もかなりの額をついやしてなおしたのだからもったいない。

小学校は早い段階で不動堂と青生を統合してほしい。5校統合は反対

<教育委員会の考え>

中学校を1校に再編するに当たっては全てのクラスで30人未満学級を実施して教職員の目が生徒一人ひとりに行き届きやすくすること、また、専従のスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを常駐配置して生徒が抱える交友関係などの様々な悩みをいつでも気軽に安心して相談できる体制を整備すること、これらの対策から生徒一人ひとりの心のケアに対応していく考えです。

小学校の再編については、各学校における施設の状況や保護者をはじめ住民の方々の考えもさまざまであり、また地域コミュニティとのつながりも大きいので、地域住民の方々の意見をお聴きしながら慎重に進めていかなければならないと考えております。教育委員会といたしましては、現時点で具体的な計画はありませんが、よりよい教育環境の整備に向けて、できるだけ早い時期に再編の方向性をお示しいたしたいと考えております。

意見 8 3

中学校再編については賛成です。しかし、遠距離通学の生徒が多く発生する事については心配です。また、その事によって、部活動に制限が出てくるのはいかがなものかと思えます。現在の生活ができるだけ維持できるよう、スクールバスの時間帯に幅を持たせるような対応をして頂けると良いのではないかと思います。

<教育委員会の考え>

(遠距離通学について)

遠距離通学となる生徒の負担を軽減することは再編に当たっての大きな課題の一つです。スクールバスの台数を十分に確保し、また、コースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時における生徒がバスに乗車している時間を、学校から最も遠い生徒であっても30分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行から通学にかかる時間の短縮などに努めていきます。

(部活動への制限について)

部活動が終了する時刻に合わせて帰り(下校)のバス時刻を設定しますので、部活動の活動時間は従前に変わりなく特に制限されることはありません。そのためには、全ての部活動の終了時刻を統一する必要があります。「与えられた時間の中で効率的、効果的な練習を集中して行うこと」を生徒に教えていかなければなりません。「時間のけじめ」や「時間の大切さ」を生徒に教えていくことも大切な教育の一つです。

また、土、日曜日の部活動についてもバスの運行を考えなければなりません。学校全体において土、日曜日のいずれかを部活動のない日(休養日)に統一して、部活動のある日には相応の運行ダイヤでバスを運行しなければならないと考えております。

しかし、早朝練習に対してはバスを運行する考えはありません。早朝練習が生徒の授業に影響を及ぼさないか、早朝練習のあり方については検討しなければならないと考えている

からです。

意見 84

生徒・児童数の減少などの理由により、統廃合は当然だと思います。しかし、親として一番心配なことは各地区のカラーにより子どもの学習や生活面に温度差があることです。どこの地区とは言いませんが、授業が成り立たない学校、学年があると聞いています。また、スクールバスの運転手さんの態度がいかななものか・・・ということも耳に入ってきます。こういった各地区、学校の問題が今解決できていないまま統廃合されたらどうなってしまうのでしょうか？

学校の新設や建て替えは、いつかしなければならないことですが、もっと子ども達の心の問題に目を向けて欲しいと思います。はっきり言って、美里町はフルタイムで働く親、核家族で生活をしている家庭にとって子育てしにくい町です。

<教育委員会の考え>

再編を行うに当たっては、保護者の皆様には様々なご心配があろうかと思えます。学習や生活面において温度差があるでしょう。3中学校にはそれぞれのカラーがあります。その異なるカラーの下に新しい学校をつくっていかねばなりません。生徒はお互いに相手の個性や能力を認め合いながら交友関係をつくり、新しい学校をつくっていくこととなります。そうした経験も生徒が大人になっていくための大切な過程の一つだと考えます。再編後の新しい学校づくりに対して、教育委員会としては万全を期していく考えです。

また、中学校を1校に再編するに当たっては全てのクラスで30人未満学級を実施して教職員の目が生徒一人ひとりに行き届きやすくすること、また、専従のスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを常駐配置して生徒が抱える交友関係などの様々な悩みをいつでも気軽に安心して相談できる体制を整備すること、これらの対策から生徒一人ひとりの心のケアに対応していく考えです。

意見 85

小牛田中と不動堂中の2校を1つにまとめてみてはいかがでしょうか。新しく土地を購入するのではなく、まずは、

- ① 1校にまとめ、正式に使う方の校舎は取りこわし、建て替える。
- ② 新しい校舎ができるまでの間、もうひとつの校舎を使う。

昔、不動堂中が火事になった時は新しい校舎が出来るまでの間、小学校に間借りしていたと聞いています。また、敷地面積が狭いと思う人もいるかもしれませんが、私のいた世田谷の中学校の敷地面積は9,953㎡ですが、1～3年生まで各5クラスあり、他にも音楽室、図書室など専門の教室もありました。新しい土地は不要と思います。

<教育委員会の考え>

現在、3中学校の施設の現況調査を行っております。その結果が出ましたら教育委員会として新しい学校の場所を含めた整備手法について検討し、その後に住民の皆さんにお示ししてご意見をお聴きしながら決定していく考えです。

ご提案頂きました内容については、今後検討していく中で参考にさせていただきます。

意見 86

中学校統合の必要性は感じるものの、確かにそこに生じるメリット・デメリットはあるわけで、今後も慎重に考慮を重ねた上で進めていってほしい。

統合後、生徒が増え、学習面でも一層切磋琢磨できる環境を構築してほしい。学力レベルに応じてクラス分け等……。

<教育委員会の考え>

再編後の中学校において少人数学級（30人未満学級）を導入し、学習面においてもきめ細かな指導が行いやすい体制をつくってまいります。一つの学級の中で国語・数学・英語などの教科の習熟度別にグループ分けをして、複数の先生がグループ別に指導することにより、学習内容の習得が遅れている生徒に対して継続的に支援していく体制を整えていく考えであります。

なお、学力レベルに応じたクラス分け（クラス編成）を導入する考えはございませんが、生徒一人ひとりが目標を持って互いに切磋琢磨して、勉学に励み合う学校づくりを目指していかなければならないと考えております。

意見 87

統合に関しては賛成です。が、広範囲の統合なのでやはり交友関係の問題が心配されます。生徒指導に関しては、本当に重点を置いて指導していただきたいと思っています。（特に心配しています。）

また、学習面においても、進学先として仙台圏も意識していただけるようなご指導をお願いしたいです。（行事等の精選も含めて）（学校生活環境がきちんと整っていたならば大いに賛成です。）

<教育委員会の考え>

中学校を1校に再編するに当たっては全てのクラスで30人未満学級を実施して教職員の目が生徒一人ひとりに行き届きやすくすること、また、専従のスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを常駐配置して生徒が抱える交友関係などの様々な悩みをいつでも気軽に安心して相談できる体制を整備すること、これらの対策から生徒一人ひとりの心のケアに対応していく考えです。

また、学習面においても、目標を高く持って高校受験にチャレンジをし、高い目標に向かって一生懸命努力することこそが中学校教育における学習指導のあり方だと考えます。

意見 88

・通学距離が遠くなれば、何かの時に働いている父母がすぐに帰る事が出来ない時など非常に困る。すぐに迎えに行く事が難しい時などはどうするのか？自転車で通学できる距離にしてほしい。今でさえ中学校の部活での夜練などがあり、働いている親の送迎さえ大変なのに、学校が遠くなり本当に大変！

・小学校の再編も良いが、中卒と北浦など近くの小学校との再編にして頂かないと4、5、6年生は児童クラブにも入る事が出来ない為、両親共働きなどの所は冬など日が短くなるにつれ、子供が1人で家にいる時間があるし、バスに乗り遅れた時など、遠いと1人で帰宅する事も難しいと思う。共働きの家庭の事も考えてほしい。

ましてや不審者も多く出ているのに・・・。

メリット、メリットと言うけど、共働きの家庭からするとデメリットしかない。

イジメも絶対に増える！！もっともっとデメリットはあります。

<教育委員会の考え>

(緊急時の対応について)

「何かの時に」という場合とは、けがや病気等の緊急時のことかと思えます。状況にもよりますが、その場合には学校側で教職員が対応することとなります。勤務されている御両親にはできるだけ勤務に支障が出ないように配慮いたします。

(小学校の再編について)

小学校の再編については、各学校における施設の状況や保護者をはじめ住民の方々の考えもさまざまであり、また地域コミュニティとのつながりも大きいので、地域住民の方々の意見をお聴きしながら慎重に進めていかなければならないと考えております。教育委員会といたしましては、現時点で具体的な計画はありませんが、よりよい教育環境の整備に向けて、できるだけ早い時期に再編の方向性をお示しいたしたいと考えております。

(いじめの問題について)

中学校を1校に再編するに当たっては全てのクラスで30人未満学級を実施して教職員の目が生徒一人ひとりに行き届きやすくすること、また、専従のスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを常駐配置して生徒が抱える交友関係などの様々な悩みをいつでも気軽に安心して相談できる体制を整備すること、これらの対策から生徒一人ひとりの心のケアに対応していく考えです。

意見89

そろそろ中学校も古くなり建てかえが必要になり、生徒数も減少して3校統合というのは必要となってきます。

ただ、南郷も・・・となると、どこに建てるのか？どうやって通うのかが重要になってくると思います。もし、中学校に入り、部活動が始まると学校の下校時刻は部によってもちがうと思うのでスクールバスを利用しても難しいと思います。今は、各自、自分で自転車で帰ってくると思うので・・・。あまり遠いと通うのに不便なのでそこをどうするのか？だと思えます。

<教育委員会の考え>

(新しい中学校の場所について)

再編後の新しい中学校の場所については今後の検討となります。現在、3中学校の施設の現況調査を行っております。その結果が出ましたら教育委員会として検討し、その後に住民の皆さんに候補地をお示ししてご意見をお聴きしながら決定していく考えです。

(再編後の通学手段について)

遠距離通学の生徒はスクールバスで通学することになります。部活動が終了する時刻に合わせて帰り(下校)のバス時刻を設定することから、全ての部活動の終了時刻を統一する必要があります。「与えられた時間の中で効率的、効果的な練習を集中して行うこと」を生徒に教えていかなければなりません。「時間のけじめ」や「時間の大切さ」を生徒に教えていくことも大切な教育の一つと考えます。

また、スクールバスの台数を十分に確保し、また、コースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時における生徒がバスに乗車している時間を、学校から最も遠い生徒であっても30分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行から通学にかかる時間の短縮などに努めていきます。

意見90

・学校を建設にする為には数十億円の費用が必要とありますが、概算としてはどの位の費用がかかるのか明確になっていますか。どの様な学校をイメージしての数十億円になるのか。近年中に2つの学校を建て替えるとどの程度の費用がかかるのか全てにおいて明確な金額提示をした上で再編の話をして欲しい。

・学校再編で新校舎を建てる際には、現場の先生達の意見を尊重した構造にして欲しい。(デザイン重視ではなくて、機能性を重視して欲しい。)

・3校を1校とした際の学級内の構成はどう考えていますか。(小牛田、不動堂、南郷の生徒比率、男女比はどう考えているのか)

・教育委員会として今回のメリット、デメリットについて記載されていますが、メリットとして費用を低く抑える事が出来るとあるが、その財源でどの様な教育活動を考えているのか。

・スクールバスの導入は部活動等の時間制限も出来る事から良いと思う。

・1クラスの生徒が30人未満の少人数学級で、30人未満とそれ以上で何故きめ細かな指導となる閾値となるのか。30人未満であればそれが必ず出来るのですか。

全てにおいて、今後のビジョン、費用についての説明が不足していると感じています。

<教育委員会の考え>

・建設費を明確に積算していません。概算の概算にすぎませんが近隣市町が建設した事例から、校舎、体育館、校庭、屋外プール、給食棟を含めて1校当たり35億円程度と考えています。

・新校舎を建てるに当たっては、現場の教職員の意見も聴きながら構造等を決めていかなければならないと考えています。

・3中学校を再編した場合の学級内の生徒の構成比率ですが、再編直後においては、3中学校が男女とも均等な比率になるよう配慮していく必要があると考えます。

・「その財源でどの様な教育活動を考えているのか？」とのご質問ですが、少人数学級(30人未満学級)の導入、習熟度別学習の導入、英語教育の充実などを現在検討しているところです。今後においても皆さんからのご提案をいただきながら検討してまいります。

・決められた時間の中で練習するのが部活動です。「与えられた時間の中で効率的・効果的な練習を集中して行うこと」を生徒に教えていくべきだと考えます。それは自転車通学の現在においても同様です。スクールバスを利用することになれば、そうした「時間」に対する意識も高くなっていくのではないのでしょうか。それもこれから大人になっていく中学生のための教育の一つと考えます。

・「30人未満」の数値の根拠は特にありません。欧米では10~15人を指して少人数学級と呼んでいるようです。本町でも欧米並みの人数まで抑えていきたいのですが、町の財政的負担が大きくなることが想定されることから、30人未満の少人数学級の実現をめざす

こととしました。この30未満学級によってきめ細かな教育ができる保証はありません。しかし、国の標準規模である「40人学級に比べればきめ細かな教育が行いやすくなる」と考えています。

意見91

“生徒数減少が続く”という後ろ向きな考えで建てる学校というのは魅力がありません。ゆとり～との分譲地もありますし、今後の企業誘致等があった場合、ただ新しいだけの校舎だけの校舎とならない様にしてほしい。小牛田、不動堂、南郷中学を統合するメリットについて具体性が欠けていると思います。いまのところ「財政面で譲歩してください」との先行き不安なイメージです。今一度教育に重きをおいた再編計画を希望致します。

<教育委員会の考え>

教育委員会では、長い将来を見据える中で町の将来の子どもたちのために中学校教育がどうあるべきかを第一に考えて、再編に取り組んでいます。決して、財政事情から再編を進めるものでもなく、また、後ろ向きの考えで再編に取り組んでいるものではありませんのでご理解願います。

意見92

町の財政的には統合が望ましいでしょうが、子供達の事を考えれば通学時の不便、部活動などと、体力、精神力、将来基本になる力をつけるのに大切な時期なので反対です。

その時代に自転車に通学しなければ高校通学時にも自転車には乗れなくなるでしょう。自分の足でふんばって行ってもらいたいです。

休日の部活動にも影響があるでしょう。

ゆとり世代の子供達ですのでがんばって欲しいです。

町の財政の為に、人を呼ぶように、会社などができれば人も税収も増えるし、子供も増えるのではないのでしょうか。人が増えない事には減る一方かと思います。

<教育委員会の考え>

(通学の問題について)

中学校が再編されることによって通学距離が遠くなり不便になる生徒も発生してくると思います。スクールバスによる対応になりますが、スクールバスの台数を十分に確保し、また、コースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時における生徒がバスに乗車している時間を、学校から最も遠い生徒であっても30分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行から通学にかかる時間の短縮などに努めていきます。

(体力の低下について)

バス通学となることで生徒の体力等の低下を心配されているものと思われます。

バスの乗車場所(バス停)を少なくし、自宅からバス停までの一定距離を徒歩や自転車で通うようにするなどの工夫も必要になってくるかと思います。また、生徒が希望する場合には、遠距離通学者であっても陽の長い期間や天候の良い日などには自転車で通学することも良いのではないかと思われます。

(休日の部活動について)

土、日曜日の部活動についてもバスの運行を考えなければなりません。学校全体において土、日曜日のいずれかを部活動のない日（休養日）に統一して、部活動のある日には相応の運行ダイヤでバスを運行しなければならないと考えております。

意見 9 3

確かに、統合する状況である事は分かります。しかし、通学問題で子供に負担がかかる事が心配です。しかも保護者がどんなに反対してもきっと統合は決まっている事だと思いますので、とにかく統合して良かったと言う結果になるようお願いしたいです。

<教育委員会の考え>

遠距離通学となる生徒の負担を軽減することは再編に当たっての大きな課題の一つです。スクールバスの台数を十分に確保し、また、コースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時における生徒がバスに乗車している時間を、学校から最も遠い生徒であっても30分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行から通学にかかる時間の短縮などに努めていきます。

意見 9 4

通学が不便にならなければ統合してもいいと思います。

<教育委員会の考え>

遠距離通学となる生徒の負担を軽減することは再編に当たっての大きな課題の一つです。スクールバスの台数を十分に確保し、また、コースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時における生徒がバスに乗車している時間を、学校から最も遠い生徒であっても30分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行から通学にかかる時間の短縮などに努めていきます。

意見 9 5

学校再編について思う事は、各地域により子供達の特性や特質があるので、小学校の間は各地域の学校の通学にし、ある程度自主性が身に付く中学生になったら統合でも良いのかと思います。中学生になったからといって何も問題が起こらないとは限りませんが、社会生活の一環として学ぶ事も多いと思うので中学校は統合でも良いのかなと思います。地域性や特質があるので複雑ですが、いろいろな考えの人が居て、色んな人がいるという事も学べると思うので多様な人とかかわる事も大切なのではないかと思います。

<教育委員会の考え>

教育委員会も同様の考えです。

意見 9 6

生徒数の減少による集団活動への影響（部活動の少なさ、多くの刺激を受け合いながら共に成長していくことの難しさ）は将来の社会生活を考えた上においても大きな問題だと感じております。（実際、我が子を入学させるに当たり、大崎市への通学も考慮しているところです。）

また、施設の老朽化についても中学校生徒の学校生活をみていると厳しい状況だと感じ

ていました。このような点から3校を1つに再編(統合)することには基本的には賛成ですが、提案されているデメリットへの対策が確実に実行されること及び統合による「荒れ」が心配なため。(統合すると1～2年おちつかないようですので)補助の教員を2年くらい増員する等、子どもたちの不安等に対応してもらえる体制を作ってほしいと願い要望いたします。

(先生方も少ない人数でやることが多いと子どもに目が向かなかつたり手が回らなかつたりするので、先生方にも余裕もてる体制整備が必要と思います。生徒指導や教育相談担当をクラス担任にしない等?)

＜教育委員会の考え＞

ご意見のとおりです。教員補助員の配置も含めて、再編後の数年間は特に手厚い職員体制を整えていく必要があると考えています。

また、中学校を1校に再編するに当たっては全てのクラスで30人未満学級を実施して教職員の目が生徒一人ひとりに行き届きやすくすること、また、専従のスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを常駐配置して生徒が抱える交友関係などの様々な悩みをいつでも気軽に安心して相談できる体制を整備すること、これらの対策から生徒一人ひとりの心のケアに対応していく考えです。

意見97

校舎がどれ程古いのかは分かりませんが、大きい地震も増えているので新しく校舎を新築しなければならぬほど老朽化しているのであればできるだけ早くした方がいいのではないのでしょうか。

町内のどこに新しい校舎ができるかは分かりませんが、通学方法など安全面には配慮して頂きたいと思います。統合するのであれば、実際中学校に通っている生徒やその保護者の意見を最大限に取り入れてやってほしいと思います。実際にかかわっている人でなければ分からないことも多々あると思うので……。

＜教育委員会の考え＞

現在、3中学校の施設の現況調査を行っております。その結果が出ましたら教育委員会として新しい学校の場所を含めた整備手法について検討し、その後に住民の皆さんにお示ししてご意見をお聴きしながら決定していく考えです。仮に、新しく校舎を新築することとなった場合には、早急に進めていく考えであります。

その場合、通学方法など生徒の安全面には、教育委員会として万全を期していく考えであります。また、ご意見にもありますように、実際に中学校に通っている生徒やその保護者の意見を十分にお聴きしながら進めていきます。

意見98

3校の統合については賛成ですが、通学の手段であるスクールバスの運行時間をしっかり考慮して、子供達が部活動をできるようにしてあげてほしいです。

＜教育委員会の考え＞

遠距離通学となる生徒の負担を軽減することは再編に当たっての大きな課題の一つです。スクールバスの台数を十分に確保し、また、コースや便数の設定についても生徒の利便性と

負担軽減を優先してまいります。登下校時における生徒がバスに乘車している時間を、学校から最も遠い生徒であっても30分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行から通学にかかる時間の短縮などに努めていきます。

また、部活動の終了時刻に合わせて帰りのスクールバスの発車時刻が設定されますので、部活動の終了時刻は従前と変わりはなく、部活動の活動時間はこれまで通り確保されるものと考えます。

意見99

教育委員会が言いたい事は分かるのですが、デメリットが大きすぎてそれを改善するのは難しいのではないかと思います。

どこに学校を建てようとしているのか分かりませんが、一番南郷の子供達が遠くなる気がします。

それに中学校になってからもバス通学だと子供の体力が低下しそうな気がします。思春期に入る頃の中学校で他の小学校の子供達と仲良くできる子とできない子がいると思うし、やはりイジメが増えそうなイメージがあります。そのへんをどう改善するのが問題。

<教育委員会の考え>

(新しい中学校の場所について)

再編後の新しい中学校の場所については今後の検討となります。現在、3中学校の施設の現況調査を行っております。その結果が出ましたら教育委員会として検討し、その後住民の皆さんに候補地をお示ししてご意見をお聴きしながら決定していく考えです。

(遠距離通学について)

遠距離通学となる生徒の負担を軽減することは再編に当たっての大きな課題の一つです。スクールバスの台数を十分に確保し、また、コースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時における生徒がバスに乘車している時間を、学校から最も遠い生徒であっても30分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行から通学にかかる時間の短縮などに努めていきます。

(体力の低下について)

バス通学となることで生徒の体力等の低下を心配されているものと思われます。バスの乗車場所(バス停)を少なくし、自宅からバス停までの一定距離を徒歩や自転車で通うようにするなどの工夫も必要になってくるかと思えます。また、生徒が希望する場合には、遠距離通学者であっても陽の長い期間や天候の良い日などには自転車で通学することも良いのではないかと思います。

(いじめの問題について)

中学校を1校に再編するに当たっては全てのクラスで30人未満学級を実施して教職員の目が生徒一人ひとりに行き届きやすくすること、また、専従のスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを常駐配置して生徒が抱える交友関係などの様々な悩みをいつでも気軽に安心して相談できる体制を整備すること、これらの対策から生徒一人ひとりの心のケアに対応していく考えです。

意見 100

・以前、弱電メーカーに勤めていました。財源（合理性）を追求すると、分工場／子会社の廃止／統合が当然のようにありました。こちらを重くみると「統合」が正解になるのは当然です。学校も同じです。

・デメリットも学校と同じと言うか、似ています。例えば、通勤時間10分だったA工場の人、通勤時間60分のB工場に配置替えになったとします。これは無駄な時間です。東京ではあたりまえでも、こんな田舎で、その為1時間40分が何もできずにただ時間的拘束が増えました。生徒の場合も同じではないでしょうか。

・美里町は他の市町村とちがって「統合」に決定的な不利な点があります。南米のチリのようにひよろ長くのびた町の形をしています。これは「スクールバス利用の生徒の率が高くなる事」「スクールバス乗車時間が長くなる事」を意味します。乗車中に勉強はできますが運動等はできませんね。

・部活動についてパンフレット4項目に「メリット」「デメリット」の両方記載があるように大きな「矛盾」を含んでいます。統合して人数は増えたが、バス通学に制限されて参加人数（率）が少なく、あるいは練習時間が少なく「美里の部活は弱い！」という状況になりそうです。

・建物や設備のハード面（財政）を改善するのは、むしろ、その地域の小学校と中学校を1つのハードにまとめたほうが効果的に思えます。給食、体育館、グラウンド等、共同でも効果があるのではないかと校舎は別棟がいいです。

<教育委員会の考え>

・ご意見のとおり財源（合理性）を追求した場合には、「統合」が正解になると思います。

・拘束時間の量的比較から見た場合はそう考えられます。

・形は「ひよろ長くのびた町」ですが、平坦で山や谷で分断されていないことから、スクールバス移動による時間的距離は比較的短いと考えています。また、住居の連単状況から見てもスクールバスによる移動に適していると考えています。

・部活動が終了する時刻に合わせて帰り（下校）のバス時刻を設定しますので、部活動の活動時間は従前に変わりなく特に制限されることはありません。スクールバス通学によって従前の部活動に比べて活動時間が短縮される、また、生徒が部活動に参加しにくくなるなどそのようなことはないものと考えています。パンフレットの記述が適切ではありませんでした。

・現在の中学校区単位で小・中学校を一つのハード（施設）にまとめて整備する考え方だと思います。その場合には、町内の3つの中学校区単位においてそれぞれ施設を整備しなければなりません。しかし、町内3か所でそのような施設整備を行ったとしても、今後の児童生徒数の推移を考えれば、近い将来に3か所を2か所に、又は1か所に「統合」しなければならない時期が早々にやって来ます。そうではなく、教育委員会としては、40～50年先の遠い将来を見据えて、小学校も中学校も町内1か所に集約せざるを得ない状況がいずれ到来する事を見込んだ中学校の施設整備を考えていかなければならないと考えています。

意見 101

今の学校の設備はトイレの使用もためらうくらいなので、子供達にはキレイで整った環

境で勉強してほしい。早くに望んでいますが、心配なのは場所です。部活もあると思うので、トレセンの近くや素山球場付近なのかなと思っています。

兄弟姉妹の登園、登校と一緒に送迎できると助かるのでなるべくあちこちに造らず、他の小・幼・保と近くなるような場所をえらんで早期に実現してほしいです。よろしく願いします。

＜教育委員会の考え＞

再編後の新しい中学校の場所については今後の検討となります。現在、3中学校の施設の現況調査を行っております。その結果が出ましたら教育委員会として検討し、その後に住民の皆さんに候補地をお示ししてご意見をお聴きしながら決定していく考えです。

意見 102

できるだけ早く統合してほしい。

＜教育委員会の考え＞

教育委員会でもできるだけ早い時期に中学校を1校に再編していかねばならないと考えています。

意見 103

・少子化が進んでいることを見越して1校に再編することは賛成です。

生徒数が増えることにより、学習面、部活動など、お互いに刺激し合い、人との関わりにプラスとなる面が多いと思います。また、行事においても活気あるものになるのでは、と思います。

・校舎の老朽化も心配です。大きな災害時に、避難場所としての役割も行えるよう、耐震性のある新校舎に期待します。

・通学距離が長くなることが懸念されますが、周辺地域では町内1校にしているところがあるので、その地域の方法を参考にしながら、美里町のやり方を考えていけるとよいのでは、と思います。放課後のスクールバスの時間帯や本数を増やしてもらい、部活動に取り組む生徒を支えてもらいたいと、思います。(バス運転手の勤務時間優先ではなく、子ども達優先のスクールバスになることを希望します。)

＜教育委員会の考え＞

・教育委員会でも同様な考えです。再編後の中学生にとってプラスとなるような学校再編を進めていきます。

・災害時における住民の避難所を兼ね備えた校舎建設を考えています。

・遠距離通学となる生徒の負担を軽減することは再編に当たっての大きな課題の一つです。スクールバスの台数を十分に確保し、また、コースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時における生徒がバスに乗車している時間を、学校から最も遠い生徒であっても30分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行から通学にかかる時間の短縮などに努めていきます。このことによってバスの運行便数を増やすことも可能になるのではないかと考えております。

なお、スクールバスは、運転手の勤務時間を優先して運行されるものではなく、あくまでも部活動を含む生徒の教育活動を第一に考えて運行してまいりますので御理解願います。

意見 104

資料にメリットとして、「統合する事によって交友関係が広がる」とあるが、これはメリットではなくデメリットだと思う。人数が増えれば増えるほど交友関係は非常に難しくなるはず。大人の社会同様、子ども達の社会も今は、とても良い関係を作りづらい環境にあり、なじめない子は増加する一方だ。

「学校管理に係る費用を抑えることができる」というのは、ただ町の予算の問題であり、そのために統合すると考えているなら、間違いだ。新しい校舎を建てるのには、何十億円とかかり、今後生徒数が減ることが分かっているならば、無理に造る必要ないし、ムダだと思う。

「安全面(スクールバス)について」これこそ一番に考えるべき事で、この問題を解決し、絶対の自信をもって、生徒たちを守るプランを町教委は保護者に提示すべきだと思う。それを語らず、統合の話は進まないはず。

統合された事によるメリットは、何も思いつかない。部活動も今までよりも活動時間は減って、そのかわりに、土日に練習を増やされては子どもの負担は計り知えない。土日は、部活動を制限し、休ませる事も必要だ。

<教育委員会の考え>

(人数が増えた場合の交友関係について)

人数が増えれば増えるほど交友関係は難しくなってくる面もあるかと思われます。中学校を1校に再編するに当たっては全てのクラスで30人未満学級を実施して教職員の目が生徒一人ひとりに行き届きやすくすること、また、専従のスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを常駐配置して生徒が抱える交友関係などの様々な悩みをいつでも気軽に安心して相談できる体制を整備すること、これらの対策から生徒一人ひとりの心のケアに対応していく考えです。

(学校の整備手法について)

町の予算の問題だけで中学校の再編が必要だとは考えてはいません。学校を新しく建てるか、現在の校舎を活用するかについては、未だ決定したものではありません。現在、3中学校の施設の現況調査を行っております。その結果が出ましたらどのような手法で整備していくのか、学校を新しく建てるのか、現在の校舎を活用するのかについて教育委員会として検討してまいります。

(スクールバスについて)

遠距離通学となる生徒の負担を軽減することは再編に当たっての大きな課題の一つです。スクールバスの台数を十分に確保し、また、コースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時における生徒がバスに乗車している時間を、学校から最も遠い生徒であっても30分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行から通学にかかる時間の短縮などに努めていきます。

なお、具体的なプランは再編後の新しい学校の位置が決まった後に検討し提示していく考えです。

(部活動の活動時間について)

部活動が終了する時刻に合わせて帰り(下校)のバス時刻を設定しますので、部活動の活

動時間は従前が変わりなく特に制限されることはありません。そのためには、全ての部活動の終了時刻を統一する必要があります。「与えられた時間の中で効率的、効果的な練習を集中して行うこと」を生徒に教えていかなければなりません。「時間のけじめ」や「時間の大切さ」を生徒に教えていくことも大切な教育の一つです。

意見 105

少子化の中で統合は時代の流れなのかなと思います。中学校を全部1つにというのであれば、しかも新しく建てるという計画ならば、例えば旧小牛田と旧南郷の間あたりに建てるのかした方がよいと思います。今から50年ぐらい使うものなのだから、広く、利便性のよいところに建てた方がよいと思います。(もったいないからと住宅地に無理矢理建てて、駐車場も少ないところでは何十年も不便な思いをしなくてはならないので)部活でおそくなるのでスクールバスはありがたく、しかも安い。コスト削減も大事ですが、一番大事なのは子供達がかよいやすく、安全で学びやすい環境を作るという事だと思うので、そこを一番に考えてあげてください。よろしくお願いします。

＜教育委員会の考え＞

再編後の新しい中学校の場所については今後の検討となります。現在、3中学校の施設の現況調査を行っております。その結果が出ましたら教育委員会として検討し、その後に住民の皆さんに候補地をお示ししてご意見をお聴きしながら決定していく考えです。

また、ご意見にもありますように、一番大事なのは子どもたちが通いやすく、安全で学びやすい環境を作るという事だと教育委員会でも同様に考えております。

意見 106

- ・学校再編を行う際は、3校一緒のタイミングで行ってほしい。
- ・学校再編前に、何回も学校交流会を行って、子供の交流会をすることで、子供同士の顔が見える関係をつくってほしい。

＜教育委員会の考え＞

- ・ご意見のとおり3校を一緒のタイミングで再編する考えです。
- ・再編の前に子どもたちがお互いに相手を知っていることだけでも、再編後の子どもたちにとっては安心感が生まれ良いことだと思います。再編によって子どもたちが抱える不安を軽減するよう事前に小学校間の交流、小中学校間の交流、中学校間での交流の機会を多く設ける必要があると考えています。

また、一般に中1ギャップと呼ばれているように、小学校から中学校に進学する子どもたちも同じような不安を抱えているはず。そうした不安をできるだけ軽減するためにも小中学校間での交流の機会を多く設けることは大切であると考えています。

意見 107

早い時期に、中学校を3校から1校に再編して欲しいと思います。記載されているデメリットはありますが、それ以上にメリットの方が大きいと思います。各学年1クラスでは人間関係でつまづいた時にもクラス替えがなく精神的苦痛が長く続くこととなります。ぜひ早期に再編して欲しいと思います。

＜教育委員会の考え＞

教育委員会でも同様に、できるだけ早い時期に1校に再編しなければならないと考えています。

意見108

中学生になって部活動をするようになったら、バスが生徒にあわせて出てくれるのでしょうか？バス時間ありきで、バス通学の生徒の練習時間と他の生徒の練習時間が違う為にモチベーションが下がってやる気を無くさないか心配です。

土・日・祝日の部活動に対応して往復のバスは出せるのでしょうか？必ずしも土・日・祝日が休みの保護者はありません。バス通学、その他の生徒の差が出ないようにしてほしい。それが出来ないなら統合しないでほしい。

＜教育委員会の考え＞

部活動が終了する時刻に合わせて帰り（下校）のバス時刻を設定しますので、部活動の活動時間は従前に変わりなく特に制限されることはありません。そのためには、全ての部活動の終了時刻を統一する必要があります。「与えられた時間の中で効率的、効果的な練習を集中して行うこと」を生徒に教えていかなければなりません。「時間のけじめ」や「時間の大切さ」を生徒に教えていくことも大切な教育の一つです。

また、土、日曜日の部活動についてもバスの運行を考えなければなりません。学校全体において土、日曜日のいずれかを部活動のない日（休養日）に統一して、部活動のある日には相応の運行ダイヤでバスを運行しなければならないと考えております。

意見109

財政運営を考えると、美里町に中学校1校となる事に対しては賛成です。

「主に想定されるデメリット」の中に「生徒一人ひとりに対するきめ細やかな指導が行いにくくなる」とありますが、昔からある他市町村のマンモス校と呼ばれる学校がそうだったのか？と思わせるような表現に聞こえる。必ずしもそうとは限らず、統合するならば、生徒数に見合った教諭の人数にすべきであると考えます。又、学力向上の面からも、是非とも秋田県の少人数制を取り入れてほしいです。

＜教育委員会の考え＞

マンモス校で発生しているかのような表現になっていたのかもしれませんが。再編前の3校体制と比較すれば生徒の人数が多くなることから、これまでと比較すれば、きめ細やかな指導が行いにくくなるのではないかという意味で書いたものです。ご意見にもありますように教職員の人数を増員することで対応していく考えです。

また、秋田県の少人数制についても今後の検討の参考にしたいと考えております。

意見110

- ・ 合併によって全校生徒が多くなり、いじめや人間関係の複雑さが発生する。
- ・ 小牛田地域は2校が合併、南郷地域はそのまま（現在の形を）存続してほしい。
- ・ 3校の統合によるメリットの所に、「学校管理のコストを抑え、生まれた財源を新たな教育活動に活用できる」とあるが、具体的にどのようなことに活用されるのか明確にしてほし

い。

・デメリットの対策として「通学路の整備」とあるが、そこに財源を使うとしたら現状維持を検討してほしい。

・学校が遠くなることにより、保護者の負担が大きくなる。(参観日やPTAの集まり等時間がかかる) 範囲が広がるので保護者同士の顔が見えない。

・コスト(統合した場合、しなかった場合)のきちんとした数字がでたものを開示してほしい。

＜教育委員会の考え＞

(いじめ等の人間関係について)

人数が増えれば増えるほど交友関係は難しくなってくる面もあるかと思われま。中学校を1校に再編するに当たっては全てのクラスで30人未満学級を実施して教職員の目が生徒一人ひとりに行き届きやすくすること、また、専従のスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを常駐配置して生徒が抱える交友関係などの様々な悩みをいつでも気軽に安心して相談できる体制を整備すること、これらの対策から生徒一人ひとりの心のケアに対応していく考えです。

(再編の内容について)

これからの日本の社会は人口減少という大きな潮流の中で児童生徒数も減少していきます。学校の再編は、こうした社会の現実を受け止めて将来のある子どもたちのために教育環境を整備するために行うものです。子どもたちのために望ましい教育環境を整備することが今を生きる私たち大人の役割であり、それが将来の町づくりや地域づくりに繋がっていくものと考えております。

また、本年3月1日現在の町内の中学生の数は615人ですが、10年後には480人程度まで減少するものと見込まれています。わが国の社会全体の人口推計から見てもその後も児童生徒数は減少していくことと推測されます。また、社会性をはじめ人格形成に必要なものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって、部活動をはじめ運動会や文化祭などの集団活動は非常に重要な教育課程の一つです。その集団活動に支障を生じることのないような生徒数の規模を確保していく必要があります。こうしたことから将来の町の中学校教育を考えると、小牛田中と不動堂中を統合して南郷中を残す2校体制ではなく、現時点において3校を統合する1校体制で整備を進めることが望ましいのではないかと教育委員会では考えております。

(特色のある教育について)

特色のある教育については少人数学級(30人未満学級)の導入、習熟度別学習の導入、英語教育の充実などを現在検討しているところですが、今後も皆さんからのご提案をいただきながら検討してまいります。

(通学路の整備について)

通学路の整備は再編の有無にかかわらず行わなければなりませんので、通学路の整備を行わずに校舎の維持管理に充てることはできません。

(学校が遠くなることについて)

車社会となった現代では多くの保護者が自家用車で移動すると思います。授業参観やPTA行事等で町内を移動することについては、従前までに比べて距離は多少遠くなる地域

もあるかと思いますが、ご理解をいただきたいと思います。

(コストの開示について)

詳細なコスト計算については、今後積算してまいります。

意見 1 1 1

地域に密着した小・中学校を希望致します。

＜教育委員会の考え＞

中学校 3 校を 1 校に再編した後においても、地域に密着した学校運営を行うことは十分に可能と考えます。学校運営協議会の設置によるコミュニティスクールの導入についても検討してまいります。

しかし、小学校の再編については、各学校における施設の状況や保護者をはじめ住民の方々の考えもさまざまであり、また地域コミュニティとのつながりも大きいので、地域住民の方々の意見をお聴きしながら慎重に進めていかなければならないと考えております。教育委員会といたしましては、現時点で具体的な計画はありませんが、よりよい教育環境の整備に向けて、できるだけ早い時期に再編の方向性をお示しいたしたいと考えております。

意見 1 1 2

3 校統合に賛成です。

・現在、中学生の子供がいますが、部活の選択が少なく、やりたい部活に入っても人数が少なく活気がない。

・1 クラスで仲良いにはいいのですが、闘争心がないような・・・

・クラスの数が増えれば、その分、生徒への目がいきとどかなくなるのは心配です。先生方のレベルアップも考えて下さい。やる気のある先生が少ないようにも感じます。

＜教育委員会の考え＞

再編は第一に将来の子どもたちのためにあるものです。再編後の新しい学校においても、ご指摘の問題点を解決していきたいと考えています。

意見 1 1 3

少子化が進む中、統合はやむをえない事だと思えます。特に南郷地区は小牛田に比べて交通も不便で住みやすさでも劣ります。今後転居してくる方も少ないと思えます。中学校の統合は南郷からみると少しさみしい事ですが、統合によって子供達に良い影響になる様にしていきたいです。親にとっては正直不安しかありません。遠距離になるのであろう通学、部活動の制限。実際やってみなくてはわからないでしょうが、難しい障害たくさんでくると思えますが、小牛田、南郷、平等に考えていただき、どちらかが不便などならない様、お願いしたいです。子供には統合になって友達がたくさんできるじゃん！と前向きに話しています。地区により差、偏見もあります。でも、お互いに良い方向へむかい協力をして良い学校をつくってください。

＜教育委員会の考え＞

将来の子どもたちの教育環境を考えれば中学校の再編を避けては通れないと考えます。スクールバスの運行を充実させるなど再編による諸問題を解消しながら町の中学校教育を

充実させることが町の均衡ある発展につながっていくものと考えます。

意見 114

- ・生徒の減少で部活ができない。
 - ・クラス替えができない。(ある程度の友達が決まってしまったまま3年間、そのまま・・・)
 - ・文化祭や運動会もさみしい。
 - ・各地区の役員も毎年やらなければなくなる。
 - ・すでに遠距離通学で(自転車で30分)ほとんど保護者の送迎で通学している。
- 3中学校統合してほしいです。

<教育委員会の考え>

3中学校を再編することによって、上記の問題点を解決していきたいと考えています。

意見 115

生徒数が減少して統合するのは、仕方がないとは思っております。が、やっぱり想定されるデメリットが心配ですのできちんとして頂ければと思います。

子供は中学校に自転車で通学したいのと言っております。小学も中学もスクールバスでは体力もなくなるはずですね。

<教育委員会の考え>

デメリットの解消には万全を期していく考えです。

また、バス通学になることで体力の低下が心配されるということですが、バスの乗車場所(バス停)を少なくし、自宅からバス停までの一定距離を徒歩や自転車で通うことによって体力の低下をある程度防止することもできるのではないかと考えます。また、生徒が希望する場合には、遠距離通学者であっても陽の長い期間や天候の良い日などには自転車で通学することも良いのではないかと考えられます。

意見 116

小牛田地区の2校の校舎の修繕をくり返すよりは、新しい場所に新中学校建設に賛成。現場所への建設は反対です。

また、当初教育委員会の方から平成33年度に3つの中学を再編とありましたが、そのころはまだ南郷中は135人と今とかわらない人数がいるため、南郷は今のまま、小牛田と不動堂の合併を望む。しかし、平成39年度になると南郷中が百人をきるなので、その頃、3つの中学が一緒になればいいのではないかと思う。今しばらくの期間は、南郷中はそのままであってほしいと心から願っています。私も住民の方々の意見を同じです。

<教育委員会の考え>

「小牛田中と不動堂中を一校に統合した後に南郷中を統合する」という二段階方式についても教育委員会で検討してきました。しかし、南郷中においては生徒数の減少が著しく、10年後には生徒数が90人程度まで減るものと見込まれています。部活動については、部活動の種類を相当に限定しなければ各部ともに部員を確保できずに運営できなくなります。また、運動会や文化祭などの学校行事においても生徒数が少ないと何かと問題が生じてくるものと考えられます。

また、現在の南郷地域においては、幼稚園から中学校までの12年間にわたって限られた交友関係の中での学校生活が続いております。小学校を卒業して中学校に入学する時点においては、これまでよりも広い範囲でより多くの新しい友達と出会う機会があり、交友関係がひろがることの方が、社会性をはじめ人格形成に必要なものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって必要ではないかと考えています。そのためには、幼稚園、小学校、中学校と三つの各段階において同じ地域（エリア）の学区ではなく、中学校においてはこれまでよりも広いエリアの学区にするのが望ましいと教育委員会では考えております。こうしたことから、南郷地域では、将来的においても現在の「なんごう幼稚園」と「南郷小学校」を維持することとして、中学校においては広いエリアに再編することの方が将来の南郷地域の子どもたちにとって望ましいのではないかと教育委員会では考えております。

さらに、後から南郷中だけが統合するとすると、大多数の中に合流する少数側（南郷中）の生徒の精神的な負担がより大きくなるものと懸念されます。それよりも3校が同時に同等の立場で統合した方が南郷地域の生徒たちにとって精神的な負担は軽減されるのではないのでしょうか。こうした意見が南郷地域の保護者からも出されており、教育委員会としても同様の考えであります。

意見 117

生徒数が減少してきて再編しなくてはいけないのはわかりますが、小牛田地区1校、南郷地区1校でも良いと思います。スクールバスを出すにしても南郷からでは部活動などと帰宅も遅くなります。デメリットの方が大きいです。生徒が少なくとも、特色のある中学校教育は出来ると思います。南郷中学校は残してほしいです。

<教育委員会の考え>

これからの日本の社会は人口減少という大きな潮流の中で児童生徒数も減少していきます。学校の再編は、こうした社会の現実を受け止めて将来のある子どもたちのために教育環境を整備するために行うものです。子どもたちのために望ましい教育環境を整備することが今を生きる私たち大人の役割であり、それが将来の町づくりや地域づくりに繋がっていくものと考えております。

また、本年3月1日現在の町内の中学生の数は615人ですが、10年後には480人程度まで減少するものと見込まれています。わが国の社会全体の人口推計から見てもその後も児童生徒数は減少していくことと推測されます。また、社会性をはじめ人格形成に必要なものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって、部活動をはじめ運動会や文化祭などの集団活動は非常に重要な教育課程の一つです。その集団活動に支障を生じることのないような生徒数の規模を確保していく必要があります。こうしたことから将来の町の中学校教育を考えると、小牛田中と不動堂中を再編して南郷中を残す2校体制ではなく、現時点において3校を再編する1校体制で整備を進めることが望ましいのではないかと教育委員会では考えております。

意見 118

中学校再編については、小牛田中、不動堂中の統合と同時に南郷中も統合することを望みます。

統合するにあたって要望すること、

- ・統合前、各学校同士を交流させる機会をもうけ、児童同士なじみやすくなる環境をつくる。
- ・スクールバスの充実

部活動の時間延長にも平等に対応して欲しい。長距離通学生が不利になるようなことが無いように望みます。

- ・授業内容のきめ細かな対応のために教員補助の充実
- ・子供達の精神面でのサポートにスクールカウンセラーの常駐もしくは週1～2日の来校

<教育委員会の考え>

(学校間の交流について)

再編の前に子どもたちがお互いに相手を知っていることだけでも、再編後の子どもたちにとっては安心感が生まれ良いことだと思います。再編によって子どもたちが抱える不安を軽減するよう事前に小学校間の交流、小中学校間の交流、中学校間での交流の機会を多く設ける必要があると考えています。

また、一般に中1ギャップと呼ばれているように、小学校から中学校に進学する子どもたちも同じような不安を抱えているはずですが、そうした不安をできるだけ軽減するためにも小中学校間での交流の機会を多く設けることは大切であると考えています。

(スクールバスの充実)

部活動の終了時刻に合わせて帰りのスクールバスの発車時刻が設定されますので、部活動の終了時刻は従前と変わりはなく、バス通学の生徒の練習時間と他の生徒の練習時間が違って来るようなことはありません。また、大会前などに練習時間を延長する場合には、その終了時刻に合わせて帰りのスクールバスの発車時刻が設定されることとなります。遠距離通学生が不利になることはありません。

また、スクールバスの運行に当たっては、台数を十分に確保し、また、コースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時における生徒がバスに乗車している時間を、学校から最も遠い生徒であっても30分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行から通学にかかる時間の短縮などに努めていきます。

(教員補助の充実について)

学習面においても教員補助員の増員を行う必要があると考えています。

(精神面のサポートについて)

人数が増えれば増えるほど交友関係は難しくなってくる面もあるかと思われまます。中学校を1校に再編するにあたっては全てのクラスで30人未満学級を実施して教職員の目が生徒一人ひとりに行き届きやすくすること、また、専従のスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを常駐配置して生徒が抱える交友関係などの様々な悩みをいつでも気軽に安心して相談できる体制を整備すること、これらの対策から生徒一人ひとりの心のケアに対応していく考えです。

意見119

- ・明確化しないと何も判断出来ない
- ・特定の子供だけではなく、全体の子供達の意見を聞いてみた方が良いのでは？
- ・通学方法、休日の部活の交通手段等、明確にすべきでは？

・スクールカウンセリング、スクールソーシャルワーカーの常駐等心のケア等も後手にならない様にしておくべきでは！

- ・不登校児のケアも考えておくべきでは？（転校という選択肢が難しくなる）
- ・最低限での運営ではなく、余裕のある運営（人も教育も全てにおいて）希望

＜教育委員会の考え＞

- ・住民の皆さんの意見を聴きながら段階的に明確化していくこととなります。
- ・学校の再編整備は我われ大人が将来の子どもたちのために学校教育環境を整備することだと考えます。その中で必要に応じて多くの児童生徒の意見を聴くことも大切と思います。
- ・通学方法、休日の部活の交通手段等を明確にとのご意見ですが、新しい学校の場所が決まらなければ明確に示すことができません。
- ・スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーについては新中学校の開校時から常駐で配置する考えです。
- ・ご意見にあります「不登校児のケア」も非常に重要になってきています。学校に馴染めない生徒のための学校（例えば、フリースクール等）についても考えていかなければならないと考えています。
- ・教育には「余裕」が必要と思います。そのためには十分な人が必要となり、十分な財源が必要となってきます。将来の子どもたちを育てる教育に、町の財源を重点的に充てていただくよう求めていく考えです。

意見 1 2 0

子供の数が減っているので統合は仕方ない事だと思います。現在も部活動など人数の少ないのを理由に活動も制限されたりしています。統合によって子供達の色々な活動も選択肢に幅が広がる事を願っています。不安な点もありますが、統合へ向けて進めていく事を希望します。

＜教育委員会の考え＞

できるだけ早期に再編を実現し、部活動の問題等の解決を図っていきます。

意見 1 2 1

学校はどこになるのか？それに対しての交通手段（通学バス）をしっかりと頂けるのであれば、再編も有りかと思えます。送迎での親の負担があるのであれば賛成はできません。

＜教育委員会の考え＞

（新しい中学校の場所について）

再編後の新しい中学校の場所については今後の検討となります。現在、3中学校の施設の現況調査を行っております。その結果が出ましたら教育委員会として検討し、その後に住民の皆さんに候補地をお示ししてご意見をお聴きしながら決定していく考えです。

（通学、親の負担について）

遠距離通学者の通学手段としてスクールバスの運行を行う予定です。スクールバスの運行に当たっては、台数を十分に確保し、またコースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時における生徒がバスに乗車している時間を、学校から最も遠い生徒であっても30分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行か

ら通学にかかる時間の短縮などに努めていきます。

また、バス通学の生徒が病気等の何らかの事情で学校から途中帰宅しなければならないとき、また、途中から学校に登校することとなったときには、保護者等家族の方々の送迎となるかと思えます。再編前に比べて学校までの距離が遠くなられる方々には御負担が大きくなり御不便をおかけすることとなります。しかし、学校でのけが等の緊急の場合においては、学校側としても対応いたします。

意見 1 2 2

合併はしているが、中学校を 1 校にする案は反対です。どちらに学校を建てるのか分かりませんが、スクールバスがあるにしても困難ではないかと思うこと。小牛田地区に 1 校を、南郷中は現在のままでお願いしたいと思う。

<教育委員会の考え>

これからの日本の社会は人口減少という大きな潮流の中で児童生徒数も減少していきます。学校の再編は、こうした社会の現実を受け止めて将来のある子どもたちのために教育環境を整備するために行うものです。子どもたちのために望ましい教育環境を整備することが今を生きる私たち大人の役割であり、それが将来の町づくりや地域づくりに繋がっていくものと考えております。

また、本年 3 月 1 日現在の町内の中学生の数は 6 1 5 人ですが、1 0 年後には 4 8 0 人程度まで減少するものと見込まれています。わが国の社会全体の人口推計から見てもその後も児童生徒数は減少していくことと推測されます。また、社会性をはじめ人格形成に必要なものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって、部活動をはじめ運動会や文化祭などの集団活動は非常に重要な教育課程の一つです。その集団活動に支障を生じることのないような生徒数の規模を確保していく必要があります。こうしたことから将来の町の中学校教育を考えると、小牛田中と不動堂中を再編して南郷中を残す 2 校体制ではなく、現時点において 3 校を再編する 1 校体制で整備を進めることが望ましいのではないかと教育委員会では考えております。

スクールバスの運行に当たっては、台数を十分に確保し、またコースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時における生徒がバスに乗り込んでいる時間を、学校から最も遠い生徒であっても 3 0 分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行から通学にかかる時間の短縮などに努めていきます。

意見 1 2 3

賛成です。

<教育委員会の考え>

教育委員会としても、できるだけ早い時期に実現できるよう努めてまいります。

意見 1 2 4

再編について賛成です。

その上で、再編が H 3 9 年に行われた場合、子供が中学生になっています。私としては 3 年生でと言うより、中学入学に合わせて小牛田地域の学校に通わせたいと思います。

そういった選択はできるのでしょうか。

＜教育委員会の考え＞

原則的にはできません。しかし、理由によっては指定校の変更も認めています。

意見 1 2 5

3校の統合には反対です。

美里町の形状は細長く1校になった場合、遠距離通学者への不利益が大きすぎます。スクールバスの運行をだけで部活動後の送迎ができるとは思えません。

距離の為に部活動などが制限されるのは大きな問題だと考えます。

地域性を考えても、2校に統合するのが望ましいと思います。

＜教育委員会の考え＞

これからの日本の社会は人口減少という大きな潮流の中で児童生徒数も減少していきます。学校の再編は、こうした社会の現実を受け止めて将来のある子どもたちのために教育環境を整備するために行うものです。子どもたちのために望ましい教育環境を整備することが今を生きる私たち大人の役割であり、それが将来の町づくりや地域づくりに繋がっていくものと考えております。

また、本年3月1日現在の町内の中学生の数は615人ですが、10年後には480人程度まで減少するものと見込まれています。わが国の社会全体の人口推計から見てもその後も児童生徒数は減少していくことと推測されます。また、社会性をはじめ人格形成に必要なものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって、部活動をはじめ運動会や文化祭などの集団活動は非常に重要な教育課程の一つです。その集団活動に支障を生じることのないような生徒数の規模を確保していく必要があります。こうしたことから将来の町の中学校教育を考えると、町内を2つに分けて2校体制にするのではなく、現時点において3校を統合する1校体制で整備を進めることが望ましいのではないかと教育委員会では考えております。

意見 1 2 6

安易な再編は絶対に反対です。

教育委員会は予算や児童数といった数字でしか考えていないのでしょうか？教育は国や地域の根幹を為すものではありませんか。ここはむしろ逆転の発想で日本全国で同じ様に再編が進むのなら敢えて少人数学級により充実した教育環境をここ美里町に設けませんか。

大崎、石巻、仙台のペットタウンで教育、自然に恵まれた文字通り美里の町にする気概を持っていただきたいと強く願います。

繰り返しますが、教育は数字で表わすものではないと思います。私達の子や孫の為、この地域の為に長期的視野の基に英断を強く望みます。（上記は南郷地域に係る意見です）

＜教育委員会の考え＞

逆転の発想もときにはよろしいかと思えます。しかし、学校の再編は将来の子どもたちの教育環境を、今を生きる私たち大人が整備しなければならない重要な政策の一つです。それは今だけではない将来、40年も50年も先の将来を見据えたものでなければなりません。これからの時代の大きな流れの一つに少子化による児童生徒数の減少という明確な事実が

ある中でこの事実を真摯に受け止めなければなりません。今後の児童生徒数の推計はこうした意味から非常に重要な時代の流れを表した数値であり、将来の政策を考える上で非常に重要な条件となっていることを軽視してはいけないものと考えます。

教育委員会では、将来の教育環境を考える中で非常に大きい意味を持つ児童生徒数の将来推計を重視した上で、50年先の町の学校教育のビジョンを描き中学校の再編を進めていく考えであります。

意見127

先日、教育委員会さんのお話を聞き、これからどんどん人数が減っていくのにあたって合併はしかたのないことだと理解しています。私が今心配なのは、今の部活動の事です。子供は、中学に行った時、部活動ができるか心配です。部活動だけでも早めに一緒にすることはムリでしょうか。息子が卒業してからの卒業になります。息子は（今5年生）6年生で、スポ少で野球の試合ができません。（人数が足りなくて）今の状態で野球ができないのに中学校に行って野球ができるとは思えません。息子に「野球のできる中学校に行きたい」と言われました。兄が中1年生で野球をしています。今年中学生の1年生大会に小牛田中学校さんの1年生と合同で試合しましたが、合同で練習したのは2回くらいで、名前もわからない状況で、合同で試合しても勝てるはずありません。週に1回、3校合同で練習等でき、そして試合にのぞめるようになればと思います。小学生の弟は6年生で野球ができずくやしい思いをしました。中学校3年生になったときに、またくやしい思いをさせたくないです。お願いします。野球の試合をできるようお願いします。

<教育委員会の考え>

社会性をはじめ人格形成に必要なものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって、部活動などの集団活動は非常に重要な教育課程の一つです。何よりも、子どもたちが好きなスポーツをできないことが問題と思います。中学校教育においてこうした問題を解決するためには早期に学校再編を進めていかなければなりません。

また、「部活動だけでも早めに一緒に」とのご要望ですが、現在も行っている複数校による合同チームを編成する以外に方法はありません。複数の学校による合同チームと一緒に練習できる環境を整備するよう努めてまいります。

【中学校の保護者から寄せられたご意見・ご要望等】

意見128

できれば統合してもらいたくない。

<教育委員会の考え>

これからの日本の社会は人口減少という大きな潮流の中で児童生徒数も減少していきます。学校の再編は、こうした社会の現実を受け止めて将来のある子どもたちのために教育環境を整備するために行うものです。子どもたちのために望ましい教育環境を整備することが今を生きる私たち大人の役割であり、それが将来の町づくりや地域づくりに繋がっていくものと考えております。

また、本年3月1日現在の町内の中学生の数は615人ですが、10年後には480人程度まで減少するものと見込まれています。わが国の社会全体の人口推計から見てもその後も児童生徒数は減少していくことと推測されます。また、社会性をはじめ人格形成に必要なものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって、部活動をはじめ運動会や文化祭などの集団活動は非常に重要な教育課程の一つです。その集団活動に支障を生じることのないような生徒数の規模を確保していく必要があります。こうしたことから将来の町の中学校教育を考えると、現在の3校体制を維持するのではなく、現時点において1校体制で整備を進めることが望ましいのではないかと教育委員会では考えております。

意見129

生徒数の減少に伴う中学校の統合は自然な流れとは思いますが、しかし南郷地区も一緒にとなりますといかがなものでしょうかと思います。

あちらの地区は南北に長く統合中学校をどこへ設置するかにもよりますが、かなり遠い所から通う生徒もいます。スクールバスによる送迎や部活の制限はもちろん、親御さんの送り迎え（早退等）、行事にも支障が出ます。

旧小牛田地域は1つにしてもかまいませんが南郷地域まで1つの統合にするのは賛成しかねます。

＜教育委員会の考え＞

これからの日本の社会は人口減少という大きな潮流の中で児童生徒数も減少していきます。学校の再編は、こうした社会の現実を受け止めて将来のある子どもたちのために教育環境を整備するために行うものです。子どもたちのために望ましい教育環境を整備することが今を生きる私たち大人の役割であり、それが将来の町づくりや地域づくりに繋がっていくものと考えております。

また、本年3月1日現在の町内の中学生の数は615人ですが、10年後には480人程度まで減少するものと見込まれています。わが国の社会全体の人口推計から見てもその後も児童生徒数は減少していくことと推測されます。また、社会性をはじめ人格形成に必要なものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって、部活動をはじめ運動会や文化祭などの集団活動は非常に重要な教育課程の一つです。その集団活動に支障を生じることのないような生徒数の規模を確保していく必要があります。こうしたことから将来の町の中学校教育を考えると、小牛田中と不動堂中を再編して南郷中を残す2校体制ではなく、現時点において3校を再編する1校体制で整備を進めることが望ましいのではないかと教育委員会では考えております。

意見130

遠距離通学などの問題はありますが、3校を統合し、未来のことを考えていくことが望ましいと思います。

＜教育委員会の考え＞

教育委員会としても、将来の子どもたちのことを考えれば「3校を再編し、未来のことを考えていくことが望ましい」と考えます。

意見 131

児童数が減っているのと学校の校舎の老朽化は、止めることができない問題であり、後々は統合という形になると思います。先のことを考えて早めに3校の統合をするべきだと思います。デメリットは色々と試して改善していけば良いと思います。

<教育委員会の考え>

教育委員会としても、デメリットを改善しながらも早期に3校の再編を進めていくべきと考えます。

意見 132

いくつかの学校が集まらない、小・中学校を同一の子ども達ですぐすと、お互いをよく理解できるということもありますが、短所がそのままにされてしまう（あの子は-----な子だから、と周囲が認めてそれ以上を求めない）場合もあります。

その場合、高校で多くの人と接する方法がわからず不登校になることもあります。できれば、小学校は現在の6校体制を維持し、きめこまやかな指導を行い、中学校を1つにするのがよいと思います。“中1ギャップ”を体験することで、いろいろな人がいることを知り、自分と他者との距離のとり方を知り、成長できると思います。しかし、いじめ等は今以上に心配されますので、はじめから対策を考えておくとよいと思います。全町の小学校高学年で他校との交流を持つ必要があると思います。

<教育委員会の考え>

「小学校は現在の6校体制を維持し、きめこまやかな指導を行い、中学校を1つにするのがよい」とのご意見に教育委員会も同じ考えです。

再編の前に子どもたちがお互いに相手を知っていることだけでも、再編後の子どもたちにとっては安心感が生まれ良いことだと思います。再編によって子どもたちが抱える不安を軽減するよう事前に小学校間の交流、小中学校間の交流、中学校間での交流の機会を多く設ける必要があると考えています。

また、一般に中1ギャップと呼ばれているように、小学校から中学校に進学する子どもたちも同じような不安を抱えているはずで、そうした不安をできるだけ軽減するためにも小中学校間での交流の機会を多く設けることは大切であると考えています。

意見 133

5年といわず、もう少し早めてください。校舎が古すぎて地震が心配です。

<教育委員会の考え>

教育委員会としても、できるだけ早い時期に実現できるよう努めてまいります。

意見 134

子どもたちの実態をよく考えた学校再編をおねがいします。

<教育委員会の考え>

学校の再編は、将来の子どもたちの教育環境を、今を生きる私たち大人が整備しなければならない重要な政策の一つです。教育委員会としては、将来の子どもたちのために、子どもたちの実態をよく考えた上で学校再編を進めていく考えです。

意見 135

再編は大変だと思いますが、どうぞよろしくお願いします。

<教育委員会の考え>

教育委員会としても、できるだけ早い時期に実現できるよう努めてまいります。

意見 136

このままで充分だと思います。きめ細かい子どもたち、ひとりひとりのケアができるという

<教育委員会の考え>

これからの日本の社会は人口減少という大きな潮流の中で児童生徒数も減少していきます。学校の再編は、こうした社会の現実を受け止めて将来のある子どもたちのために教育環境を整備するために行うものです。子どもたちのために望ましい教育環境を整備することが今を生きる私たち大人の役割であり、それが将来の町づくりや地域づくりに繋がっていくものと考えております。

本年3月1日現在の町内の中学生の数は615人ですが、10年後には480人程度まで減少するものと見込まれています。わが国の社会全体の人口推計から見てもその後も児童生徒数は減少していくことと推測されます。また、社会性をはじめ人格形成に必要なものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって、部活動をはじめ運動会や文化祭などの集団活動は非常に重要な教育課程の一つです。その集団活動に支障を生じることのないような生徒数の規模を確保していく必要があります。こうしたことから将来の町の中学校教育を考えると、このまま現在の3校体制を維持するのではなく、現時点において1校体制で整備を進めることが望ましいのではないかと教育委員会では考えております。

また、中学校を1校に再編するに当たっては全てのクラスで30人未満学級を実施して教職員の目が生徒一人ひとりに行き届きやすくすること、また、専従のスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを常駐配置して生徒が抱える交友関係などの様々な悩みをいつでも気軽に安心して相談できる体制を整備すること、これらの対策から再編の後においても生徒一人ひとりの心のケアに対応していく考えです。

意見 137

特にはありません。

<教育委員会の考え>

教育委員会としても、できるだけ早い時期に実現できるよう努めてまいります。

意見 138

町が提案している合併案に賛成です。特に小学校は年々生徒数が減っており、兄弟姉妹を持つ保護者の方が多く、各役員選出決定に毎年苦勞しています。中学校再編と同時進行で、青生小、不動堂小の合併も進めていただけるよう希望します。

<教育委員会の考え>

中学校の再編については、早期に進めてまいります。

しかし、小学校の再編については、各学校における施設の状況や保護者をはじめ住民の方々の考えもさまざまであり、また地域コミュニティとのつながりも大きいので、地域住民の方々の意見をお聴きしながら慎重に進めていかなければならないと考えております。教育委員会といたしましては、現時点で具体的な計画はありませんが、よりよい教育環境の整備に向けて、できるだけ早い時期に再編の方向性をお示しいたしたいと考えております。

意見 139

賛成です。

<教育委員会の考え>

教育委員会としても、できるだけ早い時期に実現できるよう努めてまいります。

意見 140

再編には賛成です。ただ、通学時の安全面が心配です。バスを増便するなど、不動堂から南郷方面への歩道の整備などを検討して安全対策をしっかりとってほしいと思います。

<教育委員会の考え>

通学における生徒の負担を軽減することが再編を行う上での大きな課題の一つです。スクールバスの台数を十分に確保し、また、コースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時における生徒がバスに乗車している時間を、学校から最も遠い生徒であっても30分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行から通学にかかる時間の短縮などに努めていきます。

また、自転車通学路については、再編後の新しい学校の場所が決まれば、生徒の通学路を想定して現地を調査し、危険箇所については優先順位をつけて年次的に改善していく考えです。

意見 141

修繕をくり返しながらか使うのには限界があると思います。その予算を考えれば早い段階で方針を出してもいいと思います。

実際、予算がないとわかれば町民も妥協案として統合に賛成するのではないのでしょうか。想定されるデメリットに対して対策を講じていくことで、メリットの方が多くなるのではないかと。

子どもたちにとって良い方向にすすむことを望みます。

<教育委員会の考え>

町の財政事情が再編の直接的な理由ではありませんが、再編を進める上で財政事情は大きな条件の一つになります。限られた財源の中で、再編によるメリットを最大限に活かし、デメリットを最小限に抑えて、より効率的・効果的な学校教育をいかに作り出していくかが私たち教育委員会の重要な任務であると認識しております。将来の町の子どもたちのために、その重要な任務を果たしていかなければならないと考えています。

意見 142

小牛田中を残して、不中と南中を統合し、不中と南中を統合した場合、不中の敷地を使用

し建て替えて新校舎として使用する案などはどうでしょうか？不中は、剣道場を建てたばかりだし、校庭の水はけ工事を今年したのでそのまま使用すれば良いのでは？（もったいない）小牛田中も水はけ（校庭）が悪いとは聞いていますが。不中、小牛中、南中の3校を統合するには生徒数も多くなり教師の目もいきとどかないのではと思います。プールを直して、・・（南郷プールに行っても良いと思いますが）駅東の新しい団地もでき若い人達が住みはじめ不中がなくなるのは不安だと言う声も聞こえています。検討よろしくをお願いします。南中と不中の統合でスクールバスの距離も短くてすむのでは。もし、小牛中を残すのであれば、悪い所だけを直し、使用するとか・・・・。中総体とかも3校統合より試合ができるかと・・・・。

＜教育委員会の考え＞

これからの日本の社会は人口減少という大きな潮流の中で児童生徒数も減少していきま。学校の再編は、こうした社会の現実を受け止めて将来のある子どもたちのために教育環境を整備するために行うものです。子どもたちのために望ましい教育環境を整備することが今を生きる私たち大人の役割であり、それが将来の町づくりや地域づくりに繋がっていくものと考えております。

また、本年3月1日現在の町内の中学生の数は615人ですが、10年後には480人程度まで減少するものと見込まれています。わが国の社会全体の人口推計から見てもその後も児童生徒数は減少していくことと推測されます。また、社会性をはじめ人格形成に必要なものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって、部活動をはじめ運動会や文化祭などの集団活動は非常に重要な教育課程の一つです。その集団活動に支障を生じることのないような生徒数の規模を確保していく必要があります。こうしたことから将来の町の中学校教育を考えると、南郷中と不動堂中を再編して小牛田中を残す2校体制ではなく、現時点において3校を再編する1校体制で整備を進めることが望ましいのではないかと教育委員会では考えております。

意見 143

小牛田、不動堂の再編は生徒も父兄（PTA）もスムーズかと思うが南郷とはなかなか。地域ぐるみでの交流がもっと盛んにならないといろいろな問題が出て来るような気がする。

＜教育委員会の考え＞

再編の前に子どもたちがお互いに相手を知っていることだけでも、再編後の子どもたちにとっては安心感が生まれ良いことだと思います。再編によって子どもたちが抱える不安を軽減するよう事前に小学校間の交流、小中学校間の交流、中学校間での交流の機会を多く設ける必要があると考えています。

また、再編する時には町の合併から15年以上も過ぎており中学生は全員が「美里町生まれ」となっており、旧町単位の地域の区割りに対する意識は薄れているものと思われます。

意見 144

- ・スクールバスについて、乗り遅れ等が出た場合、親の送迎が大変な場合があります。（遠距離のため）町民バスと連動して本数を増やして頂けると安心できるかと・・・・
- ・今現在も街灯が少なく暗い道を恐がりながら帰って来ています。（再編以前の話ですが・・・）

どうにかなりませんか？

・雪道（雪かき）の問題？

自転車通学が増えた際、歩道が雪でうまると車道に行く子や送迎が増え渋滞するとか・・・。

＜教育委員会の考え＞

（スクールバスについて）

遠距離通学となる生徒の負担を軽減することは再編に当たっての大きな課題の一つです。スクールバスの台数を十分に確保し、コースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時における生徒がバスに乗車している時間を、学校から最も遠い生徒であっても30分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行から通学にかかる時間の短縮などに努めていきます。

バス通学の生徒がバスに乗り遅れたとき、病気等の何らかの事情で学校から途中帰宅しなければならなくなったとき、また、途中から学校に登校することとなったときには保護者等家族の方々の送迎となるかと思えます。再編前に比べて学校までの距離が遠くなられる方々には御負担が大きくなり御不便をおかけすることとなります。しかし、学校でのけが等の緊急の場合においては、学校側としても対応いたします。

また、ご意見にあります町民バスとの連動については今後の検討課題といたします。

（通学路の街灯について）

街灯の問題は再編に関らず解決しなければならない問題ですが、生徒の通学路を再度点検するなど、今後解決に向けて努めてまいります。

（降雪時、積雪時の渋滞について）

雪が相当に積もった日には安全を考え自転車以外の交通手段で通学することを検討しなければなりません。その場合にお子さんを送迎される自動車でも学校周辺が渋滞しないよう十分な停車スペースを確保しなければなりません。新しい中学校を整備するに当たっては、そうした点に十分に配慮していく考えです。

意見 145

小牛田方面に学校を置くのであれば交通手段（通学バスなど）をしっかりと頂ければ再編も有りかと思えます。

大半の親が仕事をしている今、送迎の面で負担がかかれば賛成できません。

＜教育委員会の考え＞

遠距離通学となる生徒の負担を軽減することは再編に当たっての大きな課題の一つです。スクールバスの台数を十分に確保し、コースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時における生徒がバスに乗車している時間を、学校から最も遠い生徒であっても30分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行から通学にかかる時間の短縮などに努めていきます。

意見 146

私の考えとしては半分、統合した方が良いと思っていますが、統合になれば旧小牛田地区に学校を置くと思えます。

南郷地区の子供達の通学に不便になると思うし今の時代、両親共働きが多く、学校への送

り迎えにも負担になると思います。

そう考えると小牛田地区に1校、南郷地区に1校にした方が良くと思います。

＜教育委員会の考え＞

これからの日本の社会は人口減少という大きな潮流の中で児童生徒数も減少していきま
す。学校の再編は、こうした社会の現実を受け止めて将来のある子どもたちのために教育環
境を整備するために行うものです。子どもたちのために望ましい教育環境を整備すること
が今を生きる私たち大人の役割であり、それが将来の町づくりや地域づくりに繋がってい
くものと考えております。

また、本年3月1日現在の町内の中学生の数は615人ですが、10年後には480人程
度まで減少するものと見込まれています。わが国の社会全体の人口推計から見てもその後
も児童生徒数は減少していくことと推測されます。また、社会性をはじめ人格形成に必要な
ものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって、部活動をはじめ運動会や文化祭など
の集団活動は非常に重要な教育課程の一つです。その集団活動に支障を生じることのない
ような生徒数の規模を確保していく必要があります。こうしたことから将来の町の中学校
教育を考えると、小牛田地区と南郷地区に1校ずつとする2校体制ではなく、現時点におい
て3校を再編する1校体制で整備を進めることが望ましいのではないかと教育委員会では
考えております。

意見147

町内の3中学校の統合に賛成です。

デメリットの遠距離通学 → 悪天候、不審者情報、夜間の暗くなった道（自転車で30分
通学かかる）などと1年間ほとんどの保護者送迎している
状態。スクールバスの方が安心です。

いじめ等の問題 → クラス替えをすることによって新たな交友関係もできる
と思います。（いじめや不登校だけが増えるとは思いません。）

＜教育委員会の考え＞

1点目については、スクールバスのできるだけ綿密な運行と自転車通学路の整備から安
全・安心な通学手段を確保して参ります。

2点目については、ご意見にありますように、クラス替えをすることによって新たな交友
関係もできると思います。

また、中学校を1校に再編するに当たっては全てのクラスで30人未満学級を実施して
教職員の目が生徒一人ひとりに行き届きやすくすること、専従のスクールカウンセラー及
びスクールソーシャルワーカーを常駐配置して生徒が抱える交友関係などの様々な悩みを
いつでも気軽に安心して相談できる体制を整備すること、これらの対策から再編の後に
いても生徒一人ひとりの心のケアに対応していく考えです。

意見148

3校の統合は、しょうがないことなのかもしれませんが、中総体や文化祭など子供のきそ
いあいがみられなくなるように思いました。でも、それ以前に人がいないのではしかたあり

ません。

今後、どのように学校がなり立っていくか心配と不安があります。まだ、幼児がいるのでどのように対応していけばよいか。

両親も仕事をしていますので自由な送迎ができません。スクールバスのみで登下校になりますので、しっかり話し合いを行ってからけつだんしてほしいです。

それから、1校になったからといって、児童館の制限はやめてもらいたい。そのへんもきちんと考えて行ってもらいたいです。

＜教育委員会の考え＞

将来の子どもたちのために、また、その親のためにも不安のない学校づくりをしなければなりません。再編して新しい学校ができるまでの期間、しっかりと対応していきたいと思えます。

意見 149

子供達は南郷でのびのびと育てております。政府（国、県、町）、予算削減、学校の教育、統合について様々な大きな問題点があると思えます。超高齢社会に進んだ私たち日本は未来の希望を持つ子供達が地域から学校が変わると、子供から～高齢者まで元気がなくなるよう心配です。

心配 ①学校の送迎（保護者への負担）

②学校教育方針（不登校）（学ぶ、かしこく、たくまし）

③高齢者の認知症度があがる（見おくり、交流会）

＜教育委員会の考え＞

- ① スクールバスのできるだけ綿密な運行と自転車通学路の整備から安全・安心な通学手段を確保して参ります。
- ② 不登校対策については、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを専従で配置すること、また、教職員の数を増やすことなどで対応していく考えです。
- ③ 高齢者の認知症度があがる点については、学校の再編と直接的な因果関係はないものと考えております。

意見 150

生徒数の減少がはっきりしているので統合した方が色々な面で充実するように思えます。しかし、送迎や体調不良時の迎えなど、両親が共働きの家庭が多い為、問題も山積しているように思えます。南郷地区にバスもないので大変だと感じます。

＜教育委員会の考え＞

色々な面でメリットが期待できる一方、（山積している問題と表現されておりますが）色々なものが心配されてくるのではないかと思えます。これらについては、一つひとつを解決していくしかありません。再編して新しい学校ができるまでの期間、解決に向けた対策をしっかりと進めていかなければならないと考えています。

意見 151

部活動の問題が一番かなと思えます。やりたい部活に入れないうことと、文化部への加入が

多く、運動部の活動が出来なくなる事が心配です。統合してバス通になったりすると問題も出てくると思いますが・・・。

＜教育委員会の考え＞

再編によって生徒数が増えますので、部活動の種類も増えるはずですが、通学の問題については、スクールバスの運行を充実させるなど万全を期してまいります。

意見 152

生徒数の減少、財政難を考慮すれば、統合は仕方ないと思います。

主に想定されるデメリットにスクールバスによる通学となる為、部活動など放課後の活動が制限されてくるとプリントに書いてありました。

通学がバス、その上部活動の制限、子供達の体作りが損なわれないか心配です。

練牛小学校が廃校になり、家の子も小学校はスクールバスで通学しました。そのせいか、歩く事、自転車を使う事をとて嫌がります。その結果、体力が無く“へたれ”です。(文化部ですので・・・)

通学での体力作りが出来ない分、体育の授業、その他で十分なカリキュラムが必要だと思います。

＜教育委員会の考え＞

(部活動への制限)

部活動が終了する時刻に合わせて帰り(下校)のバスの発車時刻を設定しますので、部活動の活動時間は従前が変わりなく特に制限されることはありません。そのためには、全ての部活動の終了時刻を統一する必要があります。「与えられた時間の中で効率的、効果的な練習を集中して行うこと」を生徒に教えていかなければなりません。「時間のけじめ」や「時間の大切さ」を生徒に教えていくことも大切な教育の一つです。

また、土、日曜日の部活動についてもバスの運行を考えなければなりません。学校全体において土、日曜日のいずれかを部活動のない日(休養日)に統一して、部活動のある日には相応の運行ダイヤでバスを運行しなければならないと考えております。

スクールバスの通学になることで部活動の時間が制限されるようなことはないと考えます。プリントの書き方が適切ではありませんでした。

(体力の低下について)

バスの乗車場所(バス停)を少なくし、自宅からバス停までの一定距離を徒歩や自転車で通うようにするなどの工夫も必要になってくるかと思えます。また、生徒が希望する場合には、遠距離通学者であっても陽の長い期間や天候の良い日などには自転車で通学することも良いのではないかと考えられます。

意見 153

学校再編に賛成します。できる限り早期の統合を希望します。学校の新設については、他の学校に比べて子供達が胸を張れる特徴を出して下さい。

＜教育委員会の考え＞

少人数学級(30人未満学級)の導入、習熟度別学習の導入、英語教育の充実などを現在検討しているところです。今後も皆さんからのご提案をいただきながら検討してまいります。

す。

意見 154

3校統合しかないのかなとこう思いもしますが。

他の道も、もっとさぐるべきだと思います。部活のことを考えれば選択が増えることで、子供達のためにはなりません。それはわかりますが、人数が多いたともめごとが増えます。スクールバスの通学はストレスになると思います。人数が多くなることで競争心が出来ていいと思いますが、今、20人クラスで落ちこぼれていて、それが放置されているにもかかわらず、これ以上、人数が増えてどうするの？と思います。

ただ、体育の授業を男女別にして欲しいと思うので、統合には反対しません。南郷地区だけで統合はできないのでしょうか。小中一貫校もしくは中高一貫校。鹿島台と前谷地の駅にスクールバスを配置して近隣から通えるようにする。ただ、他の市町村から子供を集めるには特色ある学校にしなければなりませんよね。進学を中心とするのか、部活をしぼって強い部活にしていくのか……。はたまた、農村留学的な変わった感じで行くのか。とにかくこのまま統合することは、南郷地区には不利な感じがします。たぶん、小牛田主導になるのでしょうか。反対もしませんが、賛成もしません。

<教育委員会の考え>

(人数が増えることについて)

人数が増えることでもめごとが増えるのではとのご心配ですが、中学校を1校に再編するに当たっては全てのクラスで30人未満学級を実施して教職員の目が生徒一人ひとりに行き届きやすくすること、また、専従のスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを常駐配置して生徒が抱える交友関係などの様々な悩みをいつでも気軽に安心して相談できる体制を整備すること、これらの対策から生徒一人ひとりの心のケアに対応していく考えです。

(スクールバスの通学について)

スクールバスの台数を十分に確保し、また、コースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時において生徒がバスに乗車している時間を最長でも30分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行から通学にかかる時間の短縮を図り、スクールバスで通う生徒のストレスを少なくしていくよう努めていきます。

(学習面について)

再編後の中学校において少人数学級(30人未満学級)を導入し、学習面においてもきめ細かな指導が行いやすい体制をつくってまいります。また、一つの学級の中で国語・数学・英語などの教科の習熟度別にグループ分けをして、複数の先生がグループ別に指導することにより、学習内容の習得が遅れている生徒に対して継続的に支援していく体制を整えていく考えであります。

(南郷地区だけの統合について)

南郷中においては生徒数の減少が著しく、10年後には生徒数が90人程度まで減るものと見込まれています。部活動については、部活動の種類を相当に限定しなければ各部ともに部員を確保できずに運営できなくなります。また、運動会や文化祭などの学校行事においても生徒数が少ないと何かと問題が生じてくるものと思われまます。

また、現在の南郷地域においては、幼稚園から中学校までの12年間にわたって限られた友達関係の中での学校生活が続いております。小学校を卒業して中学校に入学する時点においては、これまでよりも広い範囲でより多くの新しい友達と出会う機会があり、交友関係がひろがることの方が、社会性をはじめ人格形成に必要なものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって必要ではないかと考えています。そのためには、幼稚園、小学校、中学校と三つの各段階において同じ地域（エリア）の学区ではなく、中学校においてはこれまでよりも広いエリアの学区にするのが望ましいと教育委員会では考えております。こうしたことから、南郷地域では、将来的においても現在の「なんごう幼稚園」と「南郷小学校」を維持することとして、中学校においては広いエリアに再編することの方が将来の南郷地域の子どもたちにとって望ましいのではないかと教育委員会では考えております。

特色ある学校にして人を集めることをこれから行ったとしても、南郷中学校の生徒が急激に増えることは難しいと思います。それよりも生徒数の減少という教育上の差し迫っている課題を解決することを優先しなければならないと考えます。

（小中一貫校について）

南郷地区で小中一貫校を整備したとしてもそれによって中学校の生徒数が増えるわけではなく、部活動等に生じている部員数の不足の問題等の解決には繋がりません。南郷中の生徒数の減少の問題は残ります。やはり、児童生徒数の減少に起因する諸問題を解決するには小学校と中学校を一つにする「縦の再編」ではなく、複数の中学校を一つにする「横の再編」の方が望ましいと考えます。

また、小中一貫校は、平成25年の長野県松本市での取組をはじめとして各地の学校でも取り組まれておりますが、制度内容は未だ整備途上にあるものと教育委員会では受け止めております。また、小中一貫校は、小学校の児童数と中学生の生徒数がともに減少していくことへの対策として行うものではなく、小学校における教育環境と中学校における教育環境がそれぞれしっかりと構築された後に、小学校と中学校の連携を更に一層進めることによって双方の相乗効果を図るために検討されるべきものであると考えております。そのためには、小学校教育と中学校教育においてそれぞれの教育環境がしっかりと整備される必要があります。その上で、町内に小中一貫校が望ましいかどうかを検討するべきであり、現在進めている中学校の再編整備の後に小学校の再編を行う必要が生じた時に、併設型小中一貫校と連携型小中一貫校の両方から導入の検討を行うことの方が望ましいのではないかと考えております。その頃には小中一貫校の制度内容も整備され充実されているものと思われま

意見 155

子どもの人数が減少していくにあたり、学校を統合する事が今後も部活動等の面から考えても望ましい選択だと思います。

しかし、統合する事により、学校との距離が遠くなってしまう家庭もあると思うので、通学の便に関して困惑する事のない様、配慮していただきたいです。

<教育委員会の考え>

学校再編後の最も大きな課題は通学の問題です。スクールバスの綿密な運行と自転車通学路の整備から安全・安心な通学手段を確保するとともに、生徒や御家族の方々にできるだ

けご負担にならないよう十分に配慮してまいる考えです。

また、スクールバスの運行については、スクールバスの台数を十分に確保し、コースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時において生徒がバスに乗車している時間を最長でも30分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行から通学にかかる時間の短縮に努めていきます。

意見 156

南郷中以外の学校が古いことから、安心して生徒が学べる環境作りは大事なことです。通学手段も子供達が不便にならないよう配慮していただき安全に通学できるよう考えて欲しいと思います。中学3年間はとても大切な時代です。充実したものになるよう願います。

<教育委員会の考え>

そうした施設の問題を解決するためにも早期に再編を進めていく考えです。

また、通学については、スクールバスのできるだけ綿密な運行と自転車通学路の整備から安全・安心な通学手段を確保してまいります。

ご意見にありますように、中学3年間はとても大切な時代です。将来のある子どもたちのために、望ましい教育環境を整備することが私たち大人の役割であると考えます。

意見 157

特にありません。お任せします。

<教育委員会の考え>

教育委員会でもできるだけ早い時期に中学校を1校に再編していかなければならないと考えています。

意見 158

美里町内の子供たちが一つの学校で学べる事はとても良いと思います。少ない人数でテストや部活などするよりも大人数の中で行う事で、より競争心が芽生え、学校全体が向上すると思います。ただ、通学方法だけが心配です。親や家族に負担がかかるのはちょっと・・・。

<教育委員会の考え>

スクールバスの綿密な運行と自転車通学路の整備から安全・安心な通学手段を確保するとともに、生徒や御家族の方々にできるだけご負担にならないよう十分に配慮してまいる考えです。

スクールバスの運行については、スクールバスの台数を十分に確保し、コースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時において生徒がバスに乗車している時間を最長でも30分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行から通学にかかる時間の短縮に努めていきます。

しかし、バス通学の生徒が病気等の何らかの事情で学校から途中帰宅しなければならないとなったとき、また、途中から学校に登校することとなったときには、保護者等家族の方々の送迎となるかと思えます。再編前に比べて学校までの距離が遠くなられる方々には御負担が大きくなり御不便をおかけすることとなります。

【住民から寄せられたご意見・ご要望等】

意見 159

子供の数が減っていく中、再編は必要なことだと思います。が、しかし「美里中学校」という校名には絶対反対です。「小牛田」の名を是非残していただきたいです。

<教育委員会の考え>

学校が再編した後の校名については、住民の皆さんの意見、要望をお聴きしながら決定していかなければならないと考えております。

意見 160

「中学校3校、小学校6校の現在のまま建て替えて良いと思います。」

・小学校6校

コミュニティの中心として、災害の時の避難場所としても必要です。地区にあるコミュニティセンターとの統合をして小学生と地域の住民と一緒に活動できる小学校・児童館・コミュニティセンターの役割を1つの施設で行ってほしいと思います。

・中学3校

人間形成で1番は、中学時代の部活動です。生徒自身で考え行動するには近くに学校が必要になってきます。スクールバスも車酔いをする生徒には酷で不動堂中生徒が南郷のプールへバス移動する際もバス酔いして授業を受けられなく生徒が何人も出るくらいです。

<教育委員会の考え>

(小学校について)

小学校は地域コミュニティとのつながりも大きく、また、防災面においても災害時の地域の避難所として重要な役割を持ちます。また、小学校・児童館・コミュニティセンターの役割を1つの施設で行うことも一つの考え方だと思います。

(中学校について)

中学校においては、生徒の減少により今後部活動が十分に活動できなくなることが予想されます。このことから、中学生にとって重要な部活動をはじめとする集団的学習をしっかりとできる規模の中学校に再編しなればならないと考えております。

意見 161

・中学校の再編大変よい事と思う。再編された場合、地域根性という言葉がありますが、学業に、体育等に向上すると思う。

・増配される事は先生の員数が多くなり、先生の意思統一する校長が大変ではないかと思う。

・いじめが心配です。それこそ地域根性丸出しでいじめが出るのではないか。いじめの発見、これは先生方も大へんな事なそうです。もし、いじめられたら、すぐ先生に話す、両親に話す事が出来る路線を引いておいてください。今のいじめは死に追い込む事例が新聞、テレビで放映されているから。

<教育委員会の考え>

生徒の学習力の向上が図られるような、中学校の再編を進めていかなければならないと

考えております。また、いじめ防止についても、「絶対にいじめを発生させない」という考え方を学校運営の第1の重点目標に掲げる必要があると考えております。専従のスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを常駐配置して生徒が抱える交友関係などの様々な悩みをいつでも気軽に安心して相談できる体制を整備します。

意見162

「生徒数の減少」と「学校施設の劣化」の理由で統合すると決めたことは性急で納得できません。今後の教育のあり方、将来の町の発展を考えると中学校統合は乱暴な方針と考えます。

<教育委員会の考え>

これからの日本の社会は人口減少という大きな潮流の中で児童生徒数も減少していきま。学校の再編は、こうした社会の現実を受け止めて将来のある子どもたちのために教育環境を整備するために行うものです。子どもたちのために望ましい教育環境を整備することが今を生きる私たち大人の役割であり、それが将来の町づくりや地域づくりに繋がっていくものと考えております。

また、本年3月1日現在の町内の中学生の数は615人ですが、10年後には480人程度まで減少するものと見込まれています。わが国の社会全体の人口推計から見てもその後も児童生徒数は減少していくことと推測されます。また、社会性をはじめ人格形成に必要なものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって、部活動をはじめ運動会や文化祭などの集団活動は非常に重要な教育課程の一つです。その集団活動に支障を生じることのないような生徒数の規模を確保していく必要があります。こうしたことから将来の町の中学校教育を考えると、現在の3校体制の維持でもなく、町を二つに分ける2校体制でもなく、現時点において1校体制で整備を進めることが望ましいのではないかと教育委員会では考えております。

意見163

1 生徒数の減少について

①生徒数が減少するとのことであるが、数字の根拠を教えてください。

2 コストについて

②建て替える場合に数十億円とあるが、具体的な金額はないのか。何を根拠に数十億円としているのか。

③建て替えのコストと中学校を統合して建設する場合のコストの比較はしているのか。コストの具体的な根拠を教えてください。

④中学校を統合した場合に、スクールバス（どのくらいのコース、どのくらいの頻度で、バスは購入なのかリースなのか、運転手は何人雇用するのか）の利用などのランニングコストを含めたうえで、比較検討しているのか。している場合は、その数字を教えてください。建設年度のみを負担ではなく、30年等といった長期的なスパンでコストを比較しているのか。長期的なスパンで比較した場合、建て替えの方が、コスト的に有利になるケースは絶対はないといえるのか。

⑤スクールバスの利用は平日のみになると思うが、土日の部活動については、すべて親の負

担になってくると思うが、果たしてそれが健全な部活動に結びつくものなのか。親が負担できない場合、子供たちの部活動に制限が加えられるのではないか。

⑥町の財政負担によるものであれば、当然議会の承認を受けるものと考えているが、どのような時期にどのような情報を町民に行っていくのか等スケジュールを示して、積極的な情報開示をしてほしい。

⑦今後、美里町に転入してくる方に対して積極的な広報をしていくべきではないかと思う。住宅地を選択する場合に、学校の位置も重要な材料となることを教育委員会は認識すべきである。

⑧小学校の再編も議論すべきではないか。

⑨なぜ、建築等に係る町の積立金がないのか。

⑩災害時の避難場所等としての機能を持たせないのか。

⑪教育委員会は統合ありきで議論を進めていると感じるが、そのほかの選択肢はなぜないのか。教育委員会の中の議論を情報公開すべきである。

⑫教育委員会の意見がそのまま町の議会を通せると考えていること自体が、教育委員会の体質を表しているのではないか。

⑬いじめ問題等全国的に教育委員会の体質が問われている現在において、教育委員会としてもっと謙虚に議論をすすめるべきではないか。

⑭統合するメリットもあると思うが、学校の規模が大きくなればなるほどいろいろな問題も多く発生することを覚悟すべきである。

以上の指摘事項等について、教育委員会として積極的に対応することを願っている。仮に、町民の意見を全く無視するようなことがあれば、まさしく教育委員会の体質に問題があると言わざるを得ない。町民に理解を得ようとするならば、もっと積極的かつ具体的に情報を開示して、町民の理解を得られるように努力すべきである。町の財政は、教育委員会が支えているのではなく、町民が支えていることを十分認識すべきである。

＜教育委員会の考え＞

①お配りしたプリントの表の数値は、現在まで町内で生まれた子どもたちの人数から、各中学校の今後の生徒数を推計いたしました。

また、国立社会保障・人口問題研究所（社人研）が行っている市町村別の人口推計から、将来的に人口減少が続き、併せて児童生徒も減少するものと考えております。

②周辺市町村の先行事例を参考に、財政計画上の概算金額として次のように見込んでいます。校舎（普通教室21教室の規模）20億円、附属施設（体育館、屋外プール、給食棟）10億円です。また、新しく用地を購入して建てる場合には、用地に係る費用と外構工事に係る費用として5億円を見込んでいます。これは前述のとおり周辺市町村の先行事例を参考におおまかな数値をもって推定したものです。より詳細な積算を現在専門業者に委託をしているところです。

③「建て替えのコストと中学校を統合して建設する場合のコストの比較」とは、「現在の3校を統合しないで各々改築した場合と統合して1校を新築した場合のコスト比較」のことを述べられているのかと思います。それについては、現在専門業者に委託をして調査しているところです。その結果が平成29年3月下旬に示されますので、その後に情報提供してまいります。

④スクールバスの具体的な運行内容の検討はまだ行っていません。再編後の新しい学校の位置が決まってからの検討となります。しかし、どこか1か所に町内の生徒が通学すると仮定して予想すると10台程度の運行車両が必要になってくるものと思われます。現在本町で行っている町内小学生及び幼稚園児のためのスクールバスの運行の状況、また、近隣の町で行っている統合中学校によるスクールバスの運行状況などを参考にすれば、3中学校を1校に再編した場合、上限で年間5,000万円程度の維持費が新たに発生するのではないかと考えています。再編後の新中学校運営のランニングコストは、人件費を除くとスクールバスに係る費用と施設の維持管理に係る費用が主なものになってくると考えます。

しかし、現段階では、整備の手法(既存の学校校舎を活用するのか、新しく建設するのか、仮に建設する場合はどこに建てるのか)が具体的に決まっていないことから、詳細なコスト比較を行うことができません。現在、町内3中学校の劣化状況などの施設状況調査を専門業者に委託して行っており、その調査結果が3月下旬に出されますので、その調査結果を待ってコスト計算などから手法の選択を行っていきます。その時には住民の皆さんに調査結果を公表し、広くご意見をお聞きしながら整備手法の選択を行っていく考えです。

⑤部活動も学習活動の一つです。教育委員会では、土日であっても部活動が実施されるのであれば、スクールバスを運行させなければならないと考えております。

⑥現時点では、再編の手法(現在の校舎を活用するのか、新しく校舎を建てるか)が決まっておられません。そのいずれを選択するかによってスケジュールはまったく変わってきますので、現時点では詳しいスケジュールをお示しすることはまだできません。再編の手法が決まりましたならば、詳しいスケジュールを含め必要な情報を積極的に公開してまいります。

⑦ごもっともなご意見と思います。しかし、現時点では場所がまだ決まっていないので広報のやりようがないのが現実です。新しい中学校の位置が決まりましたら転入者に対してもお知らせしてまいります。

⑧小学校の再編については、各学校における施設の状況や保護者をはじめ住民の方々の考えもさまざまであり、また地域コミュニティとのつながりも大きいので、地域住民の方々の意見をお聴きしながら慎重に進めていかなければならないと考えております。教育委員会といたしましては、現時点で具体的な計画はありませんが、よりよい教育環境の整備に向けて、できるだけ早い時期に再編の方向性をお示しいたしたいと考えております。

⑨ごもっともなご指摘と思います。しかし、合併後、町の財政状況も厳しい中でやり繰りしてきたこともあり、積立金を造成するほどの余力がなかったことも事実です。

⑩当然に、災害時の避難場所等としての機能を持たせます。

⑪ {人口減少→児童生徒数の減少}、この図式は将来の環境変化の大きな流れです。それにどのように対応していくのか。{人口減少→児童生徒数の減少→統合による再編}、あるいは、{人口減少→児童生徒数の減少→現状維持}のいずれかの選択となると思います。そうした環境変化の大きな流れの中で町の中学校教育がどうあるべきか、50年先(少なくとも30年先)を見通して考えた時に「現状維持」の選択はありえません。あとは、「統合による再編」の内容をどうするかです。それについて、現在住民の皆さんとともに意見交換を行っているところです。教育委員会の中での協議の内容は、随時、ホームページ及び行政情報コーナーで公開しております。

⑫教育委員会の意見がそのまま町の議会を通せるものと考えておりません。教育委員会の

体質とはどのようなことを言われているのかはわかりませんが、教育委員会の意見がそのまま町の議会を通せるなど、町の議決機関である議会を軽視するような考えは教育委員会にはございません。教育委員会は教育に関する事務の管理、執行を行う行政機関であり、議会は議決機関です。それぞれが行わなければならないことは、それぞれの機能と役割を果たすことです。

⑬いじめの防止対策は、教育委員会として学校教育の最優先課題と考えており、平成28年度から不登校対策と合わせて専従の職員（青少年教育相談員）を配置して対応しております。どんなに些細なことでも見逃すことのないよう、各学校に状況把握を徹底させ教育委員会に報告させています。「謙虚に議論をすすめる」ことは大切ですが、防止対策と早期発見など現場での実践も大切と考えます。町内9校の小中学校では学校運営において何よりも優先していじめ防止等対策に当たるように、教育委員会では徹底して指示し実践をさせております。それでも撲滅とまではいきませんが、最大限の努力を行っていくことが大切です。

⑭ご意見の通りです。

意見164

私の孫も平成29年度から中学生になり不動堂中学校に進学の予定であり、中学校の再編には高い感心を持つものです。小牛田、不動堂、南郷の各中学校の統合には時代的背景、人口減少、地域等の実情が融合して必要ならざるを得ない状況であると思えます。

そこで私だけではないと思えますが、一番の問題が校舎の場所の選定だと思われま。3中学校の中心となると不動堂中学校になるが、それぞれの学区の駆け引きが出てきて収拾するのに相当の時間がかかると思われま。しかし、これは行政が高い見識を持って確実に場所を選定して関係者の方々をリードしなければ解決は望めないと思われま。

統合によってメリット・デメリットが出るのは当然のことであると思えます。場所の選定さえ決定すれば遠距離の問題等もスクールバスの運行を最大限運用する等してカバーできると考えま。

子供の教育は国の根幹をなすものであることを十分に理解され、財政上の問題も出てくるのはしかたがなく、子供の立場を最優先事項として考察されることを切に願ひま。

<教育委員会の考え>

再編後の新しい中学校の場所については今後の検討となります。現在、3中学校の施設の現況調査を行っております。その結果が出ましたら教育委員会として検討し、その後に住民の皆さんに候補地をお示ししてご意見をお聴きしながら決定していく考えです。

ご指摘のとおり場所の選定は重要な決定事項となりますので、できるだけ慎重に進めていきたいと考えております。

意見165

中学校が地域からなくなってしまうのは反対。スクールバスで子どもたちが通うようになれば中学生の姿も地域から消えてしまう。朝夕、自転車に乗って登下校する子どもたちを見るのは希望、期待を感じて気持ち明るくする。

車社会になり、おとなは車の中、子どもたちはバスの中では人間の存在が感じられない世の中になってしまう、寂しい。学校は町の中心になるべき。コンビニやスーパーよりも大事。

お金は教育に多く使うべき。中学生にとってももちろん再編せずに近くの学校で細やかなゆきとどいた教育を受けた方がいい。

<教育委員会の考え>

中学生の姿が地域から見かけなくなることで寂しくなるお気持ちを察します。しかし、将来の子どもたちの教育環境がどうあるべきか、将来の子どもたちのために私たち大人が今何を行わなければならないのか、教育委員会では将来の子どもたちのことを優先的に考え、学校の再編を検討しなければならないと考えております。

意見 166

反対である。人材を育成することが大切であり、子供は美里町、日本そして世界の宝である。美里町は自然環境に恵まれ自転車で通学している生徒も多いようです。私も子供の頃は自転車通学でした。とても体が鍛えられ風邪をひくことがほとんどありません。スクールバスでは部活や体力にも支障をきたすでしょう。体力と気力が培われれば自然に学習面も伸びると思います。私達は自然環境に恵まれた小牛田で子育てをしたいと思い転職をして東京から引越してきました。子供達は小学校、中学校、公園も近くお蔭様で元気に伸びのびと成長しました。合併してスクールバス通学では美里町の本当の良さも生かされず古川や仙台へ転出する人も多くなり、ますます人口が減ってしまうのではないのでしょうか。一度の小牛田、不動堂を2つ建て替えるのではなく一校ずつ建て替えてもよいのでは？子供を大切に考えていただきたい。

道の駅を平成33年度以降に着手するとありますが猛反対である。あちらこちらで道の駅ブームのようですがこれからはどこの市町村も高齢化が進み購買力も低下すると考えます。本当の美里町らしさとは何か本当に必要なところに予算を使っていただきたい。道の駅より小牛田中学校、不動堂中学校をそれぞれ建て替えるのが望ましいと考える。

私達家族は災害時の避難場所は不動堂中学校になっております。ゲリラ豪雨で万一鳴瀬川が決壊した場合、大地震の場合一体どこに避難すればよいのでしょうか？万一の時に備えがある避難場所にも対応できるような学校づくりを検討してください。期待しております。道の駅反対の話に戻りますが議会だよりで「結の郷も活かす努力はしたが実現できなかった」と町長は答弁していますが、このようなことで道の駅をつくりたいなどと一体何を考えているのでしょうか？町を赤字だらけにしないで欲しい。結の郷を生かせず売却したことに立腹している。このように予算が無駄使いされているとはとても残念でなりません。町長さんはじめ教育委員会、町議会議員の皆さん！予算は美里町住民のために生かされるべきものであり、あなたたちの財産ではありません。心して取り組んでいただきたいと思いペンを取りました。

<教育委員会の考え>

「人材を育成することが大切であり、子供は美里町、日本そして世界の宝である。」まったくその通りだと思います。自転車通学によって健康づくり、体づくりを行う考え方も素晴らしい考えであり、教育委員会でも同様の考えであります。

しかし、本年3月1日現在の町内の中学生の数は615人ですが、10年後には480人程度まで減少するものと見込まれています。わが国の社会全体の人口推計から見てもその後も児童生徒数は減少していくことと推測されます。また、社会性をはじめ人格形成に必要な

なものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって、部活動をはじめ運動会や文化祭などの集団活動は非常に重要な教育課程の一つです。その集団活動に支障を生じることのないような生徒数の規模を確保していく必要があります。こうしたことから将来の町の中学校教育を考えると、現在の3校体制の維持でもなく、町を二つに分ける2校体制でもなく、現時点において1校体制で整備を進めることが望ましいのではないかと教育委員会では考えております。

また、今後学校を整備する場合には、当然に学校は地域防災の中心的機能を担わなければならないと考えておりますので、水害や地震の際の避難所としての機能も備えた学校をつくっていく考えであります。

意見167

・1クラス30人未満ということは4～6クラス（かそれ以上）必要で、担任だけでなく副担任もしくは教員経験者や教員免許保持者が有償ボランティアとして配置する必要があると思う。

・グリーゾーン対象の子供のためのクラスが1クラスもしくは2クラス必要。（支援クラスとは別）

・「新しい学校施設で」ということは、既設の中学校を改築するのではなく、別の学校を作るという意味？その場合のお金は町の予算で可能なのか？町民の負担は反対。

・スクールバスはどこに依頼するのか。長期休み中も稼働可のところでないと、部活動やプールなどの親の送迎は厳しい。

・このように統合した学校（例、大崎市の岩出山中学校）を視察に行くなど、メリット・デメリットをきくなど事前の調査は必要。

・地域よっての格差が大きいとき、中学校入学時からの勉強の遅れ、授業の進み具合などの問題を教員はどうフォローしていくのか。そうならないためにも既存の中学校教師間の情報交換が必要だと思われる。家で熱心な教育を受けている子供とそうでない子供とでは学力に差が大きく出ている。小学校の時点でそうなので中学校が1つになってしまった場合、ついていけない子供がとても心配。現在の期末テストなどの問題を見ても、全く違うしすでにレベルの差があることは明確。子供たちの教育格差がとても心配です。

<教育委員会の考え>

（教員の配置について）

どのような形になるか今後の検討課題ですが、クラスの増に伴って教員を増やしていくことは必ず行っていかなければなりません。十分な数の教員を配置することが学校教育を良くするための第一条件であると考えています。教員経験者、教員免許保持者、有償ボランティア等の協力を頂くなど多様な人材の活用を検討してまいります。

（グリーゾーン対象のクラスについて）

子どもたちのそれぞれのケースに応じて対応を検討してまいります。

（新しい学校の整備について）

学校を新しく建てるか、現在の校舎を活用するかについては、未だ決定したものではありません。現在、専門業者に各校の校舎等の現況調査を依頼しているところであります。その調査が終了する平成29年3月下旬以降に、調査結果を見て判断することとなります。

(スクールバスの運行について)

町が直営で運行するか、又は業者に委託して運行するか、委託する場合にはどこの業者に委託するのか、スクールバスの運行形態はどうなるのか、これらスクールバスについての具体的な内容は今後の検討課題となります。しかし、スクールバスの運行については保護者や家族に必要以上の負担をかけることのないよう、十分な配慮を行っていく考えです。

(先進地視察について)

これまでも、教育委員会で数か所の先進地を視察しております。しかし、まだまだ多くの部分で先進事例から学ぶことがあると思いますので、今後も先進地を視察し調査・検討を行っていきます。

(学習面について)

再編後の中学校において少人数学級(30人未満学級)を導入し、学習面においてもきめ細かな指導が行いやすい体制をつくってまいります。一つの学級の中で国語・数学・英語などの教科の習熟度別にグループ分けをして、複数の先生がグループ別に指導することにより、学習内容の習得が遅れている生徒に対して継続的に支援していく体制を整えていく考えであります。

意見 168

教育委員会の方針に全面的に賛成です。5、6年後には実現するように希望致します。要望(お願い)として次の3点をお考えいただければと存じます。(委員会のお考えと重複するところもありますが・・・)

- 1 まず、第一(もっとも大事)に生徒たちの良好な人間関係の樹立
(いじめ、不登校の無い学校、必要があれば専門のカウンセラー等の常在等)
- 2 遠距離通学生徒(保護者)に対する経済的な支援を含む援助
(バス通学、自転車通学)
- 3 美里町の中学校としての特色のある教育活動の推進
(生徒たちと一緒に先生方、教育委員会で考えてみる。)

教育委員会の方々には大変ご苦労さまですがよろしくお願い申し上げます。

<教育委員会の考え>

御提案のありました3点について、しっかりと承ります。

(いじめ、不登校の問題について)

中学校を1校に再編するに当たっては全てのクラスで30人未満学級を実施して教職員の目が生徒一人ひとりに行き届きやすくすること、また、専従のスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを常駐配置して生徒が抱える交友関係などの様々な悩みをいつでも気軽に安心して相談できる体制を整備すること、これらの対策から生徒一人ひとりの心のケアに対応していく考えです。

(遠距離通学者に対する支援、援助について)

遠距離通学となる生徒の負担を軽減することは再編に当たっての大きな課題の一つです。スクールバスの台数を十分に確保し、また、コースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時における生徒がバスに乗車している時間を、学校から最も遠い生徒であっても30分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行か

ら通学にかかる時間の短縮などに努めていきます。

また、バス通学だけでなく、自転車で通学する生徒の安全確保の面についても配慮しなければなりません。再編後の新しい学校の場所が決まれば、生徒の通学路を想定して現地調査をし、危険個所については優先順位をつけて年次的に改善していく考えです。

なお、遠距離通学者に対する経済的な支援を含む援助については現在のところ考えておりません。

(特色のある教育活動について)

ごもっともなご意見であります。少人数学級(30人未満学級)の導入、習熟度別学習の導入、英語教育の充実などを現在検討しているところです。今後も皆さんからのご提案をいただきながら検討してまいります。

意見169

条件付きで賛成。完全な交通手段の確保(スクールバス)、部活&発表会、早朝練習や遅い帰路対応。完全に履行できること。

保護者や教育機関の関係者以外の、関係者の負担にならなければ諸手を上げて3校統合の考えに賛成します。

<教育委員会の考え>

(交通手段の確保について)

遠距離通学となる生徒の負担を軽減することは再編に当たっての大きな課題の一つです。スクールバスの台数を十分に確保し、また、コースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時における生徒がバスに乗車している時間を、学校から最も遠い生徒であっても30分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行から通学にかかる時間の短縮などに努めていきます。

また、バス通学の生徒が病気等の何らかの事情で学校から途中帰宅しなければならないとき、また、途中から学校に登校することとなったときには、保護者等家族の方々の送迎となるかと思えます。再編前に比べて学校までの距離が遠くなる方々には御負担が大きくなり御不便をおかけすることとなります。しかし、学校でのけが等の緊急の場合においては、学校側としても対応いたします。

(スクールバスと部活動について)

部活動が終了する時刻に合わせて帰り(下校)のバスの発車時刻を設定しますので、部活動の活動時間は従前に変わりなく特に制限されることはありません。そのためには、全ての部活動の終了時刻を統一する必要があります。「与えられた時間の中で効率的、効果的な練習を集中して行うこと」を生徒に教えていかなければなりません。「時間のけじめ」や「時間の大切さ」を生徒に教えていくことも大切な教育の一つです。

また、土、日曜日の部活動についてもバスの運行を考えなければなりません。学校全体において土、日曜日のいずれかを部活動のない日(休養日)に統一して、部活動のある日には相応の運行ダイヤでバスを運行しなければならないと考えております。

しかし、早朝練習に対してはバスを運行する考えはありません。早朝練習が生徒の授業に影響を及ぼさないか、早朝練習のあり方については検討しなければならないと考えているからです。

再編後の大きな課題は、遠距離通学者の通学手段の確保だと考えています。しかし、完全、完璧なものにすることは難しいと思いますが、教育委員会としても最大限の努力を行っていく考えであります。

意見 170

小牛田中と不動堂中を一校に統合。南郷地域は幼・小・中の一貫の継続が望ましいです。遠距離通学が心配。遠距離のため部活に力はいらないのでは？

部活はある中からが良いと思います。生徒数が多いからといっていいわけではないです。一校に統合するにかかわらず、1クラス30人未満学級を実現してほしいです。

小牛田中と不動堂中で統合して、その後に南郷中の統合を検討が望ましいです。二段階による再編がいいのではないのでしょうか。将来、南郷中も統合してもよい新校舎を。

<教育委員会の考え>

(3校の再編について)

これからの日本の社会は人口減少という大きな潮流の中で児童生徒数も減少していきます。学校の再編は、こうした社会の現実を受け止めて将来のある子どもたちのために教育環境を整備するために行うものです。子どもたちのために望ましい教育環境を整備することが今を生きる私たち大人の役割であり、それが将来の町づくりや地域づくりに繋がっていくものと考えております。

本年3月1日現在の町内の中学生の数は615人ですが、10年後には480人程度まで減少するものと見込まれています。わが国の社会全体の人口推計から見てもその後も児童生徒数は減少していくことと推測されます。また、社会性をはじめ人格形成に必要なものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって、部活動をはじめ運動会や文化祭などの集団活動は非常に重要な教育課程の一つです。その集団活動に支障を生じることのないような生徒数の規模を確保していく必要があります。こうしたことから将来の町の中学校教育を考えると、現在の3校体制の維持でもなく、町を二つに分ける2校体制でもなく、現時点において1校体制で整備を進めることが望ましいのではないかと教育委員会では考えております。

「小牛田中と不動堂中で統合して、その後に南郷中の統合を」という二段階方式についても教育委員会で検討してきました。しかし、南郷中においては生徒数の減少が著しく、10年後には生徒数が90人程度まで減るものと見込まれています。部活動については、部活動の種類を相当に限定しなければ各部ともに部員を確保できずに運営できなくなります。また、運動会や文化祭などの学校行事においても生徒数が少ないと何かと問題が生じてくるものと思われま。

また、現在の南郷地域においては、幼稚園から中学校までの12年間にわたって限られた友達関係の中での学校生活が続いております。小学校を卒業して中学校に入学する時点においては、これまでよりも広い範囲でより多くの新しい友達と出会う機会があり、交友関係がひろがることの方が、社会性をはじめ人格形成に必要なものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって必要ではないかと考えています。そのためには、幼稚園、小学校、中学校と三つの各段階において同じ地域(エリア)の学区ではなく、中学校においてはこれまでよりも広いエリアの学区にするのが望ましいと教育委員会では考えております。こうした

ことから、南郷地域では、将来的においても現在の「なんごう幼稚園」と「南郷小学校」を維持することとして、中学校においては広いエリアに再編することの方が将来の南郷地域の子どもたちにとって望ましいのではないかと教育委員会では考えております。

さらに、後から南郷中だけを再編するとなると、大多数の中に合流する少数側（南郷中）の生徒の精神的な負担がより大きくなるものと懸念されます。それよりも3校が同時に同等の立場で再編した方が南郷地域の生徒たちにとって精神的な負担は軽減されるのではないのでしょうか。こうした意見が南郷地域の保護者からも出されており、教育委員会としても同様の考えであります。

（小中一貫校について）

現在の中学校区単位に小中一貫校を整備したとしてもそれによって中学校の生徒数が増えるわけではなく、部活動等に生じている部員数の不足の問題等の解決には繋がりません。小牛田地域と南郷地域にそれぞれ小中一貫校を1校ずつ整備する場合についても、南郷中の生徒数の減少の問題は残ります。やはり、児童生徒数の減少に起因する諸問題を解決するには小学校と中学校を一つにする「縦の再編」ではなく、複数の中学校を一つにする「横の再編」の方が望ましいと考えます。

また、小中一貫校は、平成25年の長野県松本市での取組をはじめとして各地の学校でも取り組まれておりますが、制度内容は未だ整備途上にあるものと教育委員会では受け止めております。また、小中一貫校は、小学校の児童数と中学校の生徒数がともに減少していくことへの対策として行うものではなく、小学校における教育環境と中学校における教育環境がそれぞれしっかりと構築された後に、小学校と中学校の連携を更に一層進めることによって双方の相乗効果を図るために検討されるべきものであると考えております。そのためには、小学校教育と中学校教育においてそれぞれの教育環境がしっかりと整備される必要があります。その上で、町内に小中一貫校が望ましいかどうかを検討するべきであり、現在進めている中学校の再編整備の後に小学校の再編を行う必要が生じた時に、併設型小中一貫校と連携型小中一貫校の両方から導入の検討を行うことの方が望ましいのではないかと考えております。その頃には小中一貫校の制度内容も整備され充実されているものと思われれます。

意見 171

子供達の教育にあたって一番に重要視するのは財政ではないと思います。まだ、中学生という不安定な時期の子供達を地域から遠くに通学させる事は不安に思います。また、少子化の今、なおさら地域から学校生活を送る子供達の姿が見えなくなる事は地域の大人達にとっても、とてもマイナスなことになると思います。

<教育委員会の考え>

教育委員会が進める学校の再編は、財政を一番に重要視したものではありません。最も重要視しなければならないことは、将来の子どもたちの教育環境をどのように整備していくかであります。今を生きる私たち大人が、将来を生きる子どもたちのために可能な限りの良い教育環境を準備してあげることが最も大切なことだと認識しております。

「中学生という不安定な時期の子供達を地域から遠くに通学させる事は不安に思います。」ということにつきましては、スクールバスによる安全安心な通学手段を確保しますのでご

理解いただきたいと思います。

また、「地域から学校生活を送る子供たちの姿が見えなくなる事は地域の大人にとっても、とてもマイナスなことになる」というご意見につきましてはごもっともかと思われま。しかし、将来の子どもたちの教育環境がどうあるべきか、将来の子どもたちのために私たち大人が今何を行わなければならないのか、教育委員会では将来の子どもたちのことを優先的に考えていかなければならないと考えております。

(再編しなければならない理由)

これからの日本の社会は人口減少という大きな潮流の中で児童生徒数も減少していきま。学校の再編は、こうした社会の現実を受け止めて将来のある子どもたちのために教育環境を整備するために行うものです。子どもたちのために望ましい教育環境を整備することが今を生きる私たち大人の役割であり、それが将来の町づくりや地域づくりに繋がっていくものと考えております。

また、本年3月1日現在の町内の中学生の数は615人ですが、10年後には480人程度まで減少するものと見込まれています。わが国の社会全体の人口推計から見てもその後も児童生徒数は減少していくことと推測されます。また、社会性をはじめ人格形成に必要なものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって、部活動をはじめ運動会や文化祭などの集団活動は非常に重要な教育課程の一つです。その集団活動に支障を生じることのないような生徒数の規模を確保していく必要があります。こうしたことから将来の町の中学校教育を考えると、このまま現在の3校体制を継続するのではなく、現時点において1校体制で整備を進めることが望ましいのではないかと教育委員会では考えております。

意見 172

町の方針が明確でない。子供たちの教育をどのように発展させたいのか？子供たちの教育状況をどのようにとらえているのか？

離島のような少人数の生活をさせたいのか？

集団生活との協調を考えるなら、小中一貫校を1校成立させて考え方を建て直すべきではないか。 ※ 大崎市岩出山町では5校の小学校を統合する。なぜか聞いてみるのも・・・。

<教育委員会の考え>

学校再編についての方針は、将来の学校教育において必要な学校施設の整備を時代の流れに遅れることなく進めていくことです。学校施設の整備は学校教育を考えるうえでの原点であり、学校施設が整備されない限りにおいては学校教育の充実が進まないと考えています。教育委員会では、小中学校の学校施設をしっかりと整備した上で、一人ひとりの児童生徒の基礎学力の習得を第一の教育目標に掲げています。

また、「集団生活との協調を考えるなら、小中一貫校の1校成立」というご意見ですが、仮に現在の中学校区単位に小中一貫校を整備するとしてもそれによって中学校の生徒数が増えるわけではなく、部活動等に生じている部員数の不足の問題等の解決には繋がりません。小牛田地域と南郷地域にそれぞれ小中一貫校を1校ずつ整備する場合についても、南郷中の生徒数の減少の問題は残ります。やはり、児童生徒数の減少に起因する諸問題を解決するには小学校と中学校を一つにする「縦の再編」ではなく、複数の中学校を一つにする「横の再編」の方が望ましいと考えます。

小中一貫校は、平成25年の長野県松本市での取組をはじめとして各地の学校でも取り組まれておりますが、制度内容は未だ整備途上にあるものと教育委員会では受け止めております。また、小中一貫校は、小学校の児童数と中学校の生徒数がともに減少していくことへの対策として行うものではなく、小学校における教育環境と中学校における教育環境がそれぞれしっかりと構築された後に、小学校と中学校の連携を更に一層進めることによって双方の相乗効果を図るために検討されるべきものであると考えております。そのためには、小学校教育と中学校教育においてそれぞれの教育環境がしっかりと整備される必要があります。その上で、町内に小中一貫校が望ましいかどうかを検討するべきであり、現在進めている中学校の再編整備の後に小学校の再編を行う必要が生じた時に、併設型小中一貫校と連携型小中一貫校の両方から導入の検討を行うことの方が望ましいのではないかと考えております。その頃には小中一貫校の制度内容も整備され充実されているものと思われると思います。

将来においては、町内の小中学校を小中一貫校1校に集約する考え方もあるかと思えます。しかし、すぐに小中一貫校の1校に集約するのではなく、いくつかの段階を経て時間をかけていくべきではないかと考えています。

意見173

町内3中学校の再編は反対です。

○再編の理由の1つに生徒数の減少があげ、想定されるメリットについて

・部活などの集団活動が行いやすくなる⇒単に数が増えればいいという問題だけではない(バス通など)

・多様な考え・・・多くの教員と・・・⇒メリットとしてあげることもおかしいこと

・費用が低く・・・新たな教育活動⇒具体的でないのでよく分からない

○大きいことは人数が多いことはいいことではないのです。

県内外で小さい学校でも立派に教育活動実践をしている学校を学ぶべき

○再編の理由2の施設の劣化

住民説明会では現在の校舎が修理しながらいつまで使えるのかの資料を提示することになっていたが、のびて示されていない。判断材料が少ない。また、各PTAの意向は「おおむね賛成」とのことだったが、どんな資料でどんな話をしてどのくらいの数で・・・が不明確。

その後の発言が少なくなってしまうのでは・・・と思ったが

○改めてきちんと資料を提示して意見を聞くべきだと思う。

教育委員会のみ考えではなく町づくりの一環としての学校教育であること。人口減少をさらに進めることにつながる学校の再編は考えなおしてほしい。

<教育委員会の考え>

メリット、デメリットの考え方、感じ方は人によって異なり様々な意見があると思えます。

「新たな教育活動」の具体的な内容は、少人数学級の導入、習熟度別学習の導入、英語教育の充実などを想定しています。

各PTAの意向については、町の公式ホームページに掲載している保護者との意見交換会の記録をご覧いただければ多少なりの内容がつかめると思えます。

現在の学校施設の現況調査が想定していた以上に時間を要し、調査が平成29年3月下旬

旬までかかります。調査結果が出ましたら提示します。その他、詳細な資料については今後も逐次提供していきます。

意見 174

反対します。小規模校舎にしてキメ細かな教育していけば生徒数減少しても財政上の問題もいじめの問題も解決していくのでは。地域に密着した教育の場にしてください。

<教育委員会の考え>

全校生徒が100人以下になれば、部活動などの集団活動がかなり制限されてきます。小規模の中学校に生じてくるデメリット（問題点）を解決することが大事ではないかと考えています。きめ細かな教育は、学校を再編しても十分に可能と考えます。

意見 175

3校統合に賛成します。

- ・メリットを最大限に活かし、デメリットへの対策を実現して下さい。
- ・土日祝日、春夏冬の長期休業中の部活動の送迎

例：バスの時間を決めてある中で生徒に部活日程を決めさせて、顧問の先生と最終的に決める。限られた時間の中で集中して行う。

- ・施設整備に光冷暖（輻射式冷暖房）を取り入れて欲しいです。学業に集中する環境
- ・小学校から中学校まで9年間、同じ顔ぶれで勉強し、部活動も選択できないより、いろいろな人がいる中で生活した方が良い。中学校でやりたい事があると小学生にも良いと考えます。

<教育委員会の考え>

参考となる貴重なご意見です。教育委員会でも同様の考えです。

意見 176

・いじめや不登校をはじめとする生徒指導に満足に対応できない。学校や教職員が多い中で、生徒数の減少による少人数の学校教育や学級活動は決して悪いことではないと考えます。

・あえて再編を実施するとすれば、旧小牛田地区、旧南郷地区をそれぞれ1校とし、小中一貫校としてはいかがでしょうか。

・人づくりや人をつくる人（教育者）の資質向上にもっと財源を活用できる国になってほしいと日々願っております。

<教育委員会の考え>

（いじめ、不登校の問題について）

中学校を1校に再編するに当たっては全てのクラスで30人未満学級を実施して教職員の目が生徒一人ひとりに行き届きやすくすること、また、専従のスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを常駐配置して生徒が抱える交友関係などの様々な悩みをいつでも気軽に安心して相談できる体制を整備すること、これらの対策から生徒一人ひとりの心のケアに対応していく考えです。

（3校の再編について）

これからの日本の社会は人口減少という大きな潮流の中で児童生徒数も減少していきます。学校の再編は、こうした社会の現実を受け止めて将来のある子どもたちのために教育環境を整備するために行うものです。子どもたちのために望ましい教育環境を整備することが今を生きる私たち大人の役割であり、それが将来の町づくりや地域づくりに繋がっていくものと考えております。

また、本年3月1日現在の町内の中学生の数は615人ですが、10年後には480人程度まで減少するものと見込まれています。わが国の社会全体の人口推計から見てもその後も児童生徒数は減少していくことと推測されます。また、社会性をはじめ人格形成に必要なものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって、部活動をはじめ運動会や文化祭などの集団活動は非常に重要な教育課程の一つです。その集団活動に支障を生じることのないような生徒数の規模を確保していく必要があります。こうしたことから将来の町の中学校教育を考えると、町を二つに分ける2校体制ではなく、現時点において1校体制で整備を進めることが望ましいのではないかと教育委員会では考えております。

(小中一貫校について)

現在の中学校区単位に小中一貫校を整備したとしてもそれによって中学校の生徒数が増えるわけではなく、部活動等に生じている部員数の不足の問題等の解決には繋がりません。小牛田地域と南郷地域にそれぞれ小中一貫校を1校ずつ整備する場合についても、南郷中の生徒数の減少の問題は残ります。やはり、児童生徒数の減少に起因する諸問題を解決するには小学校と中学校を一つにする「縦の再編」ではなく、複数の中学校を一つにする「横の再編」の方が望ましいと考えます。

また、小中一貫校は、平成25年の長野県松本市での取組をはじめとして各地の学校でも取り組まれておりますが、制度内容は未だ整備途上にあるものと教育委員会では受け止めております。また、小中一貫校は、小学校の児童数と中学校の生徒数がともに減少していくことへの対策として行うものではなく、小学校における教育環境と中学校における教育環境がそれぞれしっかりと構築された後に、小学校と中学校の連携を更に一層進めることによって双方の相乗効果を図るために検討されるべきものであると考えております。そのためには、小学校教育と中学校教育においてそれぞれの教育環境がしっかりと整備される必要があります。その上で、町内に小中一貫校が望ましいかどうかを検討するべきであり、現在進めている中学校の再編整備の後に小学校の再編を行う必要が生じた時に、併設型小中一貫校と連携型小中一貫校の両方から導入の検討を行うことの方が望ましいのではないかと考えております。その頃には小中一貫校の制度内容も整備され充実されているものと思われれます。

意見177

合併以前から、南郷地域では圃場整備や下水道工事など、住民が住みやすい環境を整備してきました。それは将来の子どもたちのためと言っても過言ではありません。この地域に学校を無くすことは、若い子育て世代の定住を減らすことになるのではないのでしょうか？

当時、町での支出も大変だったでしょう。現在高齢者に足を踏み入れた私達の両親世代も大変な出費だったと思います。その様な思いをしながら、子育てをしながら色々な面で町を支えてきた親世代が取り残されはしないのでしょうか。

南郷地域では、合併前3校あった小学校を統廃合した経緯もあります。その上、中学校も無くなるとなれば、南郷地域は今までに増し活気が無くなるでしょう。地域の元気は、子ども達の声や姿が基になっていると言ってもいいと思います。私達親世代でも、その上のおじいちゃん、おばあちゃん世代も子どものために何かしたいという思いで日々、色んな活動をしているのです。

また、町の財政的に学校を減らしたいというのであれば、中学校を1校に統合するという事よりも、今現在、5校ある小牛田地域の小学校を何とかする方が先ではないかと思えます。おそらく、その様なことになれば、以前の給食センター問題同様もめるでしょうが・・・だから、中学校を先にとという事ではないのですか？

教育とは決して学力を向上させることだけではありません。町内の子ども達を全部一か所に集めてみたいなやり方には賛成できません。

学校の適正規模は、国の基準では12～18学級ということですが、教育的観点からの適正な学校規模ではないそうです。補助金をもらうための適正規模なのでしょうね。

アメリカの社会学者ジェームズ・コールマンによれば、一般的に大きな学校、大きな集団の方が社会性は育つと思われがちですが、子ども達は、大きすぎる集団の中では主体的に関わることができず、逆に無関心を生み出してしまうそうです。また、大きな学校というのは、外見的には優れて見えるかもしれませんが。校舎は大きくて立派です。教室もたくさんあり設備も整っています。教師陣も集められ、子ども達の数も多く、そういったものは、教育効果を高めるために殆ど関係ないそうです。

子供たちは、大勢の中の一人にすぎず、多くは受け身の姿勢になりがちです。みんなが責任をもって積極的に貢献しようという事にはなりません。授業は「教えられる」にすぎず、学校行事などもあまり関心を示さず、決まったことに参加するといった程度です。人数が多いとどうしてもそういう子どもをつくりだしてしまうそうです。

一方小さな学校というのは、子どもの人数が少ないので、授業や学校の行事にみんなが積極的に責任をもって貢献するように刺激されます。そんな中で学校生活を送った方が学力向上につながるし、応用力がありコミュニケーションのある大人になれるのではないのでしょうか。

そして最後に、どうしても中学校を1校に統合するのであれば、南郷地域に新しく学校を建設するという選択肢もあるのではないのでしょうか。

<教育委員会の考え>

南郷地域から「学校を無くすと若い子育て世代の定住を減らすことになるのではないのでしょうか」というご意見ですが、しかし、南郷中学校は10年後に全校生徒が90人になります。中学生にとって学校は勉強だけではありません。生徒の成長過程において重要な部活動という教育活動があります。90人の生徒で部活動が健全に運用されるとは思われません。運動会や文化祭の学校行事においても同様な問題が生じてきます。

また、教育委員会では3校を1校に再編することで大勢の生徒数になるとは考えていません。現在の町民人口から、10年後の生徒数を480人程度と見込んでいます。その後も生徒数は減少し続けるものと思われれます。全校生徒480人の中学校の規模が決して大きいとは言えません。一学年当たりの生徒数が160人です。40人学級であれば一学年当たり4クラスですが、現在教育委員会で考えている1クラス30人未満のクラス編成であれ

ば、一学年当たり6クラスとなり1クラスの生徒数は26~27人になります。このような学校と部活動が満足にできない全校生徒90人の学校を比較した場合、中学生のお子さんをお持ちのご両親はどちらの学校に通わせたいと思うのでしょうか。小学校ならまだしも、中学校であるならば集団的な学習活動（特に部活動）が十分にできる規模を確保しなければなりません。

決して中学校が無くなるからといって、南郷地域から若い子育て世代が減っていくものではありません。南郷地域にはなんごう幼稚園と南郷小学校があり、幼・小が連携して子どもたちに生活習慣と基礎学力を身に付けさせ、望ましい規模の中学校に進学させることの方が南郷地域の将来の子どもたちのためになるもと考えます。

意見178

○学校再編は当町にとって緊急課題である。

- ・生徒数の上昇が期待できない現在、統廃合を早急に取り掛かるべきと思う。
- ・生徒数が少ない現在、部活動にも支障をきたし2つの学校が連携してチームを編成している状態である（ソフトボール・野球等）

○教育委員会が考えているデメリットについて

- ・交友関係、いじめについて

先生方、教育委員会のきめ細かい連携により改善できる問題であり心配ない。現に部活動等は合同で実施している

- ・部活動の活動時間の制限について

スクールバスの運行時間の設定で解決できる。運行本数を増やす等を考えればよい。

○学校再編の場合

校舎だけに拘らず設備の充実も考慮してほしい。（例えば、エアコン完備・視聴覚設備完備等々）

<教育委員会の考え>

「学校再編は当町にとって緊急課題である」、まったくそのとおりだと思います。デメリットの解消についても、学校現場の教職員と教育委員会の連携が重要であると同じ認識にあります。また、学校内の設備の充実についてはエアコンを全館に設置するなど、将来の学校教育環境を考えたいので必要なものをしっかりと整備してまいります。

意見179

生徒数が少なくなるので早い時期に1に再編。尚、小学校も町内2校に。

通学手段であるスクールバス運行、自転車通学路の整備

<教育委員会の考え>

中学校の再編については早期に進めていく考えです。しかし、小学校の再編については、各学校における施設の状況や保護者をはじめ住民の方々の考えもさまざまであり、また地域コミュニティとのつながりも大きいので、地域住民の方々の意見をお聴きしながら慎重に進めていかなければならないと考えております。教育委員会といたしましては、現時点で具体的な計画はありませんが、よりよい教育環境の整備に向けて、できるだけ早い時期に再編の方向性をお示しいたしたいと考えております。

また、遠距離通学となる生徒の負担を軽減することは再編に当たっての大きな課題の一つです。スクールバスの台数を十分に確保し、また、コースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時における生徒がバスに乗車している時間を、学校から最も遠い生徒であっても30分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行から通学にかかる時間の短縮などに努めていきます。

自転車通学路の整備については、再編する学校の場所が決まれば、生徒の通学路を想定して現地調査をし、危険個所については優先順位をつけて年次的に改善していく考えです。

意見180

学校を大きくしてどうするの。地区に学校などの人が集まるところがなくなると云うことは人がいなくなることである。昔は子供1人であっても分校はあった。先生も1人で教えた。金もないのに修理することも考えてほしい。

<教育委員会の考え>

教育委員会では、将来の子どもたちの教育環境を第一に考えております。今後も生徒数の減少が続く中で、学校の再編は避けては通れません。

「修理することも考えてほしい」というご意見ですが、現在3中学校の施設の現況調査を行っており、その結果が出ましたら修理するのか、新しく建てるのかについて検討してまいります。

意見181

1 3校統合計画に賛成です。

2 統合によって部活動や集団活動が行いやすくなるとあるが、指導教育に当たる教職員は対応できる技能を有する職員を配置し生徒の意欲向上に応えるようにすること。

3 生徒数が多くなれば交友関係が広がることになると同時に生徒の成長に伴う心の悩みや相談の発生する年齢になることから心の成長と合わせた相談指導が行うことが出来るような充実した関係職員の配置を行うこと。

4 生徒数が多くなることで生徒一人ひとりに対するきめ細かな指導ができなくなるのであれば、生徒の為による統合ではなく、単なる経費削減目的の統合と云うことになり、統合に賛成できなくなる。統合は生徒の教育の質の向上が図られることが大前提だ。統合による教育の質の向上を図る施策を町民へ示すこと。

5 交友関係が複雑になることから、いじめ・不登校の対応が一層必要とあるが、報道されている事案を見て感じることは、学校、教育委員会の無策、無責任、言い訳、そして責任逃れの体質である。いじめ・不登校への対応はまず、学校、教育委員会が毅然とした対応方針を持つことであり、この解決に他人まかせにすることなく、学校、教育委員会が先頭に立って解決すると云う強い信念を持って対処することだ。

<教育委員会の考え>

2 部活動の指導者については十分に指導能力を持つ指導者を配置するようにいたします。

3 中学校を1校に再編するに当たっては全てのクラスで30人未満学級を実施して教職員の目が生徒一人ひとりに行き届きやすくすること、また、専従のスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを常駐配置して生徒が抱える交友関係などの様々な悩みを

いつでも気軽に安心して相談できる体制を整備すること、これらの対策から生徒一人ひとりの心のケアに対応していく考えです。

4 決して、経費削減目的の再編ではありません。少人数学級（30人未満学級）による学級編成と習熟度別学習の導入によって生徒一人ひとりに対するきめ細かな指導を行ってまいります。

5 いじめ・不登校の対応については、学校、教育委員会が先頭に立って解決する強い信念を持って対処していきます。

意見 182

・基本的には3校統合に賛成するものです。現在の部活動で他の中学校と合同チームで県大会などに出場している実態は、チーム編成にも苦慮しているのが伺えます。今後の中学校生徒の推移をみますと増々厳しくなることは明らかです。再編により全校生徒が多くなることによって部活動など集団活動が行いやすくなり学びの充実につながっていくことに期待しております。又、費用面で生まれた財源を新たな教育活動に活用することを期待しております。

・デメリットへの対策で安心・安全な通学手段の確保については、スクールバスの運行、自転車通学路も整備は実際に走ってみて課題の解消に取り組んで頂きたい。例えば、鳴瀬川サイクリングロードの整備（国土交通省）、県道・町道の整備など中学校新設に併せて具体的に進めて頂きたいと思います。

<教育委員会の考え>

（新たな教育活動について）

・新たな教育活動については、少人数学級（30人未満学級）の導入、習熟度別学習の導入、英語教育の充実などを現在検討しているところです。今後も皆さんからのご提案をいただきながら検討してまいります。

（安心・安全な通学手段の確保について）

・3校再編により部活動の問題を解消するとともに、新たな特色ある教育を進めていく考えです。また、新しい学校の場所が決まりましたら、生徒の通学路を想定して現地調査をし、危険箇所については優先順位をつけて年次的に改善していく考えです。スクールバスの運行については、台数を十分に確保し、また、コースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時における生徒がバスに乗車している時間を、学校から最も遠い生徒であっても30分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行から通学にかかる時間の短縮などに努めていきます。

意見 183

ここにきてわかったことでないのだから首長はもうすこし頭のいい人物になるべきです。こんなことが何になるのですか。経費の無駄

<教育委員会の考え>

前々からわかっていたことであり、早く対策を検討しなければならなかったとのご指摘でありましたならば、その通りだと思います。しかし、学校の再編は、将来の子どもたちの教育環境を考えれば決して無駄だとは考えておりません。

意見 184

この様なことをして経費の無駄使いであるとともになんになるの。合併のアンケートのように改竄されたらどうなるのですか。こんなことは意味がない。ナンセンス

<教育委員会の考え>

町民の意見を聞くこと、それを政策に反映していくことは行政運営の基本です。決して、無駄でもなくナンセンスだとは考えておりません。また、アンケートの改竄などは論外です。

意見 185

学校の再編、何か唐突な感じがする。生徒数の減少が1つの理由に上げられているが県内（近隣市町）には少ない生徒数の学校が多数を占める。学校が無くなった地域や町は衰退するのみである。若い子育て世代や住宅を新築するこれまで住んでいる人達は、子供、孫の事を考え最低でも通学に便利な場所を選ぶのが普通である。この様な考えから学校の再編は更なる人口減少に直接拍車を掛けると思う。

町に学校が1校、通学が極めて不便（スクールバスを利用するとしても）この様な町に誰が住んでみたいと思うのでしょうか。既に住んでいる人も次世代のことを考えると町から去りたいと云う思いが強くなるばかりである。このような議論より人口減少防止や増加策について町全体で考えるのが今一番大事なことと思うが残念ながらこの様な議論が全然見られない。もっと真剣に取り組んでもらいたい。この町から若い人も高齢者も居なくなります。学校の再編は旧小牛田町、旧南郷町各1校が妥当と考えられる。（最低限）

<教育委員会の考え>

これからの日本の社会は人口減少という大きな潮流の中で児童生徒数も減少していきます。学校の再編は、こうした社会の現実を受け止めて将来のある子どもたちのために教育環境を整備するために行うものです。子どもたちのために望ましい教育環境を整備することが今を生きる私たち大人の役割であり、それが将来の町づくりや地域づくりに繋がっていくものと考えております。

また、本年3月1日現在の町内の中学生の数は615人ですが、10年後には480人程度まで減少するものと見込まれています。わが国の社会全体の人口推計から見てもその後も児童生徒数は減少していくことと推測されます。また、社会性をはじめ人格形成に必要なものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって、部活動をはじめ運動会や文化祭などの集団活動は非常に重要な教育課程の一つです。その集団活動に支障を生じることのないような生徒数の規模を確保していく必要があります。こうしたことから将来の町の中学校教育を考えると、現在の3校体制の維持でもなく、町を二つに分ける2校体制でもなく、現時点において1校体制で整備を進めることが望ましいのではないかと教育委員会では考えております。

意見 186

関係者の皆さんお疲れ様です。いつもありがとうございます。以下今回の中学校再編について意見を述べたいと思います。

配布されました資料の再編の理由について読みましたが、この理由については項目間の

大きな矛盾があります。最初に教育の基本は、なんといっても教育を受ける子供たちと、毎日子供たちと接している校長や教頭以外の教師の意見を聞くことを最優先にすべきでしょう。そして、教育は金がないからということでの再編は如何なものでしょうか。教育への財政の投資は、子供たちが健やかに育つことに価値があると思います。今回の再編の理由は金がないから再編するということが最大の理由になっていますので、これを改める必要があると思います。

その上で第一に、十年後の生徒数481人を想定しての再編という、行政や大人の都合による再編となっていますね。そして、別の項で、1学級30人以下を目指していると言っています。この観点からすると一番少ない南郷だって1学年1学級は確保できているじゃありませんか、どうして1学級が教育上マイナスなのか理解できません。提起の通り少ない人数の方が、先生と生徒の接触が多く、個性を大切にし、それを伸ばすきめ細かい教育が出来るのではないのでしょうか。大人数の場合特色のある教育が出来て、少ない人数では出来ないと言っているように聞こえますが。また、将来の人数減を、どうして固定的に考えるのでしょうか。もっと住みよい美里づくりに力を入れるべきでしょう。どうして震災以降駅東に、他市町から多くの人に来てくれたのでしょうか。美里が住みよい街として選んで、くれたのではないのでしょうか。もっと自信をもって人口が増える魅力ある街づくりを優先してはどうですか。

第二に、統合によって人数が増えて、いじめや不登校が増える方のデメリットの方が教育にとってマイナスですし、金のあるなしでの統合は教育の義務化にも反対しています。

第三に、統合は部活動や集団活動にとって有益と言っていますが、逆に少人数は益が少ないということでしょうけど、しかし、一方で再編は遠距離通学で、部活動が制限されるという矛盾を言っています。全国の中学校の現状の中、生徒数の多い少ないで、部活や集団教育の優劣が判断できるという見解は聞いたことがありません。全国の状況を何らかの形で調査したという資料でもあって、それを参考にしたものでしょうか。問題は量より質の充実ではないのでしょうか。

第四に、3つの中学校はそれぞれ、地域での重要なコミュニケーションの場となっています。地域が子供たちを育てている、見守っているという役割を少なからず果たしていると思います。

第五に、多くの親は共働きです。片親の家庭があるなど、祖父や祖母のいない家庭もあります。例え居たとしても、毎日の子どもの送り迎えはあまりにも負担が大きいですよ。バスの輸送もかなり少ないと聞きますが。

<教育委員会の考え>

(第一について)

教育委員会では、一つの学年が1学級(一学年単学級)になることを問題視しているわけではありません。南郷中学校において全校生徒90数人で十分な中学校教育(特に部活動などの集団活動)ができるのでしょうか。教育委員会では中学校の全体規模が小さくなることを問題視しなければならないと考えております。小牛田中学校、不動堂中学校についても同様です。

これからの日本の社会は人口減少という大きな潮流の中で児童生徒数も減少していきます。そうした中で人口を増加させるためのまちづくりを考えていくことも非常に重要なこ

とです。しかし、希望的な観測ではなく、今後も人口減少が一層続くという社会環境を事実として真摯に受け入れなければ将来的に現実から乖離した政策展開になりかねません。仮に中学校を建設するとなれば、将来的に50年間はその学校施設を使用することとなります。学校の再編については50年先の将来を先見する中で考えていかなければなりません。先見性を持って将来の子どもたちのために素晴らしい中学校の教育環境を整備することが、将来のためのまちづくりとなり、町の発展に繋がっていくものと考えます。

(第二について)

中学校を1校に再編するに当たっては全てのクラスで30人未満学級を実施して教職員の目が生徒一人ひとりに行き届きやすくすること、また、専従のスクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを常駐配置して生徒が抱える交友関係などの様々な悩みをいつでも気軽に安心して相談できる体制を整備すること、これらの対策から生徒一人ひとりの心のケアに対応していく考えです。教育委員会が進めている学校再編は、将来の子どもたちのために教育環境を整備するものであり、金のあるなしだけで学校再編を行うものではありません。

(第三について)

特に全国の状況がどうというものではありません。町内の中学校の運動部において2校の合同チームで大会に参加するなど、生徒数が少ないことによって生じている部活動の問題等を解決しなければならないということです。遠距離通学によるデメリットはスクールバスの運行の充実で補うことができると考えます。しかし、生徒数が少ないことで生じてくる問題は学校の再編以外に解決できる方法はないと考えております。

(第四について)

子供たちを見守り育てていくという地域の役割は重要であります。しかし、中学校が一つになったとしてもこうした考え方は特に変わるものではありません。中学校が一つになっても、地域の皆さんで子どもたちを見守り、育てていただきたいと思えます。

(第五について)

遠距離通学となる生徒の負担を軽減することは再編に当たっての大きな課題の一つです。スクールバスの台数を十分に確保し、また、コースや便数の設定についても生徒の利便性と負担軽減を優先してまいります。登下校時における生徒がバスに乗車している時間を、学校から最も遠い生徒であっても30分以内に抑えるなど、スクールバスのより綿密な運行から通学にかかる時間の短縮などに努めていきます。

また、バス通学の生徒が病気等の何らかの事情で学校から途中帰宅しなければならないとき、また、途中から学校に登校することとなったときには、保護者等家族の方々の送迎となるかと思えます。再編前に比べて学校までの距離が遠くなられる方々には御負担が大きくなり御不便をおかけすることとなります。

意見187

児童生徒の学校教育、学力向上、健全育成に日夜努力されておられる教育委員会に敬意を表します。中学校の再編について下記の通り私の考えを申し上げます。

- 1 教育委員会の中学校再編案について賛成します。
- 2 住民意見交換会の資料によると開校予定は平成33年4月とあるが一日も早い方が良

い。

3 校舎及び附属施設の建設にあたっては基本設計段階から住民の要望を取り入れるべきだ。私は校舎建築には木材を多く採用すべきと考えます。

4 中学校生活は人生の中で多感であり、身心を鍛えるもっとも大事な時期と考えます。よって体育館、校庭等は財政が許すなら大きく、広く作るべきと考えます。

5 文化部（音楽）の活動も大事です。よって音楽室は防音の対策が必要と考えます。

6 建設場所についていろいろあると思いますが、①南郷と小牛田の間であるかどうか②交通アクセスはどうか③広い用地が確保出来るか④列車を利用する生徒もあると思う⑤既存の校庭、テニスコート、武道場等の利用が出来るかどうか、これらを中心に総合的に判断して、私は駅東地区が最適と考えます。

7 相沢町長の公約である産業活性化拠点施設整備を先送りして統合中学校の整備を優先した英断に敬意を表します。

8 町にとって幼稚園、保育園、学校の統廃合、町村合併が政争の具にされ町を二分する激しい闘いが過去に各地で発生した経緯があります。教育委員会も町当局も慎重に対応されるよう要望します。

<教育委員会の考え>

3 校舎及び附属施設の建設にあたっては基本設計段階から住民の要望を取り入れるようにします。

4 教育委員会としても同じ考えです。体育館、校庭等は可能な限り広く、大きくつくっていく考えです。

5 教育委員会でも音楽室の防音装置は必要と考えています。

6 再編後の新しい中学校の場所については今後の検討となります。現在、3中学校の施設の現況調査を行っております。その結果が出ましたら教育委員会として検討し、その後に住民の皆さんに候補地をお示ししてご意見をお聴きしながら決定していく考えです。

8 町を二分するようなことにならないよう十分に留意し慎重に進めてまいります。

意見 188

中学校では、集団で行動することを学んでほしいと思います。部活動、体育祭など少人数で出来ないイベントが多々あり統合はやむを得ないものと考えます。ただし、小学校は地域との結びつきが強くこの限りではない。

<教育委員会の考え>

中学校の再編については教育委員会も同様の考えです。

また、小学校の再編については、各学校における施設の状況や保護者をはじめ住民の方々の考えもさまざまであり、また地域コミュニティとのつながりも大きいので、地域住民の方々の意見をお聴きしながら慎重に進めていかなければならないと考えております。教育委員会といたしましては、現時点で具体的な計画はありませんが、よりよい教育環境の整備に向けて、できるだけ早い時期に再編の方向性をお示しいたしたいと考えております。

意見 189

人口減少に伴って、当然子供の出生率も低下し、各地域の学校の存続が危ぶまれるのは当

然の現象である。現状の状態での存続管理には無理が生じ、統合という話になるのは自然な成り行きである。統合にあたっては、賛否両論があり集約に至るにはかなりむずかしい。今後の人口動態を考えるも将来においても人口増は見込めない。

美里町に小中一貫校が望ましいと思います。最初から高いハードルに向かって議論した方が今後の学校運営にかなっているような気がします。追記 ちなみに孫二人がいます。

<教育委員会の考え>

現在の中学校区単位に小中一貫校を整備したとしてもそれによって中学校の生徒数が増えるわけではなく、部活動等に生じている部員数の不足の問題等の解決には繋がりません。小牛田地域と南郷地域にそれぞれ小中一貫校を1校ずつ整備する場合についても、南郷中の生徒数の減少の問題は残ります。やはり、児童生徒数の減少に起因する諸問題を解決するには小学校と中学校を一つにする「縦の再編」ではなく、複数の中学校を一つにする「横の再編」の方が望ましいと考えます。

また、小中一貫校は、平成25年の長野県松本市での取組をはじめとして各地の学校でも取り組まれておりますが、制度内容は未だ整備途上にあるものと教育委員会では受け止めております。また、小中一貫校は、小学校の児童数と中学校の生徒数がともに減少していくことへの対策として行うものではなく、小学校における教育環境と中学校における教育環境がそれぞれしっかりと構築された後に、小学校と中学校の連携を更に一層進めることによって双方の相乗効果を図るために検討されるべきものであると考えております。そのためには、小学校教育と中学校教育においてそれぞれの教育環境がしっかりと整備される必要があります。その上で、町内に小中一貫校が望ましいかどうかを検討するべきであり、現在進めている中学校の再編整備の後に小学校の再編を行う必要が生じた時に、併設型小中一貫校と連携型小中一貫校の両方から導入の検討を行うことの方が望ましいのではないかと考えております。その頃には小中一貫校の制度内容も整備され充実されているものと思われれます。

最初から高いハードルに向かって議論するのもよいのですが、本町の中学校が抱えている生徒数の減少と施設の劣化の問題は早急に解決しなければならないことから、その解決策としての中学校再編を早急に進めていかなければならないと考えます。

意見190

私の考えを言わせてもらいます。最初は時代の流れですので、これはやむをえない事だと思います。ただ、書かれていたように通学の問題が最初に出てくると思われます。それをどうするか出てくると思います。その次は部活の問題ではないかと思われます。終わって帰る時間帯にどうするかでしょうね。学校から近い所は自転車通学となるでしょうけれど遠い生徒が又問題の1つだと思います。又、学力問題だと思います。事に全国でも宮城は低い方と新聞でも書かれているようですのでこれには勉強の時間が少ないような気がします。

なぜなら、土日で95日、祝日16日、それに夏、冬、春休みと約28日位となると年間になると50日位が勉強する日数が300日ちよつのような計算になる。それで私の考えでは学力低下するのは当然だと思う。それで夏、冬、春休みを少しずつ短くしたらというのが私の考えであります。よろしくお願いします。

<教育委員会の考え>

ご意見にありますように、学校が再編すれば通学の問題が最初に出てきます。そして部活動を終えた後の帰りの問題だと思います。再編した場合には、こうした問題にしっかりと対応していきます。

しかし、学力の低下を理由に、美里町だけが夏休みや冬休み等を短くすることについては慎重に検討しなければならないと考えます。

意見 191

先日、学校の参観日で中学校の統合等についてお話を伺いました。町の活性化、潤いのためには、とりわけ学校（子ども達）の姿があつてこそと考えます。幼小はそのまま存続ということですが、朝夕、中学生の登下校の姿、校庭、町グラ、町体育館での部活動、そして地域とのふれあい学習、運動会文化祭等々の校内外の行事を通して、保護者のみならず、町内の多くの中老年、老人の方々は生活の潤い、心の元気等、無形の精神的安らぎを得ています。こんな中学生たちとの触れ合いが無くなる日々を考えるとあまりに殺風景なこれからの日常が想像され、大きな淋しさに包まれます。幼小中が町内に1つずつあつてこそ南郷町、統合を考える数々のメリット・デメリットは分かりますが部活動の充実等には送迎等の制約も出てくる矛盾も思われます

町の財政のみにとらわれて町民の日々の安らぎや子ども達のさざめく風景が失われつつゆくことには今のところ賛成しかねます。社会の状況が年々変化している現状にいつか止むを得ず統合をせざるを得ない日のギリギリまで南郷町民の潤いを考えていただけないでしょうか。当分は小牛田町のみで統合で（南中はそのまま）で考えてもらえれば幸いです。

町予算は将来の美里町を担っていく子どもたちのために、教育現場にこそ一番に注がれるべきだと思います。町の説明は一応聞かせていただきましたが、十数分そこの説明では形式のみで誰もがじっくりしなかったようです。一人でも多くの皆さんが納得のいく統合でありますよう、寄せられたいろいろな意見も聞かせていただけたらと思います。（町広報などで）

どうか、わっぱかな進め方にはなりませんよう、どうぞ宜しくお願い致します。

<教育委員会の考え>

「中学生たちとの触れ合いが無くなる日々を考えるとあまりに殺風景なこれからの日常が想像され、大きな淋しさに包まれます。」、こうしたお気持ちをお察しいたします。

しかし、社会性をはじめ人格形成に必要なものを身に付ける大切な時期にある中学生にとって、学校における集団活動は非常に大事なものです。その代表的なものの1つが部活動です。今後10年間で全校生徒が90人程度まで減少する南郷中学校においては相当に限られた数の部活動しか運営できなくなります。また、部活動だけでなく、運動会や文化祭などの行事（集団活動）においても支障が生じてくるものと思われまます。

さらには、現在の南郷地域においては、幼稚園から中学校までの12年間にわたって、同じ学年の友達と過ごすこととなっています。小学校を卒業し中学校に入学する時点において、これまでよりも広い範囲でより多くの新しい友達と出会う機会を設けて、子供たちの交友関係を広げてあげることの方が、大切な時期にある中学生にとって重要ではないかと考えました。そのためには、幼稚園、小学校、中学校と三つの各段階において同じ範囲（エリア）の学区ではなく、中学校においてはこれまでよりも広いエリアの学区にしなければなり

ません。こうしたことから、教育委員会では、南郷地域においても幼・小を継続させ、中学校をもっと広いエリアで再編することが将来の南郷地域の子供たちのためになるものと考えています。

また、「当分は小牛田町のみの統合で（南中はそのまま）で」という二段階方式についても教育委員会で検討してきました。その中で、昨年9月に行った南郷地域の幼・小・中の保護者との意見交換会では、多くの保護者が3校を同時に統合することを希望しておりました。その理由としては、「後から南郷中学校だけが統合するとなると、大多数の中に少数が合流することとなることから、少数側（南郷中学校）の生徒の精神的な負担がより大きくなるのではないかと、それよりも3校が同時に同等の立場で統合した方が（南郷地域の）子供たちにとって良いのではないかと」ということでした。教育委員会としても、そうした保護者の考え方に同じです。

中学校教育において、全校生徒の数が90人程度まで減少するとそれによる問題（集団活動への障害など）は、より一層大きくなってくるものと思われます。教育委員会では、南郷中学校におけるこうした問題を優先して解決するべきものであることから、現在の3つの中学校を1つに再編する必要があると考えています。

意見192

私は、再編の必要性を認める。実施にあたっては全戸アンケートを行う。

[1]その結果「再編しない」方向に進む場合

①あなたは、文教のための増税覚悟ですか。②文教以外の予算を減じて文教にまわしてよいか。

※①or②が認められない場合は[1]を認めない。

[2]「再編する」方向。H39を例に考える。（条件）

- ① 学級定員を25～39人とする。
- ② 心の教育、カウンセリングの充実

初級以上のカウンセラーの資格を有する教師を、各学年二人以上を配置する。

③ ①をうけて指導を充実させるために教師の雑務を大幅に減じ、生徒とともに「考える」「感じる」「行動する」などの時間を極力多くする。

<教育委員会の考え>

「[1]その結果「再編しない」方向に進む場合」に書かれている内容・意味が把握できませんことから、回答ができませんので御了承ください。

[2]の①については、30人未満学級を実現すれば、全てのクラスで29人以下になります。

[2]の②については、「初級以上のカウンセラーの資格」を持つ教師が各学年に2人以上必要であるかどうかについては現時点では判断できません。

[2]の③については、教師の雑務とはどのようなものでしょうか。教員の教育活動に伴って発生してくる事務は雑務ではなく大切な業務です。そのほかに雑務と思われる業務が教師に発生しているとは思われません。しかし、教師にとって、生徒とともに「考える」「感じる」「行動する」などの時間は大切であり、そのような時間が十分にとれるような時間的余裕が必要であると考えております。